

予算科目	3 款	民生費	事業名	民生委員・児童委員関係事業		
	1 項	社会福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち	
	1 目	社会福祉総務費		第5節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現	
	事業	民生委員関係費		(1)	地域での孤立防止を推進する	
担当部課	保健福祉部保健福祉総務課	実施計画掲載ページ		P 59		
目的及び事業内容	<p>民生委員法及び児童福祉法に基づき、社会の奉仕者として厚生労働大臣から委嘱を受け配置されている「民生委員・児童委員」の活動を推進し、社会福祉の向上を図るため、民生委員・児童委員の活動経費の一部として石巻市民生委員児童委員協議会に交付金を交付するほか、民生委員推薦会を開催し、候補者を県に進達することにより、地域福祉を推進する。</p>					
取組実績	<p>1 石巻市民生委員児童委員協議会へ交付金の交付 高齢化の進行や複雑化する地域課題等への対応により、民生委員の負担が増加しているため、活動費を増額した。 ※前年比6,200円増 R3@54,000円 (1) 活動費 @60,200円×実数341人=20,528,200円 ※実数は年度中の最大委嘱者数 (2) 啓発活動費等 111,280円 合計 20,639,480円</p> <p>2 委嘱状況 (1) 令和4年度末の委嘱状況 定数：369人 現委嘱数：326人 欠員数：43人 (2) 民生委員児童委員の一斉改選 令和4年12月1日一斉改選により323人を委嘱（任期3年：R4.12.1～R7.11.30） (3) 石巻市民生委員推薦会の開催（計4回、候補者328名） 第1回：令和4年 7月21日（書類審査）313名推薦 第2回：令和4年 8月 8日から 8月15日（持ち回りによる審査） 5名推薦 第3回：令和4年 9月 8日から 9月 9日（持ち回りによる審査） 6名推薦 第4回：令和4年12月26日から12月28日（持ち回りによる審査） 4名推薦</p> <p>3 欠員地区への対応、民生委員活動等の周知 (1) 欠員地区の自治会長等へ現況、候補者の有無について聴取 (2) 石巻市町内会連合会総会において候補者推薦について依頼（6月開催） (3) 市報やホームページにより民生委員の役割や活動内容を周知 （市報：5月、7月、8月、9月、11月、3月 計6回掲載） (4) 民生委員協力員制度を導入し、配置を希望する民生委員へ協力員を配置 令和4年度末の委嘱者数：5人</p>					
成果	<p>見守りを要する高齢単身世帯の増加や生活課題を抱える市民への対応のほか、災害時要配慮者への支援等により民生委員の負担が増加傾向にあり、活動費を増額することにより、経済的な負担軽減が図られた。</p> <p>また、民生委員の活動を補佐・協力する民生委員協力員の配置により、複数体制での活動が可能となり、民生委員の負担軽減が図られた。</p>					
成果に係る評価	<p>高齢化の進行に伴う見守り対象世帯の増加や生活困窮者、災害時要配慮者への支援等、民生委員の活動は多岐に渡ることから、活動経費の交付を継続し、負担軽減を図る必要がある。</p> <p>また、民生委員の役割や活動内容への理解促進を深めるため、市報等を活用した継続的な周知が必要である。</p> <p>併せて、石巻市社会福祉協議会の地域福祉コーディネーター等と連携し、地域の現状把握により欠員解消に努めるとともに、民生委員協力員制度の認知度を高め、複数体制での活動を推進することで負担軽減を図り、早期退任を抑制する必要がある。</p>					
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	21,677,678	20,936,303	12,000			20,924,303

予算科目	3 款	民生費	事業名	社会福祉協議会運営費補助事業															
	1 項	社会福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち														
	1 目	社会福祉総務費		第 5 節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現														
	事業	社会福祉関係助成費		(1)	地域での孤立防止を推進する														
担当部課	保健福祉部保健福祉総務課	実施計画掲載ページ		P59															
目的及び事業内容		石巻市社会福祉協議会が行う事務事業等の運営費の一部を補助することにより、同法人の円滑な事業推進を支援し、地域福祉の増進を図る。																	
取組実績		石巻市社会福祉協議会の本所・支所職員に係る人件費相当分の一部を補助金として交付した。 補助金交付額 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>補助額</th> <th>補助対象人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>165,821,956円</td> <td>34名</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>170,725,517円</td> <td>34名</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>173,436,519円</td> <td>33名</td> </tr> </tbody> </table>						年度	補助額	補助対象人数	R2	165,821,956円	34名	R3	170,725,517円	34名	R4	173,436,519円	33名
年度	補助額	補助対象人数																	
R2	165,821,956円	34名																	
R3	170,725,517円	34名																	
R4	173,436,519円	33名																	
成果		地域福祉の中核を担う石巻市社会福祉協議会の事業の安定的な運営が確保され、地域住民や関係団体との連携及び協働による本市の地域福祉の推進と、子ども・高齢者・障害者など全ての市民が、地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現に向けた取組や包括的な支援体制の推進が図られた。																	
成果に係る評価		本市の第4期地域福祉計画の基本理念である「いつも自分らしく生きるために、みんなで支え合う地域づくり」の実現に向けて、石巻市社会福祉協議会と連携した取組が必要不可欠であることから、事業を継続する必要がある。 なお、令和5年3月に石巻市社会福祉協議会が作成した「職員適正化計画」を精査するとともに、市の施策を補完する公共性の高い事業運営に資する人件費の補助であることを踏まえ、地域福祉の推進に必要な事業について、引き続き協議していく必要がある。																	
(単位：円)																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源													
	173,437,000	173,436,519				173,436,519													

予算科目	3 款	民生費	事業名	支え合い活動支援事業																											
	1 項	社会福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																										
	1 目	社会福祉総務費		第 5 節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																										
	事業	地域福祉推進関係費		(1)	地域での孤立防止を推進する																										
担当部課	保健福祉部保健福祉総務課	実施計画掲載ページ																													
目的及び事業内容		復興公営住宅等において継続的な見守りや地域での「顔の見える関係づくり」を進めるため、各種のサロン活動団体が実践する小地域福祉活動を推進し、地域コミュニティの構築を図る。																													
取組実績		1 事業委託 (1) 委託先 石巻市社会福祉協議会 (2) 委託内容 交付申請及び実績報告に係る受付、書類審査等 (3) 委託料 2,108,700円 2 サロン活動補助金(年間上限額:30,000円 助成期間:最長4年間) (1) @30,000円×32団体=960,000円 (2) 上限額未満 1団体 29,037円 補助金合計 989,037円 3 コロナ禍における補助金交付要件の緩和 新型コロナウイルス感染症の影響により、参加人数や活動回数を制限しつつ、活動を継続しているサロン団体を支援するため、少人数で年1回以上活動を実施した団体についても補助対象とする等の要件緩和を継続した。(※要件緩和開始年度:R2年度) 4 事業実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>交付団体数</th> <th>補助金額</th> <th>業務委託料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>151件</td> <td>4,505,844円</td> <td>3,354,480円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>168件</td> <td>5,011,770円</td> <td>2,857,229円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>96件</td> <td>2,760,101円</td> <td>2,925,407円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>60件</td> <td>1,723,726円</td> <td>2,283,600円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>33件</td> <td>989,037円</td> <td>2,108,700円</td> </tr> </tbody> </table>						年度	交付団体数	補助金額	業務委託料	H30	151件	4,505,844円	3,354,480円	R1	168件	5,011,770円	2,857,229円	R2	96件	2,760,101円	2,925,407円	R3	60件	1,723,726円	2,283,600円	R4	33件	989,037円	2,108,700円
年度	交付団体数	補助金額	業務委託料																												
H30	151件	4,505,844円	3,354,480円																												
R1	168件	5,011,770円	2,857,229円																												
R2	96件	2,760,101円	2,925,407円																												
R3	60件	1,723,726円	2,283,600円																												
R4	33件	989,037円	2,108,700円																												
成果		新型コロナウイルス感染症の影響も一因となり、交付団体数は減少しているが、活動内容の工夫等により活動の継続、再開する団体を支援するため、交付要件緩和を継続したこともあり、会員同士による声かけや見守り活動が行われ、住民同士の支え合う関係性が持続し、地域互助意識の醸成が図られた。																													
成果に係る評価		地域住民が集うことにより、生きがいづくりや地域における居場所の確保が図られるため、自主的かつ継続的なサロン活動を推進する必要がある。 また、本事業の実施により、住民間における支え合う意識の醸成が図られたものの、活動の再開に至っていない団体もあることから、地域の実情を把握し、他の施策と連携しながら地域福祉活動を支援する必要がある。																													
(単位：円)																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
	3,609,000	3,097,737	3,097,000			737																									

予算科目	3 款	民生費	事業名	コミュニティカーシェアリング推進事業																		
	1 項	社会福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																	
	1 目	社会福祉総務費		第 5 節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																	
	事業	地域福祉推進関係費		(1)	地域での孤立防止を推進する																	
担当部課	保健福祉部保健福祉総務課	実施計画掲載ページ		P59																		
目的及び事業内容		「コミュニティ・カーシェアリング」を活用した住民主体による地域互助活動に取り組もうとする町内会等に専門コーディネーターを派遣し、立上げ準備から立上げ後の運営支援を行うことにより、住民同士が支え合いながら暮らすことのできる地域づくりを目指す。																				
取組実績		<p>1 カーシェア会の立上げ支援による設立実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>地区</th> <th>設立年月日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>山下南</td> <td>R1.7.16</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>田道町</td> <td>コロナの影響により設立断念</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>貞山</td> <td>R4.2.11</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>荻浜</td> <td>R5.3.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R1、R2年度は、地域力強化推進事業（旧健康部包括ケア推進室所管）の一部として実施。</p> <p>2 制度内容の周知 市内16地区の民生委員児童委員協議会の区域に各1団体の立上げを目指しており、カーシェア会の未設置地区において、地域福祉の担い手である民生委員・児童委員の定例会や、町内会・行政区長会等に出向いて説明を行ったほか、住民向けチラシの配布などによる周知を行った。</p>						年度	地区	設立年月日	R1	山下南	R1.7.16	R2	田道町	コロナの影響により設立断念	R3	貞山	R4.2.11	R4	荻浜	R5.3.3
年度	地区	設立年月日																				
R1	山下南	R1.7.16																				
R2	田道町	コロナの影響により設立断念																				
R3	貞山	R4.2.11																				
R4	荻浜	R5.3.3																				
成果		高齢者等の移動支援や地域における関係性の希薄化等の地域課題に対し、本取組みを実施することにより、課題の軽減や外出機会の創出、生きがいに寄与するとともに、「顔の見える関係づくり」及び「見守り活動」等の地域互助活動の推進が図られた。																				
成果に係る評価		コミュニティ・カーシェアリングは、日常の買い物や通院時における公共交通の補完的役割を担っており、地域課題の解決に向けた地域互助活動である取組みを普及・促進するため、事業に対する理解・関心を高める必要がある。 公共交通網が不足しがちな総合支所地域や沿岸部において、カーシェア会の立上げが進んでいないことから、引き続き町内会や民生委員・児童委員、地域住民に対し事業内容の周知を行っていききたい。																				
(単位：円)																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																
	1,089,000	1,089,000	544,000		545,000																	

予算科目	3 款	民生費	事業名	避難行動要支援者支援事業																																																																											
	1 項	社会福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																										
	1 目	社会福祉総務費		第 5 節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																																																																										
	事業	要配慮者等避難支援事業費		(1)	地域での孤立防止を推進する																																																																										
担当部課	保健福祉部保健福祉総務課	実施計画掲載ページ		P60																																																																											
目的及び事業内容		自ら避難することが困難な者の避難支援につながる「地域の助け合いの意識」を醸成するため、避難行動要支援者情報を適切に管理、更新するとともに、登録者名簿及び支援計画書を作成し、民生委員や町内会等と情報共有等を図ることによって、避難行動要支援者を支援する体制づくりを推進する。																																																																													
取組実績		<p>1 年度別登録者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>全体</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>3,798人</td> <td>2,784人</td> <td>143人</td> <td>74人</td> <td>573人</td> <td>129人</td> <td>54人</td> <td>41人</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>3,667人</td> <td>2,673人</td> <td>142人</td> <td>81人</td> <td>562人</td> <td>119人</td> <td>51人</td> <td>39人</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>3,057人</td> <td>2,283人</td> <td>115人</td> <td>52人</td> <td>469人</td> <td>89人</td> <td>23人</td> <td>26人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※死亡者及び転出者等の登録抹消者数が、新規登録者数を上回るため、要支援者の登録者数は減少傾向</p> <p>2 防災ネットワーク(※)登録団体数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>全体</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>147団体</td> <td>133団体</td> <td>0団体</td> <td>3団体</td> <td>5団体</td> <td>1団体</td> <td>5団体</td> <td>0団体</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>147団体</td> <td>132団体</td> <td>0団体</td> <td>3団体</td> <td>6団体</td> <td>1団体</td> <td>5団体</td> <td>0団体</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>149団体</td> <td>134団体</td> <td>0団体</td> <td>3団体</td> <td>6団体</td> <td>1団体</td> <td>5団体</td> <td>0団体</td> </tr> </tbody> </table> <p>※防災ネットワークとは、要支援者を支援しようとするため、市へ登録申請を行っている自主防災組織、町内会又は町内会に類する自治組織をいう。</p> <p>3 取組内容 (1) 民生委員児童委員の改選期のため、民生委員児童委員に対して情報更新した避難行動要支援者名簿を情報提供するとともに、制度概要の説明を行った。 (2) 避難行動要支援者支援制度に関する出前講座を実施した。 (3) 日常的に民生委員児童委員と要支援者に関する情報を共有して要支援者の新規登録及び情報更新を行った。 (4) 本市の防災ネットワークとして登録する町内会等へ要支援者に関する情報の共有を図った。</p>						年度	全体	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	R2	3,798人	2,784人	143人	74人	573人	129人	54人	41人	R3	3,667人	2,673人	142人	81人	562人	119人	51人	39人	R4	3,057人	2,283人	115人	52人	469人	89人	23人	26人	年度	全体	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	R2	147団体	133団体	0団体	3団体	5団体	1団体	5団体	0団体	R3	147団体	132団体	0団体	3団体	6団体	1団体	5団体	0団体	R4	149団体	134団体	0団体	3団体	6団体	1団体	5団体	0団体
年度	全体	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿																																																																							
R2	3,798人	2,784人	143人	74人	573人	129人	54人	41人																																																																							
R3	3,667人	2,673人	142人	81人	562人	119人	51人	39人																																																																							
R4	3,057人	2,283人	115人	52人	469人	89人	23人	26人																																																																							
年度	全体	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿																																																																							
R2	147団体	133団体	0団体	3団体	5団体	1団体	5団体	0団体																																																																							
R3	147団体	132団体	0団体	3団体	6団体	1団体	5団体	0団体																																																																							
R4	149団体	134団体	0団体	3団体	6団体	1団体	5団体	0団体																																																																							
成果		避難行動要支援者支援に関する制度説明や出前講座の実施により、同制度に関する理解促進が図られ、地域における助け合い意識の醸成が図られた。																																																																													
成果に係る評価		避難行動要支援者を支援する体制づくりを推進するため、制度の周知を図り、地域における助け合いの意識の醸成が図られたが、市内における制度内容の定着までには至っていないため、引き続き、市報等により広報を継続していく必要がある。 また、避難行動要支援者の個別避難計画の策定について、「地域防災計画」、「津波避難計画」との整合を図りながら、進めていく必要がある。																																																																													
(単位：円)																																																																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																									
	1,837,000	1,093,839				1,093,839																																																																									

予算科目	3 款	民生費	事業名	地域力強化推進事業																		
	1 項	社会福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																	
	1 目	社会福祉総務費		第 5 節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																	
	事業	包括的支援体制構築事業費		(1)	地域での孤立防止を推進する																	
担当部課	保健福祉部保健福祉総務課	実施計画掲載ページ		P 59																		
目的及び事業内容	<p>地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進を図るため、住民に身近な地域において、地域住民等が主体的に地域の生活課題を把握し解決を試みることができる環境の整備を行う。</p> <p>また、身近な地域で行う見守り等の互助活動に対し助成金を交付することで、地域住民の主体的かつ持続的な活動を支援する。</p>																					
取組実績	<p>1 地域互助活動促進事業助成金 高齢者、障害者、子ども、生活困窮者等を対象として、市民主体の団体が身近な地域において行う日常生活上の助け合い活動に対し助成金を交付することで、地域住民の主体的かつ持続的な活動の支援を実施した。 【交付内訳】</p> <table border="1"> <tr> <td>・見守り・声かけ支援</td> <td>3団体</td> <td>180,000円</td> </tr> <tr> <td>・送迎支援</td> <td>1団体</td> <td>120,000円</td> </tr> <tr> <td>・送迎支援＋見守り・声かけ支援</td> <td>8団体</td> <td>1,295,000円</td> </tr> <tr> <td>・見守り・声掛け支援＋交流事業</td> <td>2団体</td> <td>240,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>14団体</td> <td>1,835,000円 (24事業)</td> </tr> </table> <p>2 「地域の支え合いを考える大会」の開催 ※「地域福祉講演会」と合同開催 開催日 令和4年11月12日 参加者 市民、福祉関係者等 280人(募集定員：250人) 内容 福祉作品コンクールの表彰式、地域で活動している団体の活動発表、基調講演 基調講演 講師 法政大学 現代福祉学部 福祉コミュニティ学科 教授 宮城 孝 氏 「多様なコミュニティで共に支え合う」と題し、コロナ禍における地域福祉の現状と課題、他の地域の事例を通して、地域の支え合いの必要性について</p>							・見守り・声かけ支援	3団体	180,000円	・送迎支援	1団体	120,000円	・送迎支援＋見守り・声かけ支援	8団体	1,295,000円	・見守り・声掛け支援＋交流事業	2団体	240,000円	計	14団体	1,835,000円 (24事業)
・見守り・声かけ支援	3団体	180,000円																				
・送迎支援	1団体	120,000円																				
・送迎支援＋見守り・声かけ支援	8団体	1,295,000円																				
・見守り・声掛け支援＋交流事業	2団体	240,000円																				
計	14団体	1,835,000円 (24事業)																				
成果	<p>地域の見守り・声かけ活動と交流事業を合わせて行う新規の2団体から申請があり、多世代交流や市民が主体となり問題解決に向けて取り組む体制づくりに寄与することができた。</p> <p>また、各団体が、地域住民や地域の多様な主体にも参画していただけるよう促していることから、居場所や生きがいを見出すことができた参加者も増えている。</p>																					
成果に係る評価	<p>各助成団体が、コロナ禍で、暮らしにおける人と人とのつながりが弱まる中、感染対策や工夫を凝らした活動を実施することにより、地域住民の身近において発生した生活課題を自分たちで把握し、解決に向けて取組む体制づくりの構築に寄与することができた。</p> <p>また、令和4年度中に要件緩和や事業の見直しを行ったことから、これまで申請実績のない町内会単位での活動に対しても支援しやすくなった。更なる次世代型地域包括ケアシステムの推進に向けた、共に支え合う地域づくりの強化について、市内全域に取組を広げていきたい。</p>																					
(単位：円)																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																
	2,014,500	1,904,777			1,800,000	104,777																

予算科目	3 款	民生費	事業名	多機関の協働による包括的支援体制構築事業																																																											
	1 項	社会福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																																										
	1 目	社会福祉総務費		第 5 節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																																																										
	事業	包括的支援体制構築事業費		(3)	各種相談事業を充実させる																																																										
担当部課	保健福祉部保健福祉総務課	実施計画掲載ページ		P 62																																																											
目的及び事業内容	<p>複雑・複合化した課題を包括的に受け止める総合的な相談支援体制の構築を図るため、個別検討会議(関係機関との支援プランの情報共有や役割分担、対応策検討のための会議)、ネットワーク会議(庁内の関係課と石巻市社会福祉協議会を構成員とし、ネットワーク構築の意義と業務内容の共有・理解、連携方法や役割の確認、社会資源の発見・創出を目的とする会議)、多職種連携会議(民協区毎に開催し、各関係機関でネットワークの強化を図り、地域と地域住民の困りごとを共有し、解決に向けた検討や連携体制構築の場とする会議)等を行う。</p>																																																														
取組実績	<p>1 ネットワークの構築 関係課や民間団体、医療機関と会議等を行い、複合的な課題や制度の狭間にある問題を抱える方に対してチームアプローチを行い、連携の強化を図った。 (1) ネットワーク会議:2回 参加者(延べ)31名 (2) 個別検討会議(随時開催):7回 参加者(延べ)44名 (3) 多職種連携会議(民協区毎に開催):32回開催 参加者(延べ)264名</p> <p>2 相談者に対する支援 (1) 多機関での協働支援 ・住まいの確保(特定非営利活動法人やっぺす、保護課、住宅課等との連携) ・医療の確保(医療機関、保険年金課、保護課等との連携) (2) 断らない相談と伴走支援 ・ひきこもりの方への支援(定期訪問、通院同行、関係機関へのつなぎや情報共有等) ・8050問題のケースへの支援(定期訪問、各種手続きの伴走支援、関係機関へのつなぎ等)</p>																																																														
成果	<p>複合・複雑課題について、本人以外からの相談も増えつつあり、包括的な支援が図られた。</p> <p><相談支援対応実績></p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">新規相談件数</th> <th colspan="4">相談内容の内訳</th> <th rowspan="2">※相談内容は重複あり</th> </tr> <tr> <th>単発</th> <th>継続</th> <th>健康</th> <th>困窮</th> <th>住居</th> <th>他</th> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>25</td> <td>8</td> <td>18</td> <td>19</td> <td>11</td> <td>41</td> <td>※他(介護、家族関係、ひきこもり、ゴミ屋敷等)</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="4">新規相談の経路の内訳</th> </tr> <tr> <th>本人</th> <th>家族</th> <th>市各課</th> <th>他</th> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>10</td> <td>13</td> </tr> </table> <p>※他(相談支援事業所、NPO、学校、民生委員、地域包括支援センター等)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">支援世帯数</th> <th colspan="4">対応回数の内訳</th> </tr> <tr> <th>支援件数</th> <th>最終結件数</th> <th>電話</th> <th>訪問</th> <th>来所</th> <th>メール等</th> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>58</td> <td>37</td> <td>1062</td> <td>547</td> <td>80</td> <td>59</td> </tr> </table>							年度	新規相談件数		相談内容の内訳				※相談内容は重複あり	単発	継続	健康	困窮	住居	他	R4	25	8	18	19	11	41	※他(介護、家族関係、ひきこもり、ゴミ屋敷等)	年度	新規相談の経路の内訳				本人	家族	市各課	他	R4	8	2	10	13	年度	支援世帯数		対応回数の内訳				支援件数	最終結件数	電話	訪問	来所	メール等	R4	58	37	1062	547	80	59
年度	新規相談件数		相談内容の内訳				※相談内容は重複あり																																																								
	単発	継続	健康	困窮	住居	他																																																									
R4	25	8	18	19	11	41	※他(介護、家族関係、ひきこもり、ゴミ屋敷等)																																																								
年度	新規相談の経路の内訳																																																														
	本人	家族	市各課	他																																																											
R4	8	2	10	13																																																											
年度	支援世帯数		対応回数の内訳																																																												
	支援件数	最終結件数	電話	訪問	来所	メール等																																																									
R4	58	37	1062	547	80	59																																																									
成果に係る評価	<p>庁内関係課との包括的な相談の受け止めやつなぎについては、引き続き横断的な連携支援が必要であることから他の施策と併せて取り組んでいくとともに、今後も複合的な課題や制度の狭間にある問題を抱える方に対し、多職種連携会議などを通じて適切な機関等へつなげるように、さらに連携を図ってきたい。</p>																																																														
(単位：円)																																																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																									
	673,500	538,906				538,906																																																									

予算科目	3 款	民生費	事業名	奨学金返還支援事業								
	1 項	社会福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち							
	1 目	社会福祉総務費		第 5 節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現							
	事業	地域包括ケア推進事業費		(2)	地域で支える活動と在宅医療・介護の連携を推進する							
担当部課	保健福祉部保健福祉総務課	実施計画掲載ページ		P61								
目的及び事業内容	<p>地域包括ケアを推進していく上で必要となる医療・福祉・介護職の人材確保と定住促進を図るため、市が定める資格を有し、市内居住及び市内事業所で就労する者に対し、その者が自ら貸与された奨学金を返還した場合に、年額20万円を上限に最長3年間、助成金を交付する。</p> <p>※市が定める資格 看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、保育士</p>											
取組実績	1 奨学金返還支援事業助成金の交付 ・交付状況（助成金交付者の保有資格内訳）											
	資格		H30		R1		R2		R3		R4	
		新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規
	看護師	9人	21人	5人	24人	7人	16人	9人	12人	14人	18人	
	保健師	0人	1人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	助産師	2人	0人	2人	2人	4人	0人	4人	1人	2人		
	理学療法士	4人	7人	13人	10人	7人	21人	6人	18人	9人	17人	
	作業療法士	3人	5人	3人	7人	3人	5人	7人	5人	3人	9人	
	言語聴覚士	0人	1人	0人	1人	0人	0人	1人	0人	1人	1人	
	社会福祉士	0人	1人	0人	1人	2人	0人	3人	1人	2人	4人	
	介護福祉士	2人	2人	3人	3人	0人	6人	2人	2人	0人	3人	
	精神保健福祉士	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	保育士	5人	10人	13人	11人	10人	19人	8人	19人	9人	16人	
	合計	25人	49人	39人	60人	31人	71人	36人	61人	39人	70人	
	交付者数(人)	74人		99人		102人		97人		109人		
	交付額(円)	11,297,029円		13,225,364円		14,037,798円		14,231,953円		14,545,780円		
成果	2 事業の周知活動 ・市報、市ホームページ及び日本学生支援機構ホームページに掲載 ・関係団体（石巻市医師会、桃生郡医師会、石巻市社会福祉協議会、ハローワーク石巻、県内の教育機関等39団体）への周知依頼とチラシの設置等											
	令和4年度の新規助成金交付者数は、前年度と比較して増加したことから、医療・福祉・介護職の人材確保が図られた。											
成果に係る評価	市内事業所による、本制度を活用した採用活動や各関係機関への広報活動により制度の周知が進み、新規申請者数は前年度と比較して増となった。 医療と介護を必要とする高齢者等が、住み慣れた地域で最後まで自分らしく暮らすための体制づくりの一環として、専門職の人材確保は必要不可欠であり、令和5年度以降の新規申請分から助成総額を変更せずに、助成期間を3年から6年に見直ししており、今後も長期的な専門職の人材確保に努めていきたい。											
(単位：円)												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源						
	15,988,000	14,545,780			14,545,780							

予算科目	3 款	民生費	事業名	共生型地域包括ケアサービス事業																																													
	1 項	社会福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																												
	1 目	社会福祉総務費		第 5 節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																																												
	事業	地域包括ケア推進事業費		(2)	地域で支える活動と在宅医療・介護の連携を推進する																																												
担当部課	保健福祉部保健福祉総務課	実施計画掲載ページ		P61																																													
目的及び事業内容	<p>牡鹿地区において、高齢者のみならず、障がい者や子ども等も対象とした「共生型」の通所サービスを提供し、保健・福祉を必要とする人たちの居場所の確保と見守り等を行いながら、利用者の生活の質の向上、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図る。</p>																																																
取組実績	1 実施場所 牡鹿保健福祉センター「清優館」																																																
	2 実施回数 年間52回																																																
成果	3 利用登録者数 23人(男 1人・女 22人) ※うち、障がい者は、男 0人・女 3人																																																
	4 利用延べ人数 421人(男 18人・女 403人)																																																
成果に係る評価	5 サービス実施内容 (1) 生活や健康に関する相談・指導等 (2) 健康状態の確認(血圧測定、脈拍測定等) (3) 日常動作訓練(健康体操、転倒防止体操等) (4) 教養講座・制作活動・その他レクリエーション等 (5) 利用者の送迎 (6) 昼食サービスほか																																																
	<p>昨年度と比較して利用登録者数は減少したものの利用実績は増加した。コロナ禍で参加人数や活動内容を制限しつつ、制作活動やレクリエーション活動等を行い、利用者相互の交流が見られ、心身機能の維持向上等が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">実施回数</th> <th colspan="2">利用延べ人数</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>60回</td> <td>600人</td> <td>598人</td> <td>99.7%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>60回</td> <td>600人</td> <td>552人</td> <td>92.0%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>60回</td> <td>600人</td> <td>543人</td> <td>90.5%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>55回</td> <td>600人</td> <td>725人</td> <td>120.8%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>40回</td> <td>600人</td> <td>372人</td> <td>62.0%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>52回</td> <td>520人</td> <td>398人</td> <td>76.5%</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>52回</td> <td>520人</td> <td>421人</td> <td>81.0%</td> </tr> </tbody> </table>								区分	実施回数	利用延べ人数		達成率	目標	実績	H28	60回	600人	598人	99.7%	H29	60回	600人	552人	92.0%	H30	60回	600人	543人	90.5%	R1	55回	600人	725人	120.8%	R2	40回	600人	372人	62.0%	R3	52回	520人	398人	76.5%	R4	52回	520人	421人
区分	実施回数	利用延べ人数		達成率																																													
		目標	実績																																														
H28	60回	600人	598人	99.7%																																													
H29	60回	600人	552人	92.0%																																													
H30	60回	600人	543人	90.5%																																													
R1	55回	600人	725人	120.8%																																													
R2	40回	600人	372人	62.0%																																													
R3	52回	520人	398人	76.5%																																													
R4	52回	520人	421人	81.0%																																													
成果に係る評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、1回あたりの参加人数や活動内容を制限したため、利用延べ人数はコロナ禍以前より少なくなっているが、徐々に回復傾向にある。利用者の生きがいづくりや介護予防等、共生型デイサービスとして定着してきたことなど、次世代型地域包括ケアの観点で有用な事業であることから、登録者の増加を図ることとしたい。																																																
(単位：円)																																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																											
	3,564,000	3,564,000			3,564,000																																												

予算科目	3 款	民生費	事業名	買物支援対策事業																									
	1 項	社会福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																								
	1 目	社会福祉総務費		第 5 節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																								
	事業	地域包括ケア推進事業費		(2)	地域で支える活動と在宅医療・介護の連携を推進する																								
担当部課	保健福祉部保健福祉総務課	実施計画掲載ページ		P61																									
目的及び事業内容	<p>離島部においては、日常生活必需品の確保は切実な課題であることから、買物支援対策事業を実施する団体に対し、事業に要する経費の一部を助成することにより、地域包括ケアの中でも重要な役割である「支え合い（互助）」による買物支援対策事業が安定的に行われ、買物利便性向上に資することを目的とする。</p>																												
取組実績	<p>1 実施事業 離島部において、日常生活に必要な物資の一括購入、買物の場の提供、無料配達等を実施する団体に 対し、物資輸送費（船賃）の一部経費を助成金として交付した。</p> <p>2 買物支援対策助成金の交付状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>申請件数</th> <th>交付件数</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>271,310円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>283,210円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>150,000円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>90,000円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>90,000円</td> </tr> </tbody> </table>					区分	申請件数	交付件数	交付額	H30	1件	1件	271,310円	R1	1件	1件	283,210円	R2	1件	1件	150,000円	R3	1件	1件	90,000円	R4	1件	1件	90,000円
区分	申請件数	交付件数	交付額																										
H30	1件	1件	271,310円																										
R1	1件	1件	283,210円																										
R2	1件	1件	150,000円																										
R3	1件	1件	90,000円																										
R4	1件	1件	90,000円																										
成果	<p>助成金を交付することで、地域包括ケアの中でも重要な役割である「支えあい（互助）」の意識醸成と買物困難地域における買物の利便性向上が図られるとともに、会場においては世代間の交流促進も図られた。</p>																												
成果に係る評価	<p>事業対象地区では後継者不足などの課題もある中、地域住民が事業に熱心に取り組んでおり、次世代型地域包括ケアの観点から引き続き離島部の買物困難地域における地域住民の取組を支援するとともに地域の実情を踏まえ、事業を継続していく必要がある。</p>																												
予算の執行状況	(単位：円)																												
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																							
	180,000	90,000				90,000																							

予算科目	3 款	民生費	事業名	旧みなと荘解体事業		
	1 項	社会福祉費	総合計画	第 6 章	市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち	
	2 目	総合福祉会館費		第 2 節	持続可能な行財政運営の推進	
	事業	みなと荘管理費		(2)	未利用公有財産の有効な活用を図る	
担当部課	保健福祉部保健福祉総務課	実施計画掲載ページ		P108		
目的及び事業内容	<p>旧総合福祉会館みなと荘は、石巻市社会福祉協議会の復興支援関係事務の執務室として無償貸与していたが、石巻市社会福祉協議会が事務所を建設し移転したため、令和3年度末に返還された。その後の利活用の予定はなく、老朽化した建物を計画的に解体撤去し、環境整備を図る。</p>					
取組実績	<p>1 施設概要 (1) 建物所在 石巻市湊町一丁目204-1 (2) 建物構造 鉄筋コンクリート造3階建 (3) 延床面積 2340.05㎡</p> <p>2 実施業務 (1) アスベスト含有調査業務委託料 368,500円 (2) 廃棄物収集運搬処理料 451,140円 (3) 解体工事実施設計業務委託料 2,860,000円 合 計 3,679,640円</p>					
成果	<p>旧みなと荘解体事業の進捗が図られた。 なお、建物本体に係る解体計画は下記のとおりである。 令和5年8月 解体工事入札・契約 令和6年3月 解体工事完了</p>					
成果に係る評価	<p>令和5年8月の解体工事着工に向け、本事業を着実に進捗させる必要がある。</p>					
予算の執行状況	(単位：円)					
	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	4,493,260	3,679,640				3,679,640

予算科目	3 款	民生費	事業名	障害者福祉事業				
	1 項	社会福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち			
	3 目	障害者福祉費		第3節	共に安心して暮らせる障害福祉の充実			
	事業	障害者福祉費		(1)	障害者の自立と社会参加への支援を行う			
担当部課	保健福祉部障害福祉課	実施計画掲載ページ		P53				
目的及び事業内容	障害者の自立と更生のため、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付事務等、各種事業を実施し、障害者の擁護及び社会参加の促進を図る。							
取組実績	1 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳交付事務 ※各年度3月31日現在 各種手帳の交付状況							
		年度	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者手帳			
	(所持者数)	R3	5,440人	1,288人	1,006人			
		R4	5,392人	1,448人	1,123人			
	2 身体障害者相談員設置事業 委嘱相談員 R3:10名 R4:7名 相談件数 R3:21件 R4:45件 身体障害者を相談員として委嘱。相談員が身体障害者の相談に応じ、必要な援助を行った。							
	3 在宅障害者等社会参加促進助成券(タクシー券・自動車燃料券)の交付 在宅障害者等の移動を支援し、社会参加の促進に努めた。							
		年度	交付者数	助成額				
		R3	2,802人	39,210,500円				
		R4	2,640人	37,902,000円				
	4 知的障害者グループホーム体験ステイ事業 自立生活を希望する知的障害児者がグループホームでの生活体験を行う事業だが、R4年度は、利用希望がなく、実績がなかった。							
	年度	利用者数	利用泊数	利用額				
	R3	1人	2泊	18,200円				
	R4	0人	0泊	0円				
5 在宅酸素療法者酸素濃縮器利用助成事業 呼吸器障害者等に対し、居宅において酸素濃縮器等の使用に要する経費(電気料)について、助成金を交付した。								
	年度	助成人数	助成額					
	R3	107人	2,040,000円					
	R4	107人	2,056,000円					
6 難聴児補聴器助成事業 身体障害者手帳交付対象外の軽中等度難聴児に対し、補聴器の購入・修理費用の一部を助成した。								
	年度	利用者数	利用件数	助成額				
	R3	7人	9件	1,122,087円				
	R4	2人	4件	52,152円				
7 重症心身障害児者短期入所利用支援助成事業 市外の医療型短期入所施設を利用した際の移動に係る燃料費相当額等を助成した。								
	年度	利用者数	利用件数	助成額				
	R3	3人	7件	62,900円				
	R4	1人	6件	54,168円				
8 小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業 児童福祉法(小児慢性特定疾患治療研究事業を除く。)及び障害者総合支援法による施策の対象とはならない小児慢性特定疾患児に対し、日常生活用具を給付することにより、日常生活の便宜を図るための事業だが、R3年度、R4年度は利用希望がなく実績がなかった。								
成果	窓口での案内、ホームページ、障害福祉ガイドブックの配布による事業の周知により、支援を必要とする方への各種事業の利用につながり、社会参加の促進や自立更生に向けた支援が図られた。							
成果に係る評価	障害者が地域で安心して生活していくためには、必要な支援を提供し生活基盤の安定を図る必要がある。今後も継続して行っていく必要がある。							
(単位:円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	61,706,000	55,473,371	1,138,000			54,335,371		

予算科目	3 款	民生費	事業名	障害者自立支援給付事業				
	1 項	社会福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち			
	4 目	障害者自立支援費		第3節	共に安心して暮らせる障害福祉の充実			
	事業	自立支援給付費		(1)	障害者の自立と社会参加への支援を行う			
担当部課	保健福祉部障害福祉課	実施計画掲載ページ		P53				
目的及び事業内容	障害者総合支援法に基づき、障害者及び障害児がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付を行い、もって障害者及び障害児の福祉の増進を図るとともに、障害の有無にかかわらず地域住民が相互に人格と個性を尊重し、安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与する。 事業費としては、国1/2、県1/4、市1/4の負担金によるものとなっている。							
取組実績	1 障害福祉サービス給付費							
	(1) 介護給付(訪問系):居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護							
	(2) 介護給付(訪問系以外):療養介護、生活介護、短期入所、施設入所支援等							
	(3) 訓練等給付:自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援、グループホーム等							
		分類	事業所数	実利用数	延利用数	給付費		
		上記(1)	31か所	256人	44,391h	193,694,905円		
		上記(2)及び(3)	256か所	1,563人	335,598日	2,380,592,766円		
		措置費	1か所	1人	12件	3,817,802円		
		相談支援給付費	46か所	1,102人	3,342件	50,993,890円		
		特定障害者特別給付費等	72か所	368人	2,419件	37,180,254円		
	高額障害福祉サービス費	-	51人	263件	2,321,065円			
	計				2,668,600,682円			
※事業所数は、実利用事業所ベース。								
2 補装具給付(身体障害者、障害児に対する補装具給付)								
身体障害者及び障害児の機能障害を補い、日常生活を容易にするため、補聴器、義肢、装具、車イス等の厚生労働大臣が定めた補装具の交付及び修理に係る給付を行った。 ・給付件数:286件、給付実績額:38,410,799円								
3 自立支援医療給付(更生医療給付、育成医療給付、療養介護医療給付)								
身体障害者及び障害児、精神疾患を有する者に対し、障害の進行を防ぐための治療に要する医療費の一部を支給した。また、療養介護入所施設の障害者に対し、療養介護医療費を支給した。								
	医療名称	対象者数	公費負担額					
	更生医療	509人	223,473,167円					
	育成医療	5人	84,909円					
	療養介護医療	30人	26,691,397円					
4 医療型短期入所事業空床確保負担金 指定障害福祉サービス事業所(医療型短期入所)である石巻市立病院(H30年1月1日指定)と連携し、空床確保に努めた。 ・負担金額:10,058,140円 【参考】指定障害福祉サービス(医療型短期入所)利用状況:実利用人数2人、延べ11日								
成果	障害のある方が、自ら行動できるための必要な支援を行い、在宅・施設での日常生活の安定と質の向上を図ることができた。							
成果に係る評価	障害者総合支援法、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律等の規定に基づく公的給付費のため、一概に給付額(量)が多ければ良いというものではないが、概ね適正な支給決定に基づき実施されたと考えられる。 引き続き、多様化するニーズや障害特性に対応しつつ、個々に自立した生活を確保するために必要な支援の見直し及び情報共有に努める。							
(単位:円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	2,989,469,000	2,967,319,094	2,199,295,122		343,200	767,680,772		

予算科目	3 款	民生費	事業名	相談支援事業																				
	1 項	社会福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																			
	5 目	地域生活支援事業費		第 3 節	共に安心して暮らせる障害福祉の充実																			
	事業	相談支援事業費		(2)	相談・地域生活支援体制を構築する																			
担当部課	保健福祉部障害福祉課	実施計画掲載ページ		P54																				
目的及び事業内容		<p>障害者支援専門の相談窓口（主に基幹相談支援センター及び相談支援事業所）を設置し、障害者及び障害者の介護を行う者並びに障害児の保護者などからの相談に応じ、必要な情報の提供等の便宜を供与することや、権利擁護のために必要な援助を行う。</p> <p>また、ひきこもりがちな精神障害者等に対し、安心して過ごせる場や集いの場を提供して外出の機会を増やすことや孤立化を防ぎ、病気の再発予防を図ること等、精神障害者の社会復帰や社会的自立及び社会参加を促進するためコミュニティサロンの運営をしている。</p>																						
取組実績	1 障害者相談支援事業：R4年度委託料 63,743,038円		<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>委託先</th> <th>相談内容別件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>4か所</td> <td>22,348件</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>4か所</td> <td>23,522件</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>4か所</td> <td>24,084件</td> </tr> </tbody> </table>					年度	委託先	相談内容別件数	R2	4か所	22,348件	R3	4か所	23,522件	R4	4か所	24,084件					
	年度	委託先	相談内容別件数																					
	R2	4か所	22,348件																					
	R3	4か所	23,522件																					
R4	4か所	24,084件																						
2 精神障害者コミュニティサロン運営事業：R4年度委託料 11,336,974円		<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用決定者数</th> <th>延利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>61人</td> <td>1,740人</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>58人</td> <td>1,800人</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>55人</td> <td>1,457人</td> </tr> </tbody> </table>					年度	利用決定者数	延利用者数	R2	61人	1,740人	R3	58人	1,800人	R4	55人	1,457人						
年度	利用決定者数	延利用者数																						
R2	61人	1,740人																						
R3	58人	1,800人																						
R4	55人	1,457人																						
3 基幹相談支援センター運営事業：R4年度委託料 25,346,180円		<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>人員体制</th> <th>自立支援協議会、研修会等の開催</th> <th>相談件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>5人</td> <td>72回</td> <td>3,077件</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>5人</td> <td>72回</td> <td>3,923件</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>5人</td> <td>72回</td> <td>4,409件</td> </tr> </tbody> </table>					年度	人員体制	自立支援協議会、研修会等の開催	相談件数	R2	5人	72回	3,077件	R3	5人	72回	3,923件	R4	5人	72回	4,409件		
年度	人員体制	自立支援協議会、研修会等の開催	相談件数																					
R2	5人	72回	3,077件																					
R3	5人	72回	3,923件																					
R4	5人	72回	4,409件																					
4 障害者相談支援専門員等配置事業：R4年度委託料 7,864,509円		<p>基幹相談支援センターに、障害者相談支援専門員を配置し、専門的知識を必要とする困難ケース等への対応等を行った。</p>																						
成 果	毎月の相談支援事業者を集めた定例会での情報共有や自立支援協議会を通じた事例検討会及び学習会を行うことにより、相談支援専門員の質の向上及び相談支援事業所間の連携が図られている。		また、複合的な課題を抱えている障害者を含めた相談支援を実施することにより、障害者のニーズが充足されるとともに、障害者の自立促進につながっている。																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">障害者相談支援事業の相談件数</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>-</td> <td>11,619 件</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>12,700 件</td> <td>12,053 件</td> <td>95 %</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>12,775 件</td> <td>11,953 件</td> <td>94 %</td> </tr> </tbody> </table>		区分	障害者相談支援事業の相談件数		達成率等	目標値	実績等	R2	-	11,619 件	-	R3	12,700 件	12,053 件	95 %	R4	12,775 件	11,953 件	94 %	その他、精神障害者の集いの場としてコミュニティサロンを実施することにより、病氣・障害等を理由に閉鎖的な生活を余儀なくされている精神障害者の社会参加の促進につながっている。			
区分	障害者相談支援事業の相談件数			達成率等																				
	目標値	実績等																						
R2	-	11,619 件	-																					
R3	12,700 件	12,053 件	95 %																					
R4	12,775 件	11,953 件	94 %																					
成果に係る評価		<p>障害者相談支援事業や基幹相談支援センター運営事業の相談件数は年々増加傾向であり、障害者支援の充実が図られているが、精神障害者コミュニティサロン運営事業の相談件数（利用決定者数及び延利用者数）は減少傾向である。要因の一部として、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響（イベント開催の参加自粛等）や病状悪化による不参加等が考えられる。現在、受託事業者は不参加者等に対して訪問支援を実施しており、対象者本人の状態把握を行っているため、引き続き訪問支援を実施するとともに事業利用に係る周知の強化を行う必要があると考える。</p>																						
（単位：円）																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	112,994,532	108,290,701	26,845,500			81,445,201																		

予算科目	3 款	民生費	事業名	生活支援事業															
	1 項	社会福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち														
	5 目	地域生活支援事業費		第 3 節	共に安心して暮らせる障害福祉の充実														
	事業	生活支援事業費		(1)	障害者の自立と社会参加への支援を行う														
担当部課	保健福祉部障害福祉課	実施計画掲載ページ		P54															
目的及び事業内容		<p>障害者総合支援法に基づき、地域の特性や障害者等の状況に応じて、障害者が自立した生活を営むために必要な事業を柔軟な形態により実施する。</p> <p>事業費としては、国1/2、県1/4の補助金によるものとなっている。</p> <p>【必須事業】成年後見制度利用支援事業、日常生活用具給付等事業、移動支援事業、地域活動支援センター機能強化事業 等</p> <p>【任意事業】日常生活支援（訪問入浴サービス、日中一時支援）、社会参加支援（レクリエーション活動等支援、点字・声の広報等発行） 等</p>																	
取組実績	1 成年後見制度利用支援事業…判断能力が不十分な知的障害者や精神障害者等の福祉の増進を図るため、市長が家庭裁判所に対して成年後見、保佐及び補助の開始に係る審判の請求等を行った。また、低所得者に対し、申立て経費や成年後見人等への報酬費用の助成を行った。R4年度 申立て件数：3件、後見人等の報酬助成件数：6件、助成等金額：1,457,484円																		
	2 日常生活用具：R4年度給付費 39,893,390円		<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実利用数</th> <th>延利用数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>418人</td> <td>3,885件</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>417人</td> <td>3,981件</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実利用数	延利用数	R3	418人	3,885件	R4	417人	3,981件			
	年度	実利用数	延利用数																
	R3	418人	3,885件																
R4	417人	3,981件																	
3 移動支援（個別・グループ）：R4年度給付費 16,970,730円 ※事業所数は実利用事業所ベース		<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業所数</th> <th>実利用数</th> <th>延利用数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>15か所</td> <td>137人</td> <td>4,592時間</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>16か所</td> <td>138人</td> <td>6,267時間</td> </tr> </tbody> </table>					年度	事業所数	実利用数	延利用数	R3	15か所	137人	4,592時間	R4	16か所	138人	6,267時間	
年度	事業所数	実利用数	延利用数																
R3	15か所	137人	4,592時間																
R4	16か所	138人	6,267時間																
4 地域活動支援センター：R4年度給付費 20,816,980円 ※事業所数は実利用事業所ベース		<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業所数</th> <th>実利用数</th> <th>延利用数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>5か所</td> <td>29人</td> <td>290人</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>5か所</td> <td>24人</td> <td>256人</td> </tr> </tbody> </table>					年度	事業所数	実利用数	延利用数	R3	5か所	29人	290人	R4	5か所	24人	256人	
年度	事業所数	実利用数	延利用数																
R3	5か所	29人	290人																
R4	5か所	24人	256人																
成 果	5 訪問入浴サービス：R4年度給付費 24,148,380円		<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業所数</th> <th>実利用数</th> <th>延利用数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>5か所</td> <td>29人</td> <td>1,868回</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>5か所</td> <td>27人</td> <td>1,946回</td> </tr> </tbody> </table>					年度	事業所数	実利用数	延利用数	R3	5か所	29人	1,868回	R4	5か所	27人	1,946回
	年度	事業所数	実利用数	延利用数															
	R3	5か所	29人	1,868回															
	R4	5か所	27人	1,946回															
6 日中一時支援：R4年度給付費 31,456,608円 ※事業所数は実利用事業所ベース		<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業所数</th> <th>実利用数</th> <th>延利用数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>23か所</td> <td>164人</td> <td>7,772回</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>19か所</td> <td>156人</td> <td>7,092回</td> </tr> </tbody> </table>					年度	事業所数	実利用数	延利用数	R3	23か所	164人	7,772回	R4	19か所	156人	7,092回	
年度	事業所数	実利用数	延利用数																
R3	23か所	164人	7,772回																
R4	19か所	156人	7,092回																
7 声の市報発行…情報入手困難な視覚障害者に音声版（CD）の市報及びガイドブックを配付した。R4年度 利用者数：28人、委託金額：959,370円（委託先：石巻コミュニティ放送株式会社）																			
8 社会参加促進事業補助…障害者の社会参加活動を実施する団体に対し、補助金を交付した。R4年度 補助件数：2件、補助団体数：2団体、補助金額：100,000円																			
9 障害者運転免許取得費・自動車改造費助成金…費用の一部を助成した。R4年度 補助件数（免許）：7件、補助件数（改造）：5件、助成金額：1,141,466円																			
成 果	<p>障害者等が地域生活支援事業の各種支援、サービスを利用することにより、日常生活の支援、障害者家族等の介護負担の軽減、社会参加の促進等が図られた。</p>																		
成果に係る評価		<p>障害者総合支援法、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律等の規定に基づく公的給付費のため、一概に給付額（量）が多ければ良いというものではないが、概ね適正にニーズへの対応及び支給決定に基づく事業の実施が為されたと考えられる。</p> <p>今後も、地域の特性や障害者等の状況に応じて、障害者等が自立した日常生活及び社会生活を営むために必要な事業の実施に努める。</p>																	
（単位：円）																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源													
	150,472,000	136,944,408	52,783,500			84,160,908													

予算科目	3 款	民生費	事業名	理解促進啓発・自発的活動推進事業			
	1 項	社会福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち		
	5 目	地域生活支援事業費		第3節	共に安心して暮らせる障害福祉の充実		
	事業	理解促進研修啓発・自発的活動推進事業費		(1)	障害者の自立と社会参加への支援を行う		
担当部課	保健福祉部障害福祉課	実施計画掲載ページ		P54			
目的及び事業内容		<p>障害者等が日常生活及び社会生活を営む上で生じる「社会的障壁」を除去し、共生社会の実現を図るため、地域住民に対して、障害者等の理解を深めるための研修・啓発事業を行う。</p> <p>また、障害者等が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、障害者や地域住民等による地域における自発的な取組み（ピアサポート、災害対策、孤立防止活動、ボランティア活動等）を支援する。</p>					
取組実績	1 理解促進啓発研修事業						
	内 容		日 程	対象者	参加人数		
	出前講座「障害者とレッツスポーツ」		8/18	児童クラブ	30人		
	出前講座「ワンポイント手話講座」		11/18	事業所職員	19人		
	子どもの貧困及び障害者理解促進講演会 「素敵に生きよう～誰もが違いを認めて素敵に輝く社会を目指して～」		12/27	市民、事業所等	157人		
	障害者就労施設等販売会の開催（市役所1F）毎週水曜日		4月～3月	市民	/		
	障害者週間イベント（自立支援協議会主催）「障害者就労施設等販売会」「ポッチャ体験」等		12/2～4	市民	/		
	「きらりフォトスケッチ」展示（障害者団体主催）の開催支援		12/3～15	市民	/		
障害者週間普及啓発、ヘルプマークの周知（市報掲載、市役所庁内放送）		12/3～9	市民、職員	/			
障害者理解啓発職員研修会		3/16	職員	42人			
2 自発的活動推進事業							
<p>障害者等の自発的活動を行う団体等に対し、補助金を交付した。</p> <p>R4 交付件数：4件 交付金額：112,760円</p>							
成 果	令和4年度から新たにメニューに加えた障害者スポーツ（ポッチャ）を体験する出前講座の実施や講演会では、元パラリンピック選手による講演を行い、参加者の障害についての関心の高まりの醸成に寄与したと考える。						
	区分	研修会開催等啓発活動の実施回数	研修会等参加者数		達成率等		
			目標値	実績等			
R2	4回	-	人	-	人	/	
R3	7回	-	人	190	人	/	
R4	8回	250	人	248	人	99%	
<p>※成果指標は、R4年度から研修会等参加者数に設定（変更）した。</p> <p>※R4年度は、コロナの影響により集客を伴う啓発活動（講演会等）は実施しなかった。</p>							
成果に係る評価		<p>障害の有無にかかわらず、共に安心して暮らせる共生社会の実現を目指すため、地域で支え合う市民意識の醸成及び障害者等が社会参加等の自発的な取組みを支援するため、継続して事業を実施していく必要がある。</p>					
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	
	379,000	303,499	120,000			183,499	

予算科目	3 款	民生費	事業名	意思疎通支援事業																	
	1 項	社会福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																
	5 目	地域生活支援事業費		第3節	共に安心して暮らせる障害福祉の充実																
	事業	意思疎通支援事業費		(1)	障害者の自立と社会参加への支援を行う																
担当部課	保健福祉部障害福祉課	実施計画掲載ページ		P53																	
目的及び事業内容		<p>聴覚、言語機能、音声機能その他の障害のため意思疎通を図ることに支障がある障害者等のために、手話通訳者及び要約筆記者を派遣するなどの各種事業を行うにより、地域生活における意思疎通を円滑にし、社会生活上の利便を図る。</p> <p>①手話通訳者設置事業 ②手話通訳者・要約筆記者派遣事業 ③手話奉仕員養成講座事業 等</p>																			
取組実績	1 手話通訳者設置事業																				
	<p>石巻市社会福祉事務所に手話通訳者を設置することにより、庁内窓口における聴覚障害者等との意思疎通の円滑化を図った。</p> <p>・設置人数 1名 ・報酬等経費 R3 2,075,393円 R4 2,457,088円</p>																				
	2 手話通訳者・要約筆記者派遣事業																				
	<p>意思疎通を図ることが困難な聴覚障害者等に対し、社会生活上必要不可欠な用務の際に手話通訳者・要約筆記者の派遣を行う。</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数</th> <th>派遣件数</th> <th>派遣料</th> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>14人</td> <td>121件</td> <td>601,243円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>11人</td> <td>129件</td> <td>676,055円</td> </tr> </table>							年度	利用者数	派遣件数	派遣料	R3	14人	121件	601,243円	R4	11人	129件	676,055円		
	年度	利用者数	派遣件数	派遣料																	
	R3	14人	121件	601,243円																	
	R4	11人	129件	676,055円																	
	3 手話奉仕員養成講座事業																				
<p>手話奉仕員養成講座を実施し、手話で日常会話を行うのに必要な手話語彙及び手話表現技術を修得した手話奉仕員を養成した。</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>実施内容</th> <th>受講者数</th> <th>講座開催委託料</th> <th>手話奉仕員登録者数</th> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>入門課程</td> <td>22人</td> <td>396,182円</td> <td>90人</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>基礎課程</td> <td>13人</td> <td>463,272円</td> <td>99人</td> </tr> </table>							年度	実施内容	受講者数	講座開催委託料	手話奉仕員登録者数	R3	入門課程	22人	396,182円	90人	R4	基礎課程	13人	463,272円	99人
年度	実施内容	受講者数	講座開催委託料	手話奉仕員登録者数																	
R3	入門課程	22人	396,182円	90人																	
R4	基礎課程	13人	463,272円	99人																	
4 その他の意思疎通支援																					
<p>市主催の行事に手話通訳者等を派遣し、聴覚障害者等への情報保障を図った。</p> <p>R3 実施回数 2回 派遣料 109,254円（手話通訳者5名 要約筆記者4名） （虐待防止及び障害者理解促進講演会、地域福祉講演会）</p> <p>R4 実施回数 2回 派遣料 140,831円（手話通訳者2名 要約筆記者8名） （子どもの貧困及び障害者理解促進講演会、地域福祉講演会）</p>																					
成 果	<p>コロナウイルスに関する外出制限緩和に伴い、R4年度は社会生活が以前のスタイルに戻りつつあり、病院受診等を主とする外出が増えた。それに伴い、通訳派遣数も若干増加した。</p> <p>また、市主催の行事でも情報保障の意義を広く周知することができた。</p> <p>手話奉仕員養成講座では、基礎課程において、さらに聴覚障害者への理解を深める講座となり、受講生一人ひとりの手話技術が上達した。</p>																				
	成果に係る評価	<p>聴覚障害者等の情報の保障及び社会生活上円滑なコミュニケーションを行うために必要な支援であり、事業を継続していく必要がある。</p>																			
（単位：円）																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																		
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源															
	3,845,468	3,737,246	1,597,000			2,140,246															

予算科目	3 款	民生費	事業名	特別障害者手当等措置事業																									
	1 項	社会福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																								
	6 目	特別障害者手当等措置費		第3節	共に安心して暮らせる障害福祉の充実																								
	事業	特別障害者手当等措置費		(1)	障害者の自立と社会参加への支援を行う																								
担当部課	保健福祉部障害福祉課	実施計画掲載ページ		P54																									
目的及び事業内容	特別児童扶養手当等の支給に関する法律等に基づき、精神又は身体に著しく障害があるため、日常生活において常時特別の介護を必要とする者に、特別障害者手当及び障害児福祉手当を支給することにより、福祉の増進を図る。																												
取組実績	<p>1 特別障害者手当 20歳以上で著しく重度の障害を有するため、日常生活において常時特別の介護を必要とする在宅の者に手当を支給した。 R4 支給額：47,024,200円 受給者数：150人 手当月額：27,300円</p> <p>2 障害児福祉手当 20歳未満で重度の障害を有するため、日常生活において常時の介護を必要とする在宅の者に手当を支給した。 R4 支給額：9,091,260円 受給者数：50人 手当月額：14,850円</p> <p>3 手当制度の周知 ・市ホームページ、市報への掲載 ・障害者手帳交付時等において、重度の障害者については、制度の説明を行い、申請を促した。 ・石巻市ケアマネジャー説明会において、制度説明を行った。</p>																												
成果	<p>手当を支給することで、在宅で生活している重度障害者等への生活支援の一助として、経済的支援を図ることができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">新規認定請求件数</th> <th colspan="2">受給者数</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>23件</td> <td>200人</td> <td>196人</td> <td>98%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>20件</td> <td>205人</td> <td>188人</td> <td>92%</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>40件</td> <td>205人</td> <td>200人</td> <td>98%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※受給者数は各年度末時点の人数</p>							区分	新規認定請求件数	受給者数		達成率等	目標値	実績等	R2	23件	200人	196人	98%	R3	20件	205人	188人	92%	R4	40件	205人	200人	98%
区分	新規認定請求件数	受給者数		達成率等																									
		目標値	実績等																										
R2	23件	200人	196人	98%																									
R3	20件	205人	188人	92%																									
R4	40件	205人	200人	98%																									
成果に係る評価	<p>ケアマネジャー説明会や、手帳交付時の該当者への説明等による制度の周知を行ったことにより、令和4年度は、認定請求数は増加した。 精神又は身体に著しい障害があるため、日常生活において常時特別の介護を必要とする者に、在宅生活を維持するために特に必要とされる負担の軽減を図るため、対象者の取りこぼしがなく、引き続き周知活動に努めながら、事業を継続をしていく必要がある。</p>																												
予算の執行状況	(単位：円)																												
予算額	決算額	決算額の財源内訳				一般財源																							
		国(県)支出金	地方債	その他																									
56,600,000	56,115,460	42,352,770				13,762,690																							

予算科目	3 款	民生費	事業名	心身障害者医療対策事業																																																								
	1 項	社会福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																																							
	7 目	心身障害者医療助成費		第3節	共に安心して暮らせる障害福祉の充実																																																							
	事業	心身障害者医療助成費		(1)	障害者の自立と社会参加への支援を行う																																																							
担当部課	保健福祉部障害福祉課	実施計画掲載ページ		P54																																																								
目的及び事業内容	<p>重・中度心身障害者の医療費を助成することにより、適正な医療を受ける機会を確保するとともに、経済的負担の軽減を図る。 助成対象者に係る医療費（入院時食事療養費を除く。）のうち医療保険各法に定める一部負担金（各法による公費負担額、高額療養費、附加給付額を控除した額）を対象者又はその保護者に助成する。 中度心身障害者（特別児童扶養手当2級該当者）については、上記一部負担金の95%の額を助成する。</p>																																																											
取組実績	<p>重・中度心身障害者医療費助成の実施 重度心身障害者及び中度心身障害者の医療費の一部を助成した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">受給者数</th> <th>重度心身障害者</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>身体障害 1級</td> <td>1,780人</td> <td>1,721人</td> <td>1,696人</td> </tr> <tr> <td>身体障害 2級</td> <td>600人</td> <td>593人</td> <td>575人</td> </tr> <tr> <td>身体障害 3級</td> <td>253人</td> <td>249人</td> <td>259人</td> </tr> <tr> <td>療育 A</td> <td>377人</td> <td>373人</td> <td>358人</td> </tr> <tr> <td>特別児童 1級</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>精神障害 1級</td> <td>97人</td> <td>95人</td> <td>101人</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>3,108人</td> <td>3,033人</td> <td>2,992人</td> </tr> <tr> <td>中度心身障害者</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特別児童 2級</td> <td>62人</td> <td>52人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>62人</td> <td>52人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,170人</td> <td>3,085人</td> <td>3,005人</td> </tr> <tr> <td>助成額</td> <td>311,247,100円</td> <td>295,783,336円</td> <td>286,755,849円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和4年4月1日から子ども医療費助成制度の対象年齢が18歳到達年度末日まで拡大</p>							受給者数	重度心身障害者	R2	R3	R4	身体障害 1級	1,780人	1,721人	1,696人	身体障害 2級	600人	593人	575人	身体障害 3級	253人	249人	259人	療育 A	377人	373人	358人	特別児童 1級	1人	2人	3人	精神障害 1級	97人	95人	101人	小計	3,108人	3,033人	2,992人	中度心身障害者				特別児童 2級	62人	52人	13人	小計	62人	52人	13人	合計	3,170人	3,085人	3,005人	助成額	311,247,100円	295,783,336円	286,755,849円
受給者数	重度心身障害者	R2	R3	R4																																																								
	身体障害 1級	1,780人	1,721人	1,696人																																																								
身体障害 2級	600人	593人	575人																																																									
身体障害 3級	253人	249人	259人																																																									
療育 A	377人	373人	358人																																																									
特別児童 1級	1人	2人	3人																																																									
精神障害 1級	97人	95人	101人																																																									
小計	3,108人	3,033人	2,992人																																																									
中度心身障害者																																																												
特別児童 2級	62人	52人	13人																																																									
小計	62人	52人	13人																																																									
合計	3,170人	3,085人	3,005人																																																									
助成額	311,247,100円	295,783,336円	286,755,849円																																																									
成果	<p>重・中度心身障害者に対し、医療費の負担軽減による積極的な医療の提供を行うことで、障害者福祉の増進が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">助成件数</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>85,000件</td> <td>84,167件</td> <td>99.0%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>85,000件</td> <td>83,102件</td> <td>97.8%</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>85,000件</td> <td>81,669件</td> <td>96.1%</td> </tr> </tbody> </table>							区分	助成件数		達成率	目標値	実績等	R2	85,000件	84,167件	99.0%	R3	85,000件	83,102件	97.8%	R4	85,000件	81,669件	96.1%																																			
区分	助成件数		達成率																																																									
	目標値	実績等																																																										
R2	85,000件	84,167件	99.0%																																																									
R3	85,000件	83,102件	97.8%																																																									
R4	85,000件	81,669件	96.1%																																																									
成果に係る評価	<p>子ども医療費助成制度の対象年齢の拡大や新型コロナウイルス感染症の影響による受診控え等により、対象者数及び助成件数共に減少傾向にあるものの、今後も重・中度障害者が安心して必要な医療を受けられるよう、継続した事業の実施が必要である。</p>																																																											
予算の執行状況	(単位：円)																																																											
予算額	決算額	決算額の財源内訳				一般財源																																																						
		国(県)支出金	地方債	その他																																																								
324,000,000	286,755,849	141,388,000		3,043,048		142,324,801																																																						

予算科目	3 款	民生費	事業名	子ども医療費助成事業																																																																																												
	1 項	社会福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																																											
	8 目	子ども医療対策費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																																																																																											
	事業	子ども医療対策費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する																																																																																											
担当部課	保健福祉部保険年金課	実施計画掲載ページ		P42																																																																																												
目的及び事業内容	子どもに対する適正な医療の機会を確保し、子育てに伴う家庭の経済的負担の軽減を図ることを目的として、令和4年度は、これまで0歳から中学3年生までの対象を18歳到達年度末日まで拡大し入院・通院に係る医療費の一部負担金を助成する。																																																																																															
取組実績	<p>出生から18歳到達年度末日までの入院及び通院に係る医療費の一部負担金を助成した。</p> <p>【受給者内訳】 (令和5年3月末現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象者数</td> <td>18,062人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">受給者証登録者数</td> <td>県補助対象※1</td> <td>4,392人 24.32%</td> </tr> <tr> <td>独自拡大対象※2</td> <td>13,525人 74.88%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17,917人 99.20%</td> </tr> <tr> <td>受給者証未登録者数</td> <td>145人</td> <td>0.80%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 県補助対象：義務教育就学前 ※2 独自拡大対象：小学生以上</p>						項目	人数	割合	対象者数	18,062人	—	受給者証登録者数	県補助対象※1	4,392人 24.32%	独自拡大対象※2	13,525人 74.88%	計	17,917人 99.20%	受給者証未登録者数	145人	0.80%																																																																										
項目	人数	割合																																																																																														
対象者数	18,062人	—																																																																																														
受給者証登録者数	県補助対象※1	4,392人 24.32%																																																																																														
	独自拡大対象※2	13,525人 74.88%																																																																																														
	計	17,917人 99.20%																																																																																														
受給者証未登録者数	145人	0.80%																																																																																														
成果	<p>医療費の一部負担金（義務教育就学前は2割、小学生以上は3割）の助成により子育て世帯の経済的負担の軽減が図られた。</p> <p>【一部負担金の助成状況】 (助成額の単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">受給者数</th> <th colspan="2">県補助対象</th> <th colspan="2">独自拡大対象</th> <th colspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>助成額</th> <th>件数</th> <th>助成額</th> <th>件数</th> <th>助成額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">R2</td> <td>国保</td> <td>2,248人</td> <td>8,719</td> <td>13,837,022</td> <td>13,583</td> <td>30,317,641</td> <td>22,302</td> <td>44,154,663</td> </tr> <tr> <td>社保</td> <td>13,382人</td> <td>66,917</td> <td>102,665,571</td> <td>97,593</td> <td>202,733,553</td> <td>164,510</td> <td>305,399,124</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>15,630人</td> <td>75,636</td> <td>116,502,593</td> <td>111,176</td> <td>233,051,194</td> <td>186,812</td> <td>349,553,787</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R3</td> <td>国保</td> <td>2,085人</td> <td>9,222</td> <td>16,538,573</td> <td>14,121</td> <td>29,230,142</td> <td>23,343</td> <td>45,768,715</td> </tr> <tr> <td>社保</td> <td>13,109人</td> <td>73,158</td> <td>129,094,338</td> <td>104,725</td> <td>218,654,469</td> <td>177,883</td> <td>347,748,807</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>15,194人</td> <td>82,380</td> <td>145,632,911</td> <td>118,846</td> <td>247,884,611</td> <td>201,226</td> <td>393,517,522</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R4</td> <td>国保</td> <td>2,460人</td> <td>7,970</td> <td>13,050,630</td> <td>17,349</td> <td>37,001,098</td> <td>25,319</td> <td>50,051,728</td> </tr> <tr> <td>社保</td> <td>15,457人</td> <td>66,730</td> <td>113,285,338</td> <td>131,089</td> <td>283,216,649</td> <td>197,819</td> <td>396,501,987</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17,917人</td> <td>74,700</td> <td>126,335,968</td> <td>148,438</td> <td>320,217,747</td> <td>223,138</td> <td>446,553,715</td> </tr> </tbody> </table>						年度	区分	受給者数	県補助対象		独自拡大対象		計		件数	助成額	件数	助成額	件数	助成額	R2	国保	2,248人	8,719	13,837,022	13,583	30,317,641	22,302	44,154,663	社保	13,382人	66,917	102,665,571	97,593	202,733,553	164,510	305,399,124	計	15,630人	75,636	116,502,593	111,176	233,051,194	186,812	349,553,787	R3	国保	2,085人	9,222	16,538,573	14,121	29,230,142	23,343	45,768,715	社保	13,109人	73,158	129,094,338	104,725	218,654,469	177,883	347,748,807	計	15,194人	82,380	145,632,911	118,846	247,884,611	201,226	393,517,522	R4	国保	2,460人	7,970	13,050,630	17,349	37,001,098	25,319	50,051,728	社保	15,457人	66,730	113,285,338	131,089	283,216,649	197,819	396,501,987	計	17,917人	74,700	126,335,968	148,438	320,217,747	223,138	446,553,715
年度	区分	受給者数	県補助対象		独自拡大対象					計																																																																																						
			件数	助成額	件数	助成額	件数	助成額																																																																																								
R2	国保	2,248人	8,719	13,837,022	13,583	30,317,641	22,302	44,154,663																																																																																								
	社保	13,382人	66,917	102,665,571	97,593	202,733,553	164,510	305,399,124																																																																																								
	計	15,630人	75,636	116,502,593	111,176	233,051,194	186,812	349,553,787																																																																																								
R3	国保	2,085人	9,222	16,538,573	14,121	29,230,142	23,343	45,768,715																																																																																								
	社保	13,109人	73,158	129,094,338	104,725	218,654,469	177,883	347,748,807																																																																																								
	計	15,194人	82,380	145,632,911	118,846	247,884,611	201,226	393,517,522																																																																																								
R4	国保	2,460人	7,970	13,050,630	17,349	37,001,098	25,319	50,051,728																																																																																								
	社保	15,457人	66,730	113,285,338	131,089	283,216,649	197,819	396,501,987																																																																																								
	計	17,917人	74,700	126,335,968	148,438	320,217,747	223,138	446,553,715																																																																																								
成果に係る評価	<p>子育てしやすい環境の更なる整備を推進するため、令和4年度から対象を18歳到達年度末日まで拡大したほか、医療費助成を受けるための受給資格登録の促進を図るため、市報、ホームページ及び各種子育て情報誌（子育てハンドブック等）による周知並びに未申請者に対し申請案内を年2回送付した。今後子どもたちの適正な医療機会の確保並びに子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、事業を継続する必要がある。</p>																																																																																															
予算の執行状況	(単位：円)																																																																																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																										
	508,778,000	458,502,868	129,099,000	28,600,000		300,803,868																																																																																										

予算科目	3 款	民生費	事業名	青少年健全育成事業																											
	1 項	社会福祉費	総合計画	第5章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																										
	11 目	市民相談センター費		第4節	地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進																										
	事業	少年センター運営費		(2)	青少年の健全な成長を支援する																										
担当部課	保健福祉部総合相談センター	実施計画掲載ページ		P97																											
目的及び事業内容	<p>青少年の非行防止及び非行対策に関し、関係機関、学校、関係団体及び民間有志者の密接な連携のもとに、広く地域社会の理解と協力を求め、総合的かつ効果的な活動を推進し、青少年の健全な育成を図る。</p>																														
取組実績	<p>1 少年補導員による街頭補導活動の実施 各地区に配置している少年補導員による毎月の街頭補導、川開き祭り特別街頭指導、県下一斉街頭指導等を実施した。街頭補導活動においては、少年補導員146名により、少年非行の早期発見、未然防止及び青少年の健全育成を目的に、大型商業施設、カラオケ店、駅、公園などを中心に実施した。</p> <p>2 少年相談 不登校など教育問題に悩む保護者等からの相談に対応した。</p> <p>3 地域における不審者対策ネットワークの推進 ネットワークの会員と地域の団体等が、年4回児童の下校時に同行し、市内全小学校の通学路のパトロールを実施した。また、不審者情報を市ホームページに適宜掲載し注意喚起を行った。</p> <p>4 地域における青少年健全育成の推進 地域で青少年健全育成活動を実施する団体で構成する市民会議による、市民総ぐるみの積極的な地域活動の推進のための支援を行った。</p>																														
成果	<p>学校や地域等の関係機関との有機的な連携のもと、街頭補導やパトロール等を実施することにより、青少年の非行防止と健全育成に寄与した。</p> <p><街頭補導実績></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">実施回数</th> <th rowspan="2">出勤延人数</th> <th rowspan="2">声かけ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>401回</td> <td>1,078人</td> <td>186件</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>433回</td> <td>1,177人</td> <td>313件</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>403回</td> <td>1,133人</td> <td>414件</td> </tr> </tbody> </table> <p><少年相談実績></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>14件</td> <td>9件</td> <td>14件</td> </tr> </tbody> </table>						年度	区分	実施回数	出勤延人数	声かけ数	R2	401回	1,078人	186件	R3	433回	1,177人	313件	R4	403回	1,133人	414件	年度	R2	R3	R4	件数	14件	9件	14件
年度	区分	実施回数	出勤延人数	声かけ数																											
					R2	401回	1,078人	186件																							
R3	433回	1,177人	313件																												
R4	403回	1,133人	414件																												
年度	R2	R3	R4																												
件数	14件	9件	14件																												
成果に係る評価	<p>街頭指導については、前年度より実施回数は若干減少したものの、新型コロナウイルス感染症の各種対策により通常の生活に戻つつある中、巡回や「愛の一声」（挨拶、気軽な会話、安全指導等）活動が活発になったことにより、子どもたちに対する健全育成、事故防止、不審者抑止の対策が図られた。少年センターにおける少年相談については、年々減少傾向にあったが、昨年度は不登校相談が増えたことにより全体の相談件数に増加が見られた。</p>																														
予算の執行状況	(単位：円)																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
	7,928,434	7,443,491	300,000			7,143,491																									

予算科目	3 款	民生費	事業名	市民相談事業（家庭児童相談・市民相談）																																																																																																																																										
	1 項	社会福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																																																																																									
	11 目	市民相談センター費		第5節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																																																																																																																																									
	事業	市民相談センター事業費		(3)	各種相談事業を充実させる																																																																																																																																									
担当部課	保健福祉部総合相談センター	実施計画掲載ページ		P62																																																																																																																																										
目的及び事業内容		子育てなどの家庭児童・母子相談をはじめ、市民生活全般にわたる相談など、複雑多様な相談一つの窓口で受理し、適切な支援に繋げることにより市民生活の利便性と福祉の向上を図る。 また、専門的事案の支援として、仙台弁護士会への委託による定期的な無料法律相談を実施している。																																																																																																																																												
取組実績		1 市民相談 市民相談担当職員1人を配置し、市民生活全般の相談等を実施した。 2 家庭児童相談 家庭児童相談員1人を配置し、以下の相談等を実施した。 ・家庭児童相談 ・女性相談 ・養育支援訪問利用相談 ・障害児通所サービス利用に係る相談 ・助産施設利用相談 ・母子生活支援施設利用相談など 3 弁護士による無料法律相談 年24回実施（毎月2回、第2・第4火曜日）																																																																																																																																												
成果		相談者の福祉向上を図るため、各種相談に対して適切な助言及び援助を行った。 また、無料法律相談を実施することにより、専門的事案の早期解決の一助を担った。 1 市民相談実績（単位：件） <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>内訳</th> <th>行政</th> <th>事故等</th> <th>相続</th> <th>不動産</th> <th>離婚</th> <th>親族家族問題</th> <th>法律</th> <th>近隣問題</th> <th>窓口紹介</th> <th>生活困窮</th> <th>健康</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td></td> <td>44</td> <td>3</td> <td>43</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>45</td> <td>10</td> <td>86</td> <td>87</td> <td>35</td> <td>8</td> <td>137</td> <td>514</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td></td> <td>63</td> <td>2</td> <td>69</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>45</td> <td>8</td> <td>59</td> <td>58</td> <td>34</td> <td>4</td> <td>181</td> <td>537</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td></td> <td>89</td> <td>4</td> <td>78</td> <td>10</td> <td>19</td> <td>61</td> <td>15</td> <td>60</td> <td>54</td> <td>53</td> <td>27</td> <td>198</td> <td>668</td> </tr> </tbody> </table> 2 家庭児童相談実績（単位：件） <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">内訳</th> <th colspan="2">家庭児童相談関係</th> <th colspan="3">母子相談関係</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>家族関係</th> <th>児童その他</th> <th>離婚</th> <th>婦人特有</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td></td> <td>48</td> <td>30</td> <td>44</td> <td>80</td> <td>30</td> <td>232</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td></td> <td>43</td> <td>16</td> <td>80</td> <td>78</td> <td>31</td> <td>248</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td></td> <td>56</td> <td>59</td> <td>103</td> <td>75</td> <td>7</td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table> 3 無料法律相談実績（単位：件） <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">内訳</th> <th rowspan="2">回数</th> <th rowspan="2">金銭貸借</th> <th rowspan="2">不動産</th> <th rowspan="2">相続</th> <th rowspan="2">離婚</th> <th rowspan="2">親族</th> <th rowspan="2">その他</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>24</td> <td>49</td> <td>30</td> <td>42</td> <td>27</td> <td>11</td> <td>53</td> <td>212</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>24</td> <td>49</td> <td>28</td> <td>46</td> <td>33</td> <td>11</td> <td>48</td> <td>215</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>24</td> <td>66</td> <td>18</td> <td>47</td> <td>31</td> <td>13</td> <td>47</td> <td>222</td> </tr> </tbody> </table>							年度	内訳	行政	事故等	相続	不動産	離婚	親族家族問題	法律	近隣問題	窓口紹介	生活困窮	健康	その他	合計	R2		44	3	43	9	7	45	10	86	87	35	8	137	514	R3		63	2	69	7	7	45	8	59	58	34	4	181	537	R4		89	4	78	10	19	61	15	60	54	53	27	198	668	年度	内訳	家庭児童相談関係		母子相談関係			合計	家族関係	児童その他	離婚	婦人特有	その他	R2		48	30	44	80	30	232	R3		43	16	80	78	31	248	R4		56	59	103	75	7	300	年度	内訳	回数	金銭貸借	不動産	相続	離婚	親族	その他	合計	R2	24	49	30	42	27	11	53	212	R3	24	49	28	46	33	11	48	215	R4	24	66	18	47	31	13	47	222
年度	内訳	行政	事故等	相続	不動産	離婚	親族家族問題	法律	近隣問題	窓口紹介	生活困窮	健康	その他	合計																																																																																																																																
R2		44	3	43	9	7	45	10	86	87	35	8	137	514																																																																																																																																
R3		63	2	69	7	7	45	8	59	58	34	4	181	537																																																																																																																																
R4		89	4	78	10	19	61	15	60	54	53	27	198	668																																																																																																																																
年度	内訳	家庭児童相談関係		母子相談関係			合計																																																																																																																																							
		家族関係	児童その他	離婚	婦人特有	その他																																																																																																																																								
R2		48	30	44	80	30	232																																																																																																																																							
R3		43	16	80	78	31	248																																																																																																																																							
R4		56	59	103	75	7	300																																																																																																																																							
年度	内訳	回数	金銭貸借	不動産	相続	離婚	親族	その他	合計																																																																																																																																					
										R2	24	49	30	42	27	11	53	212																																																																																																																												
R3	24	49	28	46	33	11	48	215																																																																																																																																						
R4	24	66	18	47	31	13	47	222																																																																																																																																						
成果に係る評価		市民相談の件数については、増加傾向にあり、内容は単一の相談にとどまらず様々な要因が重なった相談が増えている。この状況は、家庭児童相談についても同様であり、複雑化・多様化する相談に対して継続的に関わり解決した事例が多い。また、専門的知識を要する相談については、弁護士による無料法律相談を案内しているが、毎月予定数に達している状況である。 今後も関係機関・団体と連携し、市民が抱える問題解決に向けて必要な支援を行っていく必要がある。																																																																																																																																												
予算の執行状況		（単位：円）																																																																																																																																												
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																																																												
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																																									
4,185,566	4,148,308				4,148,308																																																																																																																																									

予算科目	3 款	民生費	事業名	要保護児童対策事業																																																																								
	1 項	社会福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																							
	12 目	権利擁護推進費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																																																																							
	事業	要保護児童対策事業費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する																																																																							
担当部課	保健福祉部総合相談センター	実施計画掲載ページ		P45																																																																								
目的及び事業内容		要保護児童対策地域協議会の支援の対象者は、要保護児童（保護者に監護させることが不相当であると認められる児童等）、要支援児童（保護者の養育を支援することが特に必要と認められる児童等）、特定妊婦（出産後の養育について出産前において特に支援が必要とされる妊婦）であり、要保護児童等に対する適切な支援を行うために、各関係機関と情報交換を行いながら、それぞれのケースに対応した支援を協議し速やかに対応する。また、児童虐待防止講演会等の開催やリーフレットの作成・配布などの啓発を通して虐待に対する認識を深める。																																																																										
取組実績		1 石巻市要保護児童対策地域協議会 (1) 代表者会議の開催 1回 各分野の関係機関等の代表者19名で構成され、要保護児童等の現状と支援に関する全体把握等について書面会議にて情報を共有した。 (2) 実務者会議の開催（進行管理ケース数：市241人、児相741人 合計982人） ア 全体実務者会議 新型コロナ感染症拡大により開催を見送る。 イ ブロック別実務者会議 12回（4ブロック×3回） 進行管理している各ケースの情報共有と今後の支援策について確認した。 (3) 個別ケース検討会議（カンファレンスを含む）51回 各ケースの状況把握と問題点の確認を行い、支援の役割分担等について協議した。 2 児童虐待防止啓発事業 (1) 児童虐待防止講演会等の啓発活動 ア 障害福祉課、子育て支援課との共催により、子どもの貧困、児童虐待防止と障害者に関する理解の促進を図ることができた。 日時：令和4年12月27日（火） 場所：マルホンまきあーとテラス 参加者：157人 イ 出前講座等 48人（児童虐待防止関連）2回 (2) リフレットを市内小学校1年生（保護者向け）及び各関係部署に配布 1,000枚 3 専門カウンセリング事業 保護者やDV被害者の心理的なケア、支援を行うため、心理カウンセラー等によるカウンセリングを実施した。 38回開催 実利用者15人 延べ利用者41人																																																																										
成果		関係機関との連携により、児童虐待ケースの重症化防止と要保護児童等の安全確保が図られた。 <対応実績>（単位：人） <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">新規（再起含む）</th> <th colspan="3">前年度からの継続</th> <th colspan="3">合計</th> <th colspan="3">終結ケース（再掲）</th> </tr> <tr> <th>市</th> <th>児相</th> <th>計</th> <th>市</th> <th>児相</th> <th>計</th> <th>市</th> <th>児相</th> <th>計</th> <th>市</th> <th>児相</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td></td> <td>110</td> <td>483</td> <td>593</td> <td>103</td> <td>145</td> <td>248</td> <td>213</td> <td>628</td> <td>841</td> <td>62</td> <td>483</td> <td>545</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td></td> <td>110</td> <td>645</td> <td>755</td> <td>129</td> <td>107</td> <td>236</td> <td>239</td> <td>752</td> <td>991</td> <td>124</td> <td>440</td> <td>564</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td></td> <td>113</td> <td>556</td> <td>669</td> <td>128</td> <td>187</td> <td>315</td> <td>241</td> <td>743</td> <td>984</td> <td>79</td> <td>513</td> <td>592</td> </tr> </tbody> </table> * 児相：宮城県東部児童相談所							年度	区分	新規（再起含む）			前年度からの継続			合計			終結ケース（再掲）			市	児相	計	R2		110	483	593	103	145	248	213	628	841	62	483	545	R3		110	645	755	129	107	236	239	752	991	124	440	564	R4		113	556	669	128	187	315	241	743	984	79	513	592									
年度	区分	新規（再起含む）			前年度からの継続			合計			終結ケース（再掲）																																																																	
		市	児相	計	市	児相	計	市	児相	計	市	児相	計																																																															
R2		110	483	593	103	145	248	213	628	841	62	483	545																																																															
R3		110	645	755	129	107	236	239	752	991	124	440	564																																																															
R4		113	556	669	128	187	315	241	743	984	79	513	592																																																															
成果に係る評価		児童虐待の未然防止、または相談窓口の明確化のために啓発事業を実施し、市民や関係機関への周知及び理解や促進が図られた。 本市における要保護対象児童等の対応件数は年々増加傾向にあり、児童虐待に対する社会的関心の高まりや、各関係機関による早期発見、把握による通報数が増加したこと等が要因と考えられる。相談を受けた案件の多くは複雑化しており、対応が多分野に渡るため困難さが増していることから、各関係機関等との緊密な連携のもと、要保護児童等のケースに応じた適切な支援に努めた。 また、専門カウンセリング事業では、子育てや生活に不安を抱える対象者の心理的ケアが図られた。今後も児童等を虐待から守るための体制強化及び支援の充実と努めていくことが重要である。																																																																										
予算の執行状況		（単位：円）																																																																										
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																										
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																							
3,486,000	3,061,069	1,327,000			1,734,069																																																																							

予算科目	3 款	民生費	事業名	虐待防止センター事業																																																																																
	1 項	社会福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																															
	12 目	権利擁護推進費		第5節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																																																																															
	事業	虐待防止センター事業費		(4)	各種虐待防止・DV被害者支援を強化する																																																																															
担当部課	保健福祉部総合相談センター	実施計画掲載ページ		P62																																																																																
目的及び事業内容	<p>高齢者虐待や障害者虐待、ドメスティックバイオレンス（DV）は尊厳を著しく侵害し、その自立及び社会参加に深刻な影響を与えることから、虐待等の未然防止や重症化を防ぐ体制整備を行い、地域において尊厳ある生活を維持し、安心して暮らせることを目的とする。</p> <p>また、事案の複雑化・重症化に伴い、専門的見地からの支援が必要となるケースが増加してきたことから、虐待対応への専門的知識と技術を持つ専門職を配置し、体制整備するとともに、虐待に対する理解促進と未然防止のための啓発事業を実施のほか、重症化防止及び権利擁護のため支援事業を行う。</p>																																																																																			
取組実績	<p>虐待を受けた高齢者・障害者及びDV被害者の保護並びに自立支援と養護者に対する支援措置等を実施して、重症化の防止を図るとともに、虐待防止の啓発に取り組んだ。</p> <p>1 高齢者虐待防止事業</p> <p>(1) 老人特別保護措置⇒令和4年度利用人数 2人（延べ521日利用）</p> <p>(2) 緊急一時保護事業⇒令和4年度 1人（延べ119日利用）</p> <p>(3) 市営住宅の目的外使用：令和4年度 2世帯4人</p> <p>(4) 高齢者権利擁護委託事業：権利擁護支援のため弁護士相談委託</p> <p>2 障害者虐待防止事業</p> <p>(1) 障害者虐待家庭訪問個別支援事業⇒令和4年度利用人数 0人</p> <p>(2) 緊急一時保護⇒令和4年度利用人数 2人（延べ63日利用）</p> <p>3 DV被害者支援事業</p> <p>(1) DV被害者支援施策</p> <p>ア 緊急一時保護⇒令和4年度実績 0件</p> <p>イ 母子生活支援施設入所措置⇒1世帯2名利用中（令和5年3月31日現在）</p> <p>ウ 保護命令申請同行支援事務⇒令和4年度意見書提出人数 3件</p> <p>エ 住民基本台帳事務における支援措置（住民票、戸籍附票等の閲覧制限）⇒令和4年度実績16人</p> <p>オ 市営住宅の目的外使用⇒令和4年度実績 4世帯</p> <p>(2) 専門カウンセリング及び弁護士相談による助言</p> <p>(3) 配偶者暴力相談支援センター事業⇒相談数35件（延べ165件）、証明書発行 5件</p> <p>4 虐待・DV防止の啓発事業</p> <p>(1) パンフレットの作成 3種（高齢者・障害者虐待及びDV）</p> <p>(2) ラジオ石巻による放送 週2回</p> <p>(3) 高齢者虐待防止研修会⇒令和4年度36人（地域包括支援センター・社会福祉協議会、関係課参加）</p>																																																																																			
成果	<p>高齢者・障害者等の虐待及びDVの未然防止対策や早期発見のため、研修会・啓発活動等を実施するとともに、要援護者・被害者等に対し、迅速かつ適切な支援を実施した。</p> <p>1 各種虐待の新規相談実績 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分・年度 虐待種別</th> <th colspan="3">相談件数</th> <th colspan="3">虐待確認</th> <th colspan="3">一時保護</th> <th colspan="3">入所措置</th> </tr> <tr> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高齢者</td> <td>77</td> <td>75</td> <td>75</td> <td>64</td> <td>68</td> <td>62</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>障害者</td> <td>21</td> <td>14</td> <td>23</td> <td>18</td> <td>14</td> <td>19</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>DV・女性相談</td> <td>57</td> <td>37</td> <td>42</td> <td>43</td> <td>26</td> <td>35</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>155</td> <td>126</td> <td>140</td> <td>125</td> <td>108</td> <td>116</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>							区分・年度 虐待種別	相談件数			虐待確認			一時保護			入所措置			R2	R3	R4	高齢者	77	75	75	64	68	62	2	3	1	2	2	2	障害者	21	14	23	18	14	19	2	2	2	0	1	0	DV・女性相談	57	37	42	43	26	35	2	1	0	1	0	0	合計	155	126	140	125	108	116	6	6	3	3	3	2									
区分・年度 虐待種別	相談件数			虐待確認			一時保護			入所措置																																																																										
	R2	R3	R4	R2	R3	R4	R2	R3	R4	R2	R3	R4																																																																								
高齢者	77	75	75	64	68	62	2	3	1	2	2	2																																																																								
障害者	21	14	23	18	14	19	2	2	2	0	1	0																																																																								
DV・女性相談	57	37	42	43	26	35	2	1	0	1	0	0																																																																								
合計	155	126	140	125	108	116	6	6	3	3	3	2																																																																								
成果に係る評価	<p>本市における高齢者及び障害者虐待の相談件数は横ばい状況にあるものの、相談内容が複雑化し、1件の相談に対する対応回数が増加している。困難事例については地域包括支援センターや障害者相談支援事業所等と連携し対応した。</p> <p>DV・女性相談についても、相談内容が複雑化しており、被害者等の心身の回復と安全確保を最優先にしつつ、証明書発行や保護命令関係業務等を通して、自立に向けた適切な支援を実施した。</p> <p>なお、虐待等への対応については、警察OB、教員OB、保健師、精神保健福祉士、社会福祉士等が多角的な視点で対応にあたるよう配置しているが、今後さらなる適切な支援ができるよう職員の資質向上を図る必要がある。また、更なる各種虐待防止及びDV防止の啓発に努めていく。</p>																																																																																			
予算の執行状況	(単位：円)																																																																																			
予算額	決算額		決算額の財源内訳																																																																																	
	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																
10,683,000	9,851,479	7,189,964	2,661,515																																																																																	

予算科目	3 款	民生費	事業名	生活困窮者自立支援事業																																	
	1 項	社会福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																
	13 目	生活困窮者自立支援費		第5節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																																
	事業	自立相談支援事業費、住居確保給付事業費		(1)	地域での孤立防止を推進する																																
担当部課	保健福祉部保護課	実施計画掲載ページ		P60																																	
目的及び事業内容	<p>「各種制度の狭間」にある生活困窮者に対し、就労その他の自立に関する支援や情報の提供等によって、課題が複雑化・深刻化する前に、困窮状態からの脱却を支援し自立の促進を図る。</p>																																				
取組実績	<p>1 自立相談支援事業（必須事業）</p> <p>生活困窮者からの相談を受け、その抱えている課題を整理・評価・分析し、それに応じた支援を計画的かつ継続的に行ったことで、自立助長が図られた。</p> <p>2 住居確保給付事業（必須事業）</p> <p>離職等により住居を失うおそれがある者等に対して、求職活動を要件に住居確保給付金を支給し、安定した住居の確保と就労の自立を援助し生活基盤の安定を図った。</p> <p>3 就労準備支援事業（任意事業）</p> <p>一般就労に向け手厚い支援が必要な生活困窮者及び生活保護受給者に対し、委託事業者とともに当該者に見合った支援計画を作成し就労の前段階として必要な生活習慣の形成や就労意欲の向上を図った。</p> <p>4 家計改善支援事業（任意事業）</p> <p>生活困窮世帯の家計管理において、収入・支出の見える化を図り、金銭管理能力を身につける支援計画を委託事業者とともに作成し実施した。</p> <p>5 生活困窮世帯の子どもの学習・生活支援事業（任意事業）</p> <p>貧困連鎖の防止のため、家庭の諸事情で学習塾や放課後児童クラブに通えない子供に対し、学びの場の提供や居場所の提供、親の養育相談等を通じ様々な変化する課題に対し家庭全体への支援を図った。</p>																																				
成果	<p>新型コロナウイルス感染症による影響の長期化により複合的な相談内容が多く相談件数は増加したが、抱えている課題を早期に把握し、必要な情報提供や助言などを計画的かつ包括的に支援したことで、相談者の自立助長が図られた。</p> <p>また、離職や減収により経済的に困窮し、住居を喪失するおそれのある者に対して、家賃相当分の住居確保給付金を支給したことにより、住居及び就労機会等の確保が図られた。</p> <p>自立相談支援事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ相談件数</td> <td>395件</td> <td>1,034件</td> <td>1,196件</td> <td>1,298件</td> </tr> <tr> <td>新規相談申請件数</td> <td>135件</td> <td>212件</td> <td>256件</td> <td>161件</td> </tr> </tbody> </table> <p>住居確保給付事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申請件数</td> <td>1件</td> <td>25件</td> <td>11件</td> <td>14件</td> </tr> <tr> <td>支給件数</td> <td>1件</td> <td>21件</td> <td>10件</td> <td>11件</td> </tr> </tbody> </table>							年度	R1	R2	R3	R4	延べ相談件数	395件	1,034件	1,196件	1,298件	新規相談申請件数	135件	212件	256件	161件	年度	R1	R2	R3	R4	申請件数	1件	25件	11件	14件	支給件数	1件	21件	10件	11件
年度	R1	R2	R3	R4																																	
延べ相談件数	395件	1,034件	1,196件	1,298件																																	
新規相談申請件数	135件	212件	256件	161件																																	
年度	R1	R2	R3	R4																																	
申請件数	1件	25件	11件	14件																																	
支給件数	1件	21件	10件	11件																																	
成果に係る評価	<p>生活困窮者が抱える多様な複合的な課題を包括的に受け止め、深刻化する前に情報提供や各関係機関へのつなぎにより、生活保護の手前で経済的な自立ができることは、本事業の強みであると言える。</p> <p>また、離職や住居を失うおそれのある相談者に対し、住居確保給付金を支給したこと、安定した住居の確保と就労自立が図られている。しかし、本制度に対する市民の認知度が低いために広く市民との関わりを持つケアマネジャーや社会福祉協議会の生活支援コーディネーター、NPO等の団体とも情報交換や連携をし、更なる周知活動と対象者の掘り起しを行い、生活困窮に悩む市民の課題解決を図る必要がある。</p>																																				
予算の執行状況	(単位：円)																																				
予算額	決算額		決算額の財源内訳																																		
	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																	
73,395,000	69,819,329	40,481,011	29,338,318																																		

予算科目	3 款	民生費	事業名	敬老祝金支給事業																							
	2 項	老人福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																						
	1 目	老人福祉総務費		第2節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																						
	事業	敬老祝金支給事業費		(1)	高齢者の生きがいづくりを推進する																						
担当部課	保健福祉部介護福祉課	実施計画掲載ページ		P48																							
目的及び事業内容		88歳を迎える高齢者に敬老祝金、100歳を迎える高齢者に特別敬老祝金を支給することにより、長寿を祝い、敬老の意を表するとともに、高齢者福祉の関心を深め、福祉の向上を図る。																									
取組実績	1 敬老祝金等支給実績																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>金額</th> <th>人数</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">R2</td> <td>88歳</td> <td>10,000円</td> <td>1,005人</td> <td>10,050,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">100歳</td> <td>75,000円</td> <td>3人</td> <td>225,000円</td> </tr> <tr> <td>150,000円</td> <td>76人</td> <td>11,400,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td>1,084人</td> <td>21,675,000円</td> </tr> </tbody> </table>					年度	区分	金額	人数	支給額	R2	88歳	10,000円	1,005人	10,050,000円	100歳	75,000円	3人	225,000円	150,000円	76人	11,400,000円	計			1,084人	21,675,000円
	年度	区分	金額	人数	支給額																						
	R2	88歳	10,000円	1,005人	10,050,000円																						
100歳		75,000円	3人	225,000円																							
		150,000円	76人	11,400,000円																							
計			1,084人	21,675,000円																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>金額</th> <th>人数</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">R3</td> <td>88歳</td> <td>10,000円</td> <td>982人</td> <td>9,820,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">100歳</td> <td>50,000円</td> <td>2人</td> <td>100,000円</td> </tr> <tr> <td>100,000円</td> <td>61人</td> <td>6,100,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td>1,045人</td> <td>16,020,000円</td> </tr> </tbody> </table>					年度	区分	金額	人数	支給額	R3	88歳	10,000円	982人	9,820,000円	100歳	50,000円	2人	100,000円	100,000円	61人	6,100,000円	計			1,045人	16,020,000円	
年度	区分	金額	人数	支給額																							
R3	88歳	10,000円	982人	9,820,000円																							
	100歳	50,000円	2人	100,000円																							
		100,000円	61人	6,100,000円																							
計			1,045人	16,020,000円																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>金額</th> <th>人数</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">R4</td> <td>88歳</td> <td>10,000円</td> <td>1,004人</td> <td>10,040,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">100歳</td> <td>50,000円</td> <td>4人</td> <td>200,000円</td> </tr> <tr> <td>100,000円</td> <td>56人</td> <td>5,600,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td>1,064人</td> <td>15,840,000円</td> </tr> </tbody> </table>					年度	区分	金額	人数	支給額	R4	88歳	10,000円	1,004人	10,040,000円	100歳	50,000円	4人	200,000円	100,000円	56人	5,600,000円	計			1,064人	15,840,000円	
年度	区分	金額	人数	支給額																							
R4	88歳	10,000円	1,004人	10,040,000円																							
	100歳	50,000円	4人	200,000円																							
		100,000円	56人	5,600,000円																							
計			1,064人	15,840,000円																							
2 受給資格及び支給額																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>祝金</th> <th>受給資格者</th> <th colspan="2">支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>敬老祝金 88歳</td> <td>88歳になる年の9月1日において市内に住所を有する者</td> <td colspan="2">10,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">特別敬老祝金 100歳</td> <td rowspan="4">100歳の誕生日において市内に引き続き3年以上住所を有する者</td> <td rowspan="2">H30～R2</td> <td>3年以上10年未満</td> <td>75,000円</td> </tr> <tr> <td>10年以上</td> <td>150,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R3以降</td> <td>3年以上10年未満</td> <td>50,000円</td> </tr> <tr> <td>10年以上</td> <td>100,000円</td> </tr> </tbody> </table>					祝金	受給資格者	支給額		敬老祝金 88歳	88歳になる年の9月1日において市内に住所を有する者	10,000円		特別敬老祝金 100歳	100歳の誕生日において市内に引き続き3年以上住所を有する者	H30～R2	3年以上10年未満	75,000円	10年以上	150,000円	R3以降	3年以上10年未満	50,000円	10年以上	100,000円			
祝金	受給資格者	支給額																									
敬老祝金 88歳	88歳になる年の9月1日において市内に住所を有する者	10,000円																									
特別敬老祝金 100歳	100歳の誕生日において市内に引き続き3年以上住所を有する者	H30～R2	3年以上10年未満	75,000円																							
			10年以上	150,000円																							
		R3以降	3年以上10年未満	50,000円																							
			10年以上	100,000円																							
※高齢者人口の増加に伴う事業費の増加のため、平成30年度より特別敬老祝金の金額を改定し、令和2年度までは経過措置期間とした。																											
成果	高齢者に対し、敬老祝金等を支給することにより、長寿を祝い、敬老の意を表すことができた。																										
成果に係る評価	長年に渡り社会の発展に貢献された高齢者に対し、祝金を支給することで、高齢者自身の生活の向上に努める意欲を促すとともに、高齢者福祉への関心が深まり、福祉の向上が図られた。																										
(単位：円)																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																					
	16,316,000	16,003,263			16,003,263																						

予算科目	3 款	民生費	事業名	敬老会開催事業																																					
	2 項	老人福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																				
	1 目	老人福祉総務費		第2節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																																				
	事業	敬老会費		(1)	高齢者の生きがいづくりを推進する																																				
担当部課	保健福祉部介護福祉課	実施計画掲載ページ		P48																																					
目的及び事業内容		77歳以上の高齢者を対象に敬老会を開催し、長年の功績と長寿を祝い、敬老の意を表するとともに心身の健康意識の向上を図る。																																							
取組実績	市主催の敬老会は、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、市内全地区で中止としている。 令和4年度は、代替事業として、対象者全員に市長による直筆のメッセージ及び市内保育所児童による敬老をテーマにしたイラストを添えて記念品（お菓手帳ケース）を送付した。																																								
	敬老記念品発送件数																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>14,494人</td> <td>1,881人</td> <td>364人</td> <td>2,868人</td> <td>1,166人</td> <td>495人</td> <td>599人</td> <td>21,867人</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>14,782人</td> <td>1,878人</td> <td>369人</td> <td>2,887人</td> <td>1,160人</td> <td>485人</td> <td>589人</td> <td>22,150人</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>14,697人</td> <td>1,827人</td> <td>350人</td> <td>2,851人</td> <td>1,123人</td> <td>486人</td> <td>562人</td> <td>21,896人</td> </tr> </tbody> </table>					年度	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	合計	R2	14,494人	1,881人	364人	2,868人	1,166人	495人	599人	21,867人	R3	14,782人	1,878人	369人	2,887人	1,160人	485人	589人	22,150人	R4	14,697人	1,827人	350人	2,851人	1,123人	486人	562人	21,896人
	年度	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	合計																																
R2	14,494人	1,881人	364人	2,868人	1,166人	495人	599人	21,867人																																	
R3	14,782人	1,878人	369人	2,887人	1,160人	485人	589人	22,150人																																	
R4	14,697人	1,827人	350人	2,851人	1,123人	486人	562人	21,896人																																	
成果																																									
市主催の敬老会中止に伴う代替事業として、対象者全員に市長による直筆のメッセージ及び市内保育所児童による敬老をテーマにしたイラストを同封した記念品を送付することで、長年の功績と長寿を祝い、敬老の意を表すことができた。 また、市内保育所児童が作成したイラストを本庁舎1階イオン石巻駅前店に展示することにより、多くの市民に高齢者福祉への関心と理解を深めてもらうことができた。																																									
成果に係る評価	市主催の敬老会は、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、市内全地区で中止としている。高齢化に伴い、対象者数は年々増加しているが、出席率は、震災以降大幅に低下し、出席率の向上に向けた取組を行ってきたものの、低調な状況が続いていた。令和4年度に敬老事業全体の見直しを検討した結果、令和5年度より、敬老会を廃止することとした。今後は、高齢者が年間を通して、地域の交流の場に積極的に参加し、生きがいづくりや仲間づくりができる体制を整備していく。																																								
(単位：円)																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																			
	12,040,000	12,012,029			12,012,029																																				

予算科目	3 款	民生費	事業名	老人クラブ活動費補助事業				
	2 項	老人福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち			
	1 目	老人福祉総務費		第2節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実			
	事業	高齢者保健福祉事業費		(1)	高齢者の生きがいがづくりを推進する			
担当部課	保健福祉部介護福祉課		実施計画掲載ページ	P48				
目的及び事業内容	高齢者の孤立感の解消と社会交流を図り、高齢者の生きがいを高めるため、老人クラブ及び老人クラブ連合会に対し活動費補助金を交付することにより、老人クラブ等の自主的活動を支援する。							
取組実績	1 老人クラブに対する補助金							
	基準		単価	クラブ数	会員数	金額		
	10人以上35人未満		34,000円	41クラブ	808人	1,394,000円		
35人以上70人未満		50,000円	16クラブ	662人	800,000円			
70人以上100人未満		60,000円	0クラブ	0人	0円			
100人以上		70,000円	0クラブ	0人	0円			
計			57クラブ	1,470人	2,194,000円			
2 老人クラブ連合会に対する補助金								
内訳		金額						
基本割		1,143,000円						
会員数割		150円×1,470人=220,500円						
計		1,363,500円						
※会員数割の基準日は4月1日								
3 クラブ数及び会員数推移（年度末数値）								
区分	クラブ数	会員数						
R2	69クラブ	2,100人						
R3	64クラブ	1,860人						
R4	57クラブ	1,470人						
成果	各老人クラブ及び老人クラブ連合会へ活動費補助金を交付し、老人クラブ等の自主的活動を支援することで、地域社会及び関係諸団体等との社会交流が促進され、高齢者の生きがいの向上と福祉の増進が図られた。							
成果に係る評価	新型コロナウイルス感染症の影響や会員の高齢化に伴う役員の担い手不足等により、会員数及びクラブ数は年々減少傾向にある。老人クラブは会員同士による健康づくりや仲間づくりのみならず、社会奉仕活動等の多様な活動に取り組んでおり、地域社会での活躍も期待される存在であることから、今後も自主的活動を支援するため、本事業を継続するとともに、老人クラブ活動を広く周知していく必要がある。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	3,558,000	3,557,500	1,413,993			2,143,507		

予算科目	3 款	民生費	事業名	ひとり暮らし老人等緊急通報システム事業						
	2 項	老人福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち					
	2 目	在宅老人福祉費		第2節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実					
	事業	ひとり暮らし老人等緊急通報システム事業費		(3)	高齢者の生活支援を推進する					
担当部課	保健福祉部介護福祉課		実施計画掲載ページ	P52						
目的及び事業内容	在宅のひとり暮らし高齢者等に対し、緊急通報システム機器を貸与し、緊急事態に迅速な対応ができる体制を整備し、日常生活の安全を確保するとともに、精神的な不安を解消して福祉の増進を図る。									
取組実績	1 緊急通報システム設置状況									
	年度	区分	全体	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿
	R2	年度末設置者数	277人	177人	23人	14人	31人	15人	11人	6人
	新規設置者数	33人	14人	5人	2人	7人	4人	1人	0人	
R3	年度末設置者数	500人	394人	34人	13人	31人	13人	7人	8人	
	新規設置者数	43人	32人	6人	0人	3人	1人	1人	0人	
R4	年度末設置者数	488人	383人	31人	18人	26人	14人	7人	9人	
	新規設置者数	56人	40人	3人	7人	1人	4人	0人	1人	
※被災者見守りシステムとの合算設置者数 令和2年度525人										
【参考：被災者見守りシステム設置状況等】										
年度	区分	全体	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	
R2	年度末設置者数	248人	234人	6人	1人	3人	1人	0人	3人	
	新規設置者数	28人	24人	3人	0人	1人	0人	0人	0人	
※なお、被災者見守りシステム事業は令和2年度で終了し、令和3年度から本事業へ統合している。										
成果	2 対応実績									
	年度	通報種類			対応内容					
		非常ボタン	センサー 不働通知	救急搬送 (救急要請)	介助依頼 ※転倒等	押し間違い・無断外泊等異常なし				
R2	213件	123件	14件 (17件)	5件	317件					
R3	188件	117件	15件 (20件)	13件	277件					
R4	149件	101件	16件 (18件)	1件	233件					
成果	在宅のひとり暮らし高齢者等に対し、緊急通報システム機器を貸与し、緊急事態に迅速な対応ができる体制を整備することで、ひとり暮らし高齢者等の日常生活上の安全確保と精神的な不安の解消が図られた。									
成果に係る評価	ひとり暮らしの高齢者数は増加しており、家庭や地域の関係性の希薄化が進む中、緊急時の連絡や安否確認の上で非常に有効なシステムであると考えられる。今後も高齢者が安心して暮らしていくために、高齢者及び地域の支援者等への周知の仕方を検討し、新規設置者の増加を図っていく必要がある。システムは固定電話回線が必要であることから、携帯電話のみを利用している世帯は、システムを利用するために固定電話回線を新たに設置する必要がある。今後、他市の事例等を参考にし、より利便性のあるシステム導入について、研究していく。									
(単位：円)										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源				
	12,750,680	10,451,143				10,451,143				

予算科目	3 款	民生費	事業名	生きがいデイサービス事業																																																																						
	2 項	老人福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																					
	2 目	在宅老人福祉費		第2節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																																																																					
	事業	デイサービス事業関係費		(1)	高齢者の生きがいづくりを推進する																																																																					
担当部課	保健福祉部介護福祉課		実施計画掲載ページ	P48																																																																						
目的及び事業内容	65歳以上の家に閉じこもりがちで心身の機能は自立している高齢者が利用できるサービスで、生活に関する相談や指導、ゲームなどによる日常動作訓練、各種教養講座、健康チェックなどを行い、対象者の自立生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図ることを目的とする。																																																																									
取組実績	各地区の公共施設や集会施設において、バイタルチェックやうちわ卓球などの運動、健康相談などを実施するとともに、地区によっては送迎を行い、利便性を高め、高齢者が参加しやすい環境を整えることにより、高齢者の閉じこもり防止に努めた。																																																																									
	1 登録者及び会場数																																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録者</td> <td>50人</td> <td>30人</td> <td>57人</td> <td>107人</td> <td>119人</td> <td>66人</td> <td>21人</td> <td>450人</td> </tr> <tr> <td>会場数</td> <td>6か所</td> <td>2か所</td> <td>5か所</td> <td>5か所</td> <td>17か所</td> <td>8か所</td> <td>1か所</td> <td>44か所</td> </tr> </tbody> </table>								区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	登録者	50人	30人	57人	107人	119人	66人	21人	450人	会場数	6か所	2か所	5か所	5か所	17か所	8か所	1か所	44か所																																							
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																																																		
登録者	50人	30人	57人	107人	119人	66人	21人	450人																																																																		
会場数	6か所	2か所	5か所	5か所	17か所	8か所	1か所	44か所																																																																		
2 利用状況																																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R2</td> <td>実施回数</td> <td>145回</td> <td>20回</td> <td>35回</td> <td>250回</td> <td>168回</td> <td>118回</td> <td>72回</td> <td>808回</td> </tr> <tr> <td>延利用者数</td> <td>973人</td> <td>175人</td> <td>240人</td> <td>2,134人</td> <td>1,134人</td> <td>992人</td> <td>448人</td> <td>6,096人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R3</td> <td>実施回数</td> <td>172回</td> <td>19回</td> <td>40回</td> <td>203回</td> <td>203回</td> <td>131回</td> <td>75回</td> <td>843回</td> </tr> <tr> <td>延利用者数</td> <td>1,108人</td> <td>126人</td> <td>286人</td> <td>1,674人</td> <td>1,344人</td> <td>1,143人</td> <td>410人</td> <td>6,091人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R4</td> <td>実施回数</td> <td>178回</td> <td>19回</td> <td>33回</td> <td>215回</td> <td>191回</td> <td>130回</td> <td>70回</td> <td>836回</td> </tr> <tr> <td>延利用者数</td> <td>919人</td> <td>102人</td> <td>266人</td> <td>1,740人</td> <td>1,125人</td> <td>1,056人</td> <td>317人</td> <td>5,525人</td> </tr> </tbody> </table>								年度	区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	R2	実施回数	145回	20回	35回	250回	168回	118回	72回	808回	延利用者数	973人	175人	240人	2,134人	1,134人	992人	448人	6,096人	R3	実施回数	172回	19回	40回	203回	203回	131回	75回	843回	延利用者数	1,108人	126人	286人	1,674人	1,344人	1,143人	410人	6,091人	R4	実施回数	178回	19回	33回	215回	191回	130回	70回	836回	延利用者数	919人	102人	266人	1,740人	1,125人	1,056人	317人	5,525人
年度	区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																																																	
R2	実施回数	145回	20回	35回	250回	168回	118回	72回	808回																																																																	
	延利用者数	973人	175人	240人	2,134人	1,134人	992人	448人	6,096人																																																																	
R3	実施回数	172回	19回	40回	203回	203回	131回	75回	843回																																																																	
	延利用者数	1,108人	126人	286人	1,674人	1,344人	1,143人	410人	6,091人																																																																	
R4	実施回数	178回	19回	33回	215回	191回	130回	70回	836回																																																																	
	延利用者数	919人	102人	266人	1,740人	1,125人	1,056人	317人	5,525人																																																																	
成果	創作活動や日常動作訓練を通じて、高齢者の心身機能の維持向上に資することができ、在宅高齢者の福祉の増進が図られた。																																																																									
成果に係る評価	新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を図りながら、年間を通じて実施している。 なお、令和2年度は感染拡大防止の観点から、4月及び5月は事業を休止したため、例年より実施回数が減少している。 高齢者の閉じこもりを防止するとともに、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等が図られ、一定の事業効果が上がっている。 これまでも財源確保、事業費の見直しについては課題としていたが、令和4年度の契約に当たり、委託事業者と協議した結果、会場の規模に応じ、職員の人数を見直し、委託料を減額している。																																																																									
予算の執行状況	(単位：円)																																																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																				
	45,129,000	41,035,592			38,824,592	2,211,000																																																																				

予算科目	3 款	民生費	事業名	在宅高齢者サービス事業																																							
	2 項	老人福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																						
	2 目	在宅老人福祉費		第2節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																																						
	事業	在宅高齢者サービス事業費		(3)	高齢者の生活支援を推進する																																						
担当部課	保健福祉部介護福祉課		実施計画掲載ページ	P52																																							
目的及び事業内容	在宅において福祉サービスを必要とする高齢者（非課税世帯等）に対し、日常生活等の必要となる介護保険制度以外のサービスを提供する。																																										
取組実績	在宅の高齢者やその家族が必要とする福祉サービスを提供し、支援をするために、5つの事業を実施した。																																										
	1 外出支援サービス																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成券交付者数</td> <td>163人</td> <td>33人</td> <td>5人</td> <td>83人</td> <td>22人</td> <td>12人</td> <td>4人</td> <td>322人</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>567件</td> <td>59件</td> <td>11件</td> <td>250件</td> <td>33件</td> <td>31件</td> <td>2件</td> <td>953件</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td colspan="7"></td> <td>3,688,350円</td> </tr> </tbody> </table>								区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	助成券交付者数	163人	33人	5人	83人	22人	12人	4人	322人	利用件数	567件	59件	11件	250件	33件	31件	2件	953件	金額							
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																			
助成券交付者数	163人	33人	5人	83人	22人	12人	4人	322人																																			
利用件数	567件	59件	11件	250件	33件	31件	2件	953件																																			
金額								3,688,350円																																			
2 寝具洗濯乾燥消毒サービス																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成券交付者数</td> <td>12人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>3人</td> <td>0人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>20件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>2件</td> <td>4件</td> <td>0件</td> <td>26件</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td colspan="7"></td> <td>127,920円</td> </tr> </tbody> </table>								区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	助成券交付者数	12人	0人	0人	0人	1人	3人	0人	16人	利用件数	20件	0件	0件	0件	2件	4件	0件	26件	金額								127,920円
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																			
助成券交付者数	12人	0人	0人	0人	1人	3人	0人	16人																																			
利用件数	20件	0件	0件	0件	2件	4件	0件	26件																																			
金額								127,920円																																			
3 訪問理美容サービス																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成券交付者数</td> <td>26人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>3人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>37件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>2件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>39件</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td colspan="7"></td> <td>58,500円</td> </tr> </tbody> </table>								区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	助成券交付者数	26人	0人	0人	3人	0人	0人	0人	29人	利用件数	37件	0件	0件	2件	0件	0件	0件	39件	金額								58,500円
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																			
助成券交付者数	26人	0人	0人	3人	0人	0人	0人	29人																																			
利用件数	37件	0件	0件	2件	0件	0件	0件	39件																																			
金額								58,500円																																			
4 老人日常生活用具給付事業																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数</td> <td>3件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>12,430円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>12,430円</td> </tr> </tbody> </table>								区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	利用件数	3件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	3件	金額	12,430円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	12,430円									
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																			
利用件数	3件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	3件																																			
金額	12,430円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	12,430円																																			
5 バリアフリー住宅普及促進事業																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>2件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>177,300円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>177,300円</td> </tr> </tbody> </table>								区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	利用件数	0件	0件	0件	2件	0件	0件	0件	2件	金額	0円	0円	0円	177,300円	0円	0円	0円	177,300円									
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																			
利用件数	0件	0件	0件	2件	0件	0件	0件	2件																																			
金額	0円	0円	0円	177,300円	0円	0円	0円	177,300円																																			
6 消耗品費（助成券用紙代）10,000円																																											
成果	サービスを提供することで、対象者の生活支援及び介護者の負担軽減が図られた。																																										
成果に係る評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>交付者数実績</th> <th>利用件数実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>318人</td> <td>620件</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>335人</td> <td>997件</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>372人</td> <td>1,023件</td> </tr> </tbody> </table> <p>昨年度より交付者数・利用件数共に増加しており、コロナ禍前の利用状況に戻つつある。 また、高齢化率の上昇により、今後も一定のニーズが見込まれるため、引き続き市報やチラシでの周知徹底に努めるとともに、高齢者を支える地域包括支援センター等と連携し、事業を継続する必要がある。</p>								区分	交付者数実績	利用件数実績	R2	318人	620件	R3	335人	997件	R4	372人	1,023件																							
区分	交付者数実績	利用件数実績																																									
R2	318人	620件																																									
R3	335人	997件																																									
R4	372人	1,023件																																									
予算の執行状況	(単位：円)																																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																					
	4,563,320	4,074,500				4,074,500																																					

予算科目	3 款	民生費	事業名	旧寿楽荘解体事業												
	2 項	老人福祉費	総合計画	第 6 章	市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち											
	3 目	老人福祉施設費		第 2 節	持続可能な行財政運営の推進											
	事業	高齢者福祉センター管理費		(2)	未利用公有財産の有効な活用を図る											
担当部課	保健福祉部介護福祉課	実施計画掲載ページ		P 107												
目的及び事業内容	老朽化している旧寿楽荘について、計画的に解体撤去する。															
取組実績	<p>老朽化している旧寿楽荘について、解体撤去を行った。</p> <p>令和3年度 ・アスベスト含有調査 (297,000円) ・解体工事設計 (1,485,000円)</p> <p>令和4年度 ・解体工事 (30,576,700円) 令和4年8月16日～令和5年1月31日</p>															
成果	<p>令和4年度、解体工事実施により業務を完了した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">内容</th> <th colspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスベスト含有調査 解体工事設計</td> <td>完了</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>解体工事</td> <td>-</td> <td>完了</td> </tr> </tbody> </table>					内容	達成率等		R3	R4	アスベスト含有調査 解体工事設計	完了	-	解体工事	-	完了
内容	達成率等															
	R3	R4														
アスベスト含有調査 解体工事設計	完了	-														
解体工事	-	完了														
成果に係る評価	<p>建築から50年を経過し、老朽化が激しく、地震等による災害発生時、外壁破損等の可能性があるとともに、火災の発生や防犯面で不安を抱えている状況であったことから、解体をすることにより、近隣住民の不安を取り除くことができた。 事業を完了した。</p>															
予算の執行状況	(単位：円)															
	予算額	決算額	決算額の財源内訳													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源										
	31,836,909	30,576,700		28,600,000		1,976,700										

予算科目	3 款	民生費	事業名	介護サービス基盤整備事業																	
	2 項	老人福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																
	3 目	老人福祉施設費		第 2 節	生きがいをもち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																
	事業	地域医療介護総合確保事業費		(2)	介護予防等の取組を推進する																
担当部課	保健福祉部介護福祉課	実施計画掲載ページ		P 49																	
目的及び事業内容	<p>介護保険事業計画に定める介護保険施設等の整備計画に基づき、市が選考した事業者に対し、施設整備費及び施設の円滑な開設に必要な備品等を整備するための経費を補助し、高齢者が住み慣れた地域で生活し続けることができるよう基盤整備を推進するもの。</p>																				
取組実績	<p>第8期介護保険事業計画に基づき、介護施設等の整備事業を行う事業者に対し、施設整備費、施設開設準備に要する初年度経費（設備整備、職員訓練期間中の雇上げ（最大6か月間）、職員募集経費、開設のための普及啓発経費、その他事業の立ち上げに必要な経費）を補助することにより、開設時から安定した、質の高いサービスを提供するための体制整備の支援を行った。</p> <p>令和4年度実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>補助対象施設</th> <th>施設数</th> <th>補助額（千円）</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認知症対応型共同生活介護</td> <td>1</td> <td>48,702</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域密着型介護老人福祉施設</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>令和5年度へ繰越</td> </tr> <tr> <td>小規模多機能型居宅介護</td> <td>1</td> <td>41,151</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>地域密着型介護老人福祉施設については、年度内に建設を完了することができなかったため、令和5年度への繰越事業として令和5年度に補助する予定。</p>					補助対象施設	施設数	補助額（千円）	備考	認知症対応型共同生活介護	1	48,702		地域密着型介護老人福祉施設	1	0	令和5年度へ繰越	小規模多機能型居宅介護	1	41,151	
補助対象施設	施設数	補助額（千円）	備考																		
認知症対応型共同生活介護	1	48,702																			
地域密着型介護老人福祉施設	1	0	令和5年度へ繰越																		
小規模多機能型居宅介護	1	41,151																			
成果	<p>認知症対応型共同生活介護1施設と小規模多機能型居宅介護1施設の整備への補助を行い、開設時から安定した、質の高いサービスを提供するための体制整備の支援を行うことができた。</p>																				
成果に係る評価	<p>要支援・要介護認定者や認知症高齢者の増加が見込まれていることから、自身が希望するサービスが必要な時に利用できるよう、今後も必要な基盤整備や事業者の参入促進を図り、施設入所者の待機者減少に努める必要がある。</p>																				
予算の執行状況	(単位：円)																				
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源															
	89,853,000	89,853,000	89,853,000																		

予算科目	3 款	民生費	事業名	老人保護対策事業																																																																						
	2 項	老人福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																					
	4 目	老人保護費		第2節	生きがいをもち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																																																																					
	事業	老人保護対策費		(3)	高齢者の生活支援を推進する																																																																					
担当部課	保健福祉部介護福祉課		実施計画掲載ページ	P51																																																																						
目的及び事業内容	老人福祉法に基づき、65歳以上の高齢者であって、在宅において日常生活を営むのに支障がある者に対して、心身の状況、その置かれている環境の状況等を総合的に勘案して、老人ホームへの入所措置を行い、老人福祉の増進を図る。																																																																									
取組実績	<p>老人保護対策事業（老人ホーム入所措置）を実施した。</p> <p>1 生活相談受付 地域包括支援センター等の相談支援機関や対象者本人又は家族、親族、民生委員等の支援者から相談を受け、必要な助言をするともに適切な機関及び制度につなげている。 上記相談のうち、本人や家族が養護老人ホームへの入所を希望している場合又は状況を勘案し同ホームへの入所が必要と思われる場合は、入所措置制度について説明を行い、必要に応じて生活実態に関する調査を行っている。</p> <p>2 生活実態調査 養護老人ホームの入所を希望する者への生活状況等の実態調査を行った。</p> <p>3 老人ホーム入所判定委員会の開催（※1） 養護老人ホームへ措置する者の適否を審査した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">開催回数</th> <th rowspan="2">入所判定人数</th> <th colspan="2">結果</th> </tr> <tr> <th>適</th> <th>否</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>2回</td> <td>15人</td> <td>15人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>2回</td> <td>12人</td> <td>12人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>2回</td> <td>12人</td> <td>12人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table> <p>（※1）3の入所判定（適）の人数と4の新規入所者数が異なるのは、入所時期が翌年度となる等の理由による。</p> <p>4 養護老人ホームへの措置（※2） 養護老人ホーム措置者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">年度</th> <th rowspan="3">年度当初入所者数</th> <th colspan="2">増減</th> <th rowspan="3">合計</th> <th colspan="4">年度末入所者数</th> </tr> <tr> <th>新規入所者数</th> <th>退所者数</th> <th colspan="4">内訳</th> </tr> <tr> <th>万生園 (石巻市)</th> <th>ひばり園 (美里町)</th> <th>松寿園 (名取市)</th> <th>松風荘 (名取市)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>78人</td> <td>15人</td> <td>15人</td> <td>78人</td> <td>61人</td> <td>15人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>79人</td> <td>14人</td> <td>11人</td> <td>81人</td> <td>63人</td> <td>17人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>81人</td> <td>8人</td> <td>9人</td> <td>80人</td> <td>64人</td> <td>15人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table> <p>（※2）4月1日に入所した者は、年度当初入所者と新規入所者の両方に含む。</p>						区分	開催回数	入所判定人数	結果		適	否	R2	2回	15人	15人	0人	R3	2回	12人	12人	0人	R4	2回	12人	12人	0人	年度	年度当初入所者数	増減		合計	年度末入所者数				新規入所者数	退所者数	内訳				万生園 (石巻市)	ひばり園 (美里町)	松寿園 (名取市)	松風荘 (名取市)	R2	78人	15人	15人	78人	61人	15人	1人	1人	R3	79人	14人	11人	81人	63人	17人	1人	0人	R4	81人	8人	9人	80人	64人	15人	1人	0人
区分	開催回数	入所判定人数	結果																																																																							
			適	否																																																																						
R2	2回	15人	15人	0人																																																																						
R3	2回	12人	12人	0人																																																																						
R4	2回	12人	12人	0人																																																																						
年度	年度当初入所者数	増減		合計	年度末入所者数																																																																					
		新規入所者数	退所者数		内訳																																																																					
		万生園 (石巻市)	ひばり園 (美里町)		松寿園 (名取市)	松風荘 (名取市)																																																																				
R2	78人	15人	15人	78人	61人	15人	1人	1人																																																																		
R3	79人	14人	11人	81人	63人	17人	1人	0人																																																																		
R4	81人	8人	9人	80人	64人	15人	1人	0人																																																																		
成果	老人ホーム入所に係る生活相談、生活実態調査、老人ホーム入所判定委員会を経て、環境的、経済的等の理由により、在宅での生活が困難な高齢者を老人ホームへ入所措置することにより、老人福祉の増進が図られた。																																																																									
成果に係る評価	在宅での生活が困難である高齢者を対象に老人福祉法に基づく入所措置をすることにより、生きがいをもち、健康で安らかな生活を営む環境を提供できることから、今後も事業を継続する必要がある。																																																																									
予算の執行状況	（単位：円）																																																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																							
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																																				
	247,980,000	245,613,585			32,302,855	213,310,730																																																																				

予算科目	3 款	民生費	事業名	民間保育所助成事業																																																																																									
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																																								
	1 目	児童福祉総務費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																																																																																								
	事業	民間保育所助成費		(3)	子どもが安心して過ごせる環境を整備する																																																																																								
担当部課	保健福祉部子ども保育課		実施計画掲載ページ	P46																																																																																									
目的及び事業内容	市内に設置されている民間認可外保育施設の適正な運営と職員の研究活動の促進を図るため、3歳未満の保育を行い、利用児童が6人以上で1日の保育時間が8時間を超え、かつ保育を通常午後まで行っている等の要件を満たす施設に対して補助金を交付する。																																																																																												
取組実績	<p>■認可外保育施設の適正な運営を図るため、要件を満たす施設に補助金を交付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">施設名</th> <th rowspan="3">職員数</th> <th rowspan="3">対象延べ児童数</th> <th colspan="3">補助金額内訳</th> <th rowspan="3">計</th> </tr> <tr> <th>施設運営費</th> <th>児童保育費</th> <th>職員研究奨励費</th> </tr> <tr> <th>給食の提供</th> <th>0-2歳:11,000円</th> <th>12/1で6か月以上勤務</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有: 55,000円</td> <td>3歳:8,000円</td> <td>保育士: 58,500円</td> <td rowspan="2">計</td> </tr> <tr> <td>無: 22,000円</td> <td>4-5歳:1,000円</td> <td>その他: 35,000円</td> </tr> <tr> <td>保育所ちびっこランド石巻向陽園</td> <td>3人</td> <td>101人</td> <td>22,000円</td> <td>595,000円</td> <td>128,500円</td> <td>745,500円</td> </tr> <tr> <td>託児室 びよちゃんらんど</td> <td>5人</td> <td>115人</td> <td>55,000円</td> <td>1,216,000円</td> <td>198,500円</td> <td>1,469,500円</td> </tr> <tr> <td>木のおへや みらいキッズ</td> <td>7人</td> <td>215人</td> <td>55,000円</td> <td>1,927,000円</td> <td>315,500円</td> <td>2,297,500円</td> </tr> <tr> <td>ハピネス保育園 へびた</td> <td>5人</td> <td>136人</td> <td>55,000円</td> <td>1,475,000円</td> <td>245,500円</td> <td>1,775,500円</td> </tr> <tr> <td>託児所 Petit Ange</td> <td>4人</td> <td>46人</td> <td>0円</td> <td>506,000円</td> <td>187,000円</td> <td>693,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>5施設</td> <td>24人</td> <td>613人</td> <td>187,000円</td> <td>5,719,000円</td> <td>1,075,000円</td> <td>6,981,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※過去5年間の推移（入所児童数は、各年度4月1日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象施設数</td> <td>3施設</td> <td>5施設</td> <td>4施設</td> <td>5施設</td> <td>5施設</td> </tr> <tr> <td>対象施設定員数</td> <td>65人</td> <td>96人</td> <td>96人</td> <td>119人</td> <td>119人</td> </tr> <tr> <td>入所児童数</td> <td>23人</td> <td>26人</td> <td>31人</td> <td>52人</td> <td>48人</td> </tr> </tbody> </table>						施設名	職員数	対象延べ児童数	補助金額内訳			計	施設運営費	児童保育費	職員研究奨励費	給食の提供	0-2歳:11,000円	12/1で6か月以上勤務	有: 55,000円	3歳:8,000円	保育士: 58,500円	計	無: 22,000円	4-5歳:1,000円	その他: 35,000円	保育所ちびっこランド石巻向陽園	3人	101人	22,000円	595,000円	128,500円	745,500円	託児室 びよちゃんらんど	5人	115人	55,000円	1,216,000円	198,500円	1,469,500円	木のおへや みらいキッズ	7人	215人	55,000円	1,927,000円	315,500円	2,297,500円	ハピネス保育園 へびた	5人	136人	55,000円	1,475,000円	245,500円	1,775,500円	託児所 Petit Ange	4人	46人	0円	506,000円	187,000円	693,000円	合計	5施設	24人	613人	187,000円	5,719,000円	1,075,000円	6,981,000円	項目	H30	R1	R2	R3	R4	対象施設数	3施設	5施設	4施設	5施設	5施設	対象施設定員数	65人	96人	96人	119人	119人	入所児童数	23人	26人	31人	52人	48人
施設名	職員数	対象延べ児童数	補助金額内訳			計																																																																																							
			施設運営費	児童保育費	職員研究奨励費																																																																																								
			給食の提供	0-2歳:11,000円	12/1で6か月以上勤務																																																																																								
有: 55,000円	3歳:8,000円	保育士: 58,500円	計																																																																																										
無: 22,000円	4-5歳:1,000円	その他: 35,000円																																																																																											
保育所ちびっこランド石巻向陽園	3人	101人	22,000円	595,000円	128,500円	745,500円																																																																																							
託児室 びよちゃんらんど	5人	115人	55,000円	1,216,000円	198,500円	1,469,500円																																																																																							
木のおへや みらいキッズ	7人	215人	55,000円	1,927,000円	315,500円	2,297,500円																																																																																							
ハピネス保育園 へびた	5人	136人	55,000円	1,475,000円	245,500円	1,775,500円																																																																																							
託児所 Petit Ange	4人	46人	0円	506,000円	187,000円	693,000円																																																																																							
合計	5施設	24人	613人	187,000円	5,719,000円	1,075,000円	6,981,000円																																																																																						
項目	H30	R1	R2	R3	R4																																																																																								
対象施設数	3施設	5施設	4施設	5施設	5施設																																																																																								
対象施設定員数	65人	96人	96人	119人	119人																																																																																								
入所児童数	23人	26人	31人	52人	48人																																																																																								
成果	交付要件を満たす認可外保育施設5施設に対し、補助金を交付することにより、適正な運営及び職員の資質向上を支援することができた。また、低年齢児の受入れを促すとともに、低年齢児保育の重要性の啓発と促進を図ることができた。																																																																																												
成果に係る評価	保護者の就労の変化や保育の無償化により、今後も本年と同程度の保育需要が見込まれる。待機児童解消に向けた保育の受け皿として、認可外保育所は一定の役割を果たしていることから、本事業を継続して実施し、施設の適正な運営と職員の資質向上を図る必要がある。																																																																																												
予算の執行状況	（単位：円）																																																																																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																										
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																							
	6,981,000	6,981,000	2,498,000			4,483,000																																																																																							

予算科目	3 款	民生費	事業名	障害児保育事業				
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち			
	1 目	児童福祉総務費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実			
	事業	民間保育所助成費		(3)	子どもが安心して過ごせる環境を整備する			
担当部課	保健福祉部子ども保育課	実施計画掲載ページ		P47				
目的及び事業内容		<p>市内の私立認可保育所で、障害児を受け入れる事業者に対して、障害児保育の体制整備を図るため、その経費の一部を助成するもの。</p> <p>補助要件 障害児1人から3人に対して保育士1人を配置する。 補助額 加配した保育士の人件費相当額又は保育士1人に付き月額200,000円×配置月数分のいずれか少ない額を助成する。</p>						
取組実績		<p>障害児保育事業を実施している私立認可保育所（1施設）に対し、障害児保育の体制整備を図る経費の一部を助成することで、障害児保育の充実と受入れの促進を図った。</p> <p>取組実績（R4） 障害児保育実施施設数 1施設 障害児保育利用児童数 1人 障害児保育助成額 2,400,000円（@200,000円×12月×1人）</p>						
成果		<p>障害児保育事業を実施している私立認可保育所に対し、障害児保育の体制整備を図る経費の一部を助成、児童の保育所利用の推進を図った。</p>						
成果に係る評価		<p>障害児等の特別な支援が必要な児童を受入れる保育所等に対しては、国が定める要件を満たす場合に、国が定める基準に基づき保育所等に支払われる給付費等に一定の加算がされているところであるが、当該加算のみでは加配保育士等の確保に十分ではなく、保育所等においては、障害児の対応や受入れが困難となっている現状がある。経費の一部を助成することで、障害児の受入れの促進を図り、障害児の健全な育成にもつながることから事業の継続が必要である。</p>						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	6,706,000	2,400,000	120,000			2,280,000		

予算科目	3 款	民生費	事業名	私立保育所助成事業																																																																																																																																																							
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																																																																																																						
	1 目	児童福祉総務費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																																																																																																																																																						
	事業	私立認可保育所等運営費		(3)	子どもが安心して過ごせる環境を整備する																																																																																																																																																						
担当部課	保健福祉部子ども保育課	実施計画掲載ページ		P46																																																																																																																																																							
目的及び事業内容		<p>私立認可保育所等に運営費を給付し、運営の安定化を図ることで、保育を必要とする保護者への支援と児童福祉の増進を図る。 また、延長保育実施施設に対して補助金を交付することで、安定した運営を図りながら、保育時間延長を希望する保護者の就労支援を行う。</p>																																																																																																																																																									
取組実績		<p>1 私立認可保育所13施設、私立認定こども園3施設に対して、子ども・子育て支援法に基づき、子どものための教育・保育給付費（私立認可保育所には委託料、私立認定こども園には扶助費）の給付を行った。</p> <p>2 私立認可保育所12施設、私立認定こども園3施設が実施する延長保育事業に対して、石巻市時間延長保育事業費補助金交付要綱に基づき交付を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>区分</th> <th>施設数</th> <th>金額</th> </tr> <tr> <td>私立認可保育所運営業務委託料</td> <td>13施設</td> <td>1,187,012,360円</td> </tr> <tr> <td>私立認可保育所等給付費（扶助費）</td> <td>3施設</td> <td>319,703,970円</td> </tr> <tr> <td>時間延長保育事業費補助金</td> <td>15施設</td> <td>7,096,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>-</td> <td>1,513,812,330円</td> </tr> </table>						区分	施設数	金額	私立認可保育所運営業務委託料	13施設	1,187,012,360円	私立認可保育所等給付費（扶助費）	3施設	319,703,970円	時間延長保育事業費補助金	15施設	7,096,000円	合計	-	1,513,812,330円																																																																																																																																					
区分	施設数	金額																																																																																																																																																									
私立認可保育所運営業務委託料	13施設	1,187,012,360円																																																																																																																																																									
私立認可保育所等給付費（扶助費）	3施設	319,703,970円																																																																																																																																																									
時間延長保育事業費補助金	15施設	7,096,000円																																																																																																																																																									
合計	-	1,513,812,330円																																																																																																																																																									
成果		<p>各保育施設への給付により、特色を生かした保育を行うことで、保育の質の向上を図られた。 また、延長保育事業を実施することで、保護者が安心して児童を預けられる環境が整えられたため、就労支援と児童福祉の増進が図られた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">保育施設名</th> <th rowspan="2">認可定員</th> <th colspan="4">入所児童数（4月1日現在）</th> <th rowspan="2">延長保育</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1 なかよし保育園</td><td>60人</td><td>61人</td><td>61人</td><td>60人</td><td>63人</td><td></td><td>一時預かり</td></tr> <tr><td>2 インターナショナルリスクルビノッチ</td><td>70人</td><td>67人</td><td>71人</td><td>65人</td><td>63人</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>3 プルバードインターナショナルリスクル</td><td>110人</td><td>96人</td><td>97人</td><td>98人</td><td>99人</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>4 石巻ひがし保育園</td><td>60人</td><td>59人</td><td>58人</td><td>54人</td><td>53人</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>5 石巻たから保育園</td><td>60人</td><td>50人</td><td>58人</td><td>65人</td><td>55人</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>6 ケヤキッズあゆみの保育園</td><td>99人</td><td>91人</td><td>92人</td><td>91人</td><td>91人</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>7 乳幼児保育園ミルク</td><td>85人</td><td>76人</td><td>84人</td><td>86人</td><td>79人</td><td>○</td><td>病後児等保育</td></tr> <tr><td>8 レインボーインターナショナルリスクル</td><td>75人</td><td>62人</td><td>69人</td><td>75人</td><td>75人</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>9 ケヤキッズさくらまち保育園</td><td>90人</td><td>65人</td><td>87人</td><td>75人</td><td>74人</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>10 ケヤキッズのぞみの保育園</td><td>90人</td><td>70人</td><td>92人</td><td>90人</td><td>90人</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>11 リトルマイトインターナショナルリスクル</td><td>60人</td><td>18人</td><td>34人</td><td>43人</td><td>47人</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>12 広瀬保育所</td><td>60人</td><td>55人</td><td>60人</td><td>54人</td><td>60人</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>13 メロン保育園</td><td>140人</td><td>159人</td><td>155人</td><td>154人</td><td>149人</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>14 さくらこども園</td><td>90人</td><td>81人</td><td>75人</td><td>82人</td><td>87人</td><td>○</td><td>R3よりこども園</td></tr> <tr><td>15 アリスこども園</td><td>85人</td><td>78人</td><td>73人</td><td>67人</td><td>67人</td><td>○</td><td>R3よりこども園</td></tr> <tr><td>16 石巻ひまわりこども園</td><td>90人</td><td>87人</td><td>91人</td><td>89人</td><td>89人</td><td>○</td><td>R4よりこども園</td></tr> <tr> <td>合計</td> <td>16施設</td> <td>1,324人</td> <td>1,175人</td> <td>1,257人</td> <td>1,248人</td> <td>1,241人</td> <td>15施設</td> </tr> </tbody> </table>						保育施設名	認可定員	入所児童数（4月1日現在）				延長保育	備考	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	1 なかよし保育園	60人	61人	61人	60人	63人		一時預かり	2 インターナショナルリスクルビノッチ	70人	67人	71人	65人	63人	○		3 プルバードインターナショナルリスクル	110人	96人	97人	98人	99人	○		4 石巻ひがし保育園	60人	59人	58人	54人	53人	○		5 石巻たから保育園	60人	50人	58人	65人	55人	○		6 ケヤキッズあゆみの保育園	99人	91人	92人	91人	91人	○		7 乳幼児保育園ミルク	85人	76人	84人	86人	79人	○	病後児等保育	8 レインボーインターナショナルリスクル	75人	62人	69人	75人	75人	○		9 ケヤキッズさくらまち保育園	90人	65人	87人	75人	74人	○		10 ケヤキッズのぞみの保育園	90人	70人	92人	90人	90人	○		11 リトルマイトインターナショナルリスクル	60人	18人	34人	43人	47人	○		12 広瀬保育所	60人	55人	60人	54人	60人	○		13 メロン保育園	140人	159人	155人	154人	149人	○		14 さくらこども園	90人	81人	75人	82人	87人	○	R3よりこども園	15 アリスこども園	85人	78人	73人	67人	67人	○	R3よりこども園	16 石巻ひまわりこども園	90人	87人	91人	89人	89人	○	R4よりこども園	合計	16施設	1,324人	1,175人	1,257人	1,248人	1,241人	15施設
保育施設名	認可定員	入所児童数（4月1日現在）				延長保育	備考																																																																																																																																																				
		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度																																																																																																																																																						
1 なかよし保育園	60人	61人	61人	60人	63人		一時預かり																																																																																																																																																				
2 インターナショナルリスクルビノッチ	70人	67人	71人	65人	63人	○																																																																																																																																																					
3 プルバードインターナショナルリスクル	110人	96人	97人	98人	99人	○																																																																																																																																																					
4 石巻ひがし保育園	60人	59人	58人	54人	53人	○																																																																																																																																																					
5 石巻たから保育園	60人	50人	58人	65人	55人	○																																																																																																																																																					
6 ケヤキッズあゆみの保育園	99人	91人	92人	91人	91人	○																																																																																																																																																					
7 乳幼児保育園ミルク	85人	76人	84人	86人	79人	○	病後児等保育																																																																																																																																																				
8 レインボーインターナショナルリスクル	75人	62人	69人	75人	75人	○																																																																																																																																																					
9 ケヤキッズさくらまち保育園	90人	65人	87人	75人	74人	○																																																																																																																																																					
10 ケヤキッズのぞみの保育園	90人	70人	92人	90人	90人	○																																																																																																																																																					
11 リトルマイトインターナショナルリスクル	60人	18人	34人	43人	47人	○																																																																																																																																																					
12 広瀬保育所	60人	55人	60人	54人	60人	○																																																																																																																																																					
13 メロン保育園	140人	159人	155人	154人	149人	○																																																																																																																																																					
14 さくらこども園	90人	81人	75人	82人	87人	○	R3よりこども園																																																																																																																																																				
15 アリスこども園	85人	78人	73人	67人	67人	○	R3よりこども園																																																																																																																																																				
16 石巻ひまわりこども園	90人	87人	91人	89人	89人	○	R4よりこども園																																																																																																																																																				
合計	16施設	1,324人	1,175人	1,257人	1,248人	1,241人	15施設																																																																																																																																																				
成果に係る評価		<p>少子化の傾向は依然続いているものの、保護者の就労の変化や幼児教育・保育の無償化、公立保育施設の再編計画により、今後、民間事業者が運営する保育施設への入所希望数は高い水準で推移すると見込まれるため、私立認可保育施設が担う役割は重要であることから、今後も引き続き事業を継続する。</p>																																																																																																																																																									
（単位：円）																																																																																																																																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																																																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																																																					
	1,514,659,000	1,513,812,330	1,048,345,500			107,684,130	357,782,700																																																																																																																																																				

予算科目	3 款	民生費	事業名	助産施設入所助成事業																										
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																									
	1 目	児童福祉総務費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																									
	事業	母子支援事業費		(1)	妊娠から出産、子育て期における切れ目のない支援を行う																									
担当部課	保健福祉部総合相談センター	実施計画掲載ページ		P42																										
目的及び事業内容		母子保健上必要があるにもかかわらず、経済的な理由により入院助産を受けることができない妊産婦に対し出産費用を助成することにより、安心して出産ができるよう助産施設への入所を図る。																												
取組実績	1 助産施設 県内7施設が対象		<table border="1"> <tr> <td>石巻赤十字病院</td> <td>東北大学病院</td> <td>仙台市立病院</td> </tr> <tr> <td>仙台赤十字病院</td> <td>気仙沼市立病院</td> <td>大崎市民病院</td> </tr> <tr> <td>スズキ記念病院</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			石巻赤十字病院	東北大学病院	仙台市立病院	仙台赤十字病院	気仙沼市立病院	大崎市民病院	スズキ記念病院																		
	石巻赤十字病院	東北大学病院	仙台市立病院																											
仙台赤十字病院	気仙沼市立病院	大崎市民病院																												
スズキ記念病院																														
2 利用対象者		<table border="1"> <tr> <td>保健上必要</td> <td>異常分娩のおそれがある場合だけでなく、正常分娩が予想される場合でも住居が狭小であるとか、多子世帯で人手がない、あるいは、不衛生等のため家庭環境が劣悪で安全な分娩が期待できない場合等</td> </tr> <tr> <td>経済的理由</td> <td>一般の産科病院、診療所または助産所に入院するための費用の全額を自分で負担することができない場合等</td> </tr> </table>			保健上必要	異常分娩のおそれがある場合だけでなく、正常分娩が予想される場合でも住居が狭小であるとか、多子世帯で人手がない、あるいは、不衛生等のため家庭環境が劣悪で安全な分娩が期待できない場合等	経済的理由	一般の産科病院、診療所または助産所に入院するための費用の全額を自分で負担することができない場合等																						
保健上必要	異常分娩のおそれがある場合だけでなく、正常分娩が予想される場合でも住居が狭小であるとか、多子世帯で人手がない、あるいは、不衛生等のため家庭環境が劣悪で安全な分娩が期待できない場合等																													
経済的理由	一般の産科病院、診療所または助産所に入院するための費用の全額を自分で負担することができない場合等																													
成果	経済的な理由により、助産施設を利用できない妊産婦の安全な出産確保が図られた。利用者は就労困難や家族等の支援が乏しい場合が多いため、より安心して出産できるよう、相談・申請の段階において、保健師及び家庭児童相談員による適切な母子支援を行い、安心して出産できる体制づくりに努めた。																													
	<p>〈利用実績〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">利用施設名</th> <th rowspan="2">利用者数</th> <th colspan="2">区 分</th> </tr> <tr> <th>普通分娩</th> <th>帝王切開</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R2</td> <td>石巻赤十字病院</td> <td>4人</td> <td>4人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>東北大学病院</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>石巻赤十字病院</td> <td>4人</td> <td>3人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>石巻赤十字病院</td> <td>5人</td> <td>4人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>					年度	利用施設名	利用者数	区 分		普通分娩	帝王切開	R2	石巻赤十字病院	4人	4人	0人	東北大学病院	1人	0人	1人	R3	石巻赤十字病院	4人	3人	1人	R4	石巻赤十字病院	5人	4人
年度	利用施設名	利用者数	区 分																											
			普通分娩	帝王切開																										
R2	石巻赤十字病院	4人	4人	0人																										
	東北大学病院	1人	0人	1人																										
R3	石巻赤十字病院	4人	3人	1人																										
R4	石巻赤十字病院	5人	4人	1人																										
成果に係る評価	近年利用者数は横ばい状態にあるが、この制度を利用することで、大きな負担となっている金銭面の悩みが軽減し、安全な分娩に繋げることができた。今後も病院及び関係機関と連携を図りながら、より良い養育環境づくりに努めていく。児童福祉法に基づく安全な出産を確保するための施策であり、今後も継続して実施していく必要がある。																													
(単位：円)																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	3,486,000	3,373,076	2,349,544			1,023,532																								

予算科目	3 款	民生費	事業名	養育支援訪問事業（ホームヘルパー支援事業）																
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち															
	1 目	児童福祉総務費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実															
	事業	母子支援事業費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する															
担当部課	保健福祉部総合相談センター	実施計画掲載ページ		P45																
目的及び事業内容		要保護児童対策の一環として、養育支援が特に必要であると判断した家庭に対し、保健師、助産師、ホームヘルパー等がその居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行い、当該家庭の適切な養育の確保を図る。																		
取組実績	育児に対する強い不安や不衛生な生活環境にあるなど、特に養育支援が必要とされる家庭に対しホームヘルパー、保健師等を派遣し、家事援助や育児支援を行い、適切な養育環境の確保を実施した。																			
	<p>1 対象者</p> <p>(1) 生活環境等が不適切な養育状態にあり、虐待の恐れがある家庭</p> <p>(2) 出産後、間もない時期（概ね1年程度）の養育者が育児ストレス等により強い不安を抱える家庭</p> <p>(3) 若年の妊婦、望まない妊娠などで妊娠期から継続的な支援を必要とする家庭</p> <p>2 支援内容</p> <p>(1) ホームヘルパーによる育児、家事の援助</p> <p>(2) 保健師等による専門的な育児指導及び栄養指導</p> <p>3 派遣可否の決定</p> <p>「養育支援個別ケース検討会議」を開催し決定</p> <p>4 支援基準</p> <p>1回2時間以内、1日2回まで</p> <p>5 委託先</p> <p>社会福祉法人 石巻市社会福祉協議会</p>																			
成果	ホームヘルパー等による育児・家事の援助及び子どもの養育に関する指導・助言などを行うことで、家事負担や育児不安の軽減が図られ、養育環境の改善と子どもの安全が守られた。																			
	<p>【ホームヘルパー派遣利用実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用世帯数</th> <th>利用延回数</th> <th>派遣時間数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>5世帯</td> <td>213回</td> <td>201時間</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>3世帯</td> <td>674回</td> <td>503時間</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>7世帯</td> <td>882回</td> <td>803時間</td> </tr> </tbody> </table>					年度	利用世帯数	利用延回数	派遣時間数	R2	5世帯	213回	201時間	R3	3世帯	674回	503時間	R4	7世帯	882回
年度	利用世帯数	利用延回数	派遣時間数																	
R2	5世帯	213回	201時間																	
R3	3世帯	674回	503時間																	
R4	7世帯	882回	803時間																	
成果に係る評価	令和4年度は利用延回数、派遣時間数ともに大幅な増となったが、子育てに対して不安や孤立感等を抱える家庭や、様々な理由で養育支援を必要としている家庭に対し、居室内の整理整頓や食事の準備等、具体的な養育に関する指導助言等を訪問により実施し、それぞれの家庭が抱える養育上の諸問題の軽減が図られた。 今後も関係機関・団体との緊密な連携により、母親の育児ストレスを軽くし、安定した子どもの養育環境を確保することが、虐待リスクの軽減にも繋がることから、引き続き支援を行っていくことが重要である。																			
(単位：円)																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
	1,807,875	1,807,875	1,206,000			601,875														

予算科目	3 款	民生費	事業名	地域子ども・子育て情報発信事業																	
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																
	1 目	児童福祉総務費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てのできる環境の充実																
	事業	子ども・子育て支援事業計画推進費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する																
担当部課	保健福祉部子育て支援課	実施計画掲載ページ		P43																	
目的及び事業内容		子育て応援アプリ「ISHIMO」の運用により、子育て世代に必要な各種健診、子育て相談、イベント等の情報をスマートフォンやタブレット端末等へリアルタイムに配信し、妊娠・出産期からの切れ目ないサポート体制の強化を図る。																			
取組実績		<p>1 登録者への情報配信 <主な機能> ① 子育て情報配信等 (市からのプッシュ通知による情報発信) ② 妊娠期の記録管理 ③ 子どもの健康データ管理 ④ 予防接種の乳幼児健診の記録及びスケジュール管理 (②、③、④は利用者がアプリに記録を入力するもの。)</p> <p>2 担当者会議の実施 「ISHIMO」の有効活用に関して、関係課と情報共有を行った。</p>																			
成果		<p>登録者数は増加しており、子育て世帯のリアルタイムな情報取得につながっている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">登録者数(人)</th> </tr> <tr> <th>年度計</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>546</td> <td>546</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>345</td> <td>891</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>268</td> <td>1,159</td> </tr> </tbody> </table>						年度	登録者数(人)		年度計	累計	R2	546	546	R3	345	891	R4	268	1,159
年度	登録者数(人)																				
	年度計	累計																			
R2	546	546																			
R3	345	891																			
R4	268	1,159																			
成果に係る評価		<p>子育て世代が情報収集手段として最も利用しているスマートフォンやタブレット端末等に、リアルタイムで乳幼児健診や予防接種、子育て関係のイベントなどの情報を効果的に提供することで、妊娠・出産期からの切れ目ない支援につなげることができた。 今後は、アプリの周知や情報提供を継続しながら、利用者の更なる利便性の向上のため、市の情報発信ツールの一元化に向けて研究していく必要がある。</p>																			
(単位:円)																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源															
	660,000	660,000	330,000			330,000															

予算科目	3 款	民生費	事業名	地域子ども・子育て支援拠点事業																											
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																										
	1 目	児童福祉総務費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てのできる環境の充実																										
	事業	子育て支援センター管理費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する																										
担当部課	保健福祉部子育て支援課	実施計画掲載ページ		P44																											
目的及び事業内容		<p>家庭や地域における子育て機能の低下や子育て中の親の孤独感、不安感の増大等に対応するため、地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点の設置を推進することにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、もって子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援する。</p>																													
取組実績		<p>基本事業 (1) 子育て親子が気軽かつ自由に利用できる場の提供 (2) 子育てに不安、悩み等を持つ子育て親子に対する相談及び援助の実施 (3) 子育て親子が必要とする身近な地域の子育て支援に関する情報の提供 (4) 子育て及び子育て支援に関する講習等を月1回以上実施</p> <p>子育て支援センター開設か所(12か所)</p> <table border="1"> <tr> <td>湊子育て支援センター</td> <td>湊こども園内</td> <td>北上子育て支援センター</td> <td>相川保育所内</td> </tr> <tr> <td>渡波子育て支援センター</td> <td>渡波保育所内</td> <td>牡鹿子育て支援センター</td> <td>牡鹿保健福祉センター内</td> </tr> <tr> <td>河北子育て支援センター</td> <td>飯野川保育所内</td> <td>釜子育て支援センター</td> <td>釜保育所内</td> </tr> <tr> <td>雄勝子育て支援センター</td> <td>雄勝保育所内</td> <td>なかよし保育園地域子育て支援センター</td> <td>なかよし保育園内</td> </tr> <tr> <td>河南子育て支援センター</td> <td>河南農村環境改善センター内</td> <td>NPO法人ペビースマイル石巻</td> <td>石巻市蛇田字土和田</td> </tr> <tr> <td>桃生子育て支援センター</td> <td>桃生バイオ研修センター内</td> <td>NPO法人にじいろクレヨン</td> <td>石巻市大街道西二丁目</td> </tr> </table>						湊子育て支援センター	湊こども園内	北上子育て支援センター	相川保育所内	渡波子育て支援センター	渡波保育所内	牡鹿子育て支援センター	牡鹿保健福祉センター内	河北子育て支援センター	飯野川保育所内	釜子育て支援センター	釜保育所内	雄勝子育て支援センター	雄勝保育所内	なかよし保育園地域子育て支援センター	なかよし保育園内	河南子育て支援センター	河南農村環境改善センター内	NPO法人ペビースマイル石巻	石巻市蛇田字土和田	桃生子育て支援センター	桃生バイオ研修センター内	NPO法人にじいろクレヨン	石巻市大街道西二丁目
湊子育て支援センター	湊こども園内	北上子育て支援センター	相川保育所内																												
渡波子育て支援センター	渡波保育所内	牡鹿子育て支援センター	牡鹿保健福祉センター内																												
河北子育て支援センター	飯野川保育所内	釜子育て支援センター	釜保育所内																												
雄勝子育て支援センター	雄勝保育所内	なかよし保育園地域子育て支援センター	なかよし保育園内																												
河南子育て支援センター	河南農村環境改善センター内	NPO法人ペビースマイル石巻	石巻市蛇田字土和田																												
桃生子育て支援センター	桃生バイオ研修センター内	NPO法人にじいろクレヨン	石巻市大街道西二丁目																												
成果		<p>親子・家庭・地域社会の交わりをつくりだす場が定着し、主任児童委員をはじめとする地域住民との連携が図られている。また、支援センターの指導員は、利用親子の身近な理解者として、育児不安解消の一助となっている。</p> <p>実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>項目</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>電話・来所・訪問(相談件数)</td> <td>1,845件</td> <td>1,573件</td> <td>1,924件</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>子育てサークル支援(支援件数)</td> <td>306件</td> <td>379件</td> <td>410件</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>親子教室・遊びの広場(参加親子組数)</td> <td>8,032組</td> <td>8,060組</td> <td>8,166組</td> </tr> </tbody> </table>						No	項目	R2年度	R3年度	R4年度	1	電話・来所・訪問(相談件数)	1,845件	1,573件	1,924件	2	子育てサークル支援(支援件数)	306件	379件	410件	3	親子教室・遊びの広場(参加親子組数)	8,032組	8,060組	8,166組				
No	項目	R2年度	R3年度	R4年度																											
1	電話・来所・訪問(相談件数)	1,845件	1,573件	1,924件																											
2	子育てサークル支援(支援件数)	306件	379件	410件																											
3	親子教室・遊びの広場(参加親子組数)	8,032組	8,060組	8,166組																											
成果に係る評価		<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度から予約制により人数制限を設けて運営した結果、令和3年度とほぼ同数の利用者数となった。子育ての悩みや不安を気兼ねなく相談できる場所としての機能や、子育てサークル支援による地域との交流活動を通じた地域における子育て親子の交流等を促進するという機能を充実し本事業の推進を図っていく。</p>																													
(単位:円)																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
	80,213,000	77,676,427	51,486,000			26,190,427																									

予算科目	3 款	民生費	事業名	保育士確保支援事業																																														
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																													
	1 目	児童福祉総務費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																																													
	事業	保育士確保支援事業費		(3)	子どもが安心して過ごせる環境を整備する																																													
担当部課	保健福祉部子ども保育課	実施計画掲載ページ		P47																																														
目的及び事業内容	本市の保育士不足を解消するため、市内私立認可保育施設に常勤保育士等として新たに勤務する者に対し、就労支援金及び資格取得支援金を助成し、保育士資格取得の促進、保育施設への就職及び離職防止につなげ、安定した保育施設の運営を図るもの。																																																	
取組実績	令和4年度は、28名(新規：19名、継続：9名)に対し、就労支援金として3,100,000円を交付した。																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">補助金額</th> <th colspan="2">R3</th> <th colspan="2">R4</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>交付額</th> <th>人数</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">就労支援金</td> <td>就労開始時 転入有</td> <td>200,000円</td> <td>2人</td> <td>400,000円</td> <td>3人</td> <td>600,000円</td> </tr> <tr> <td>転入無</td> <td>100,000円</td> <td>11人</td> <td>1,100,000円</td> <td>16人</td> <td>1,600,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>勤続1年後</td> <td>100,000円</td> <td>13人</td> <td>1,300,000円</td> <td>9人</td> <td>900,000円</td> </tr> <tr> <td>資格取得支援金</td> <td>最大100,000円</td> <td>1人</td> <td>9,000円</td> <td>0人</td> <td>0円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>最大300,000円</td> <td>27人</td> <td>2,809,000円</td> <td>28人</td> <td>3,100,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						区分	補助金額	R3		R4		人数	交付額	人数	交付額	就労支援金	就労開始時 転入有	200,000円	2人	400,000円	3人	600,000円	転入無	100,000円	11人	1,100,000円	16人	1,600,000円		勤続1年後	100,000円	13人	1,300,000円	9人	900,000円	資格取得支援金	最大100,000円	1人	9,000円	0人	0円		計	最大300,000円	27人	2,809,000円	28人	3,100,000円	
区分	補助金額	R3		R4																																														
		人数	交付額	人数	交付額																																													
就労支援金	就労開始時 転入有	200,000円	2人	400,000円	3人	600,000円																																												
	転入無	100,000円	11人	1,100,000円	16人	1,600,000円																																												
	勤続1年後	100,000円	13人	1,300,000円	9人	900,000円																																												
資格取得支援金	最大100,000円	1人	9,000円	0人	0円																																													
計	最大300,000円	27人	2,809,000円	28人	3,100,000円																																													
成果	令和4年度新たに私立認可保育所、小規模保育所に採用された19名の保育士及び前年度採用され継続して就労している9名の保育士に対し、就労支援金を助成し、保育士の就職支援、離職防止及び保育所運営の安定を図ることができた。																																																	
成果に係る評価	保育士資格の新規取得者及び就労に寄与するため、本市が独自に実施している本事業について、関係機関等への周知を強化し、保育士の確保に努め、保育環境の充実を推進する必要がある。 また、保育施設は、保育士の確保数によって利用定員が決定することから、待機児童の解消と民間保育施設の安定した運営を図るため本事業を継続して実施する必要がある。																																																	
予算の執行状況	(単位：円)																																																	
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																												
	3,100,000	3,100,000				3,100,000																																												

予算科目	3 款	民生費	事業名	ファミリーサポート事業																																						
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																					
	1 目	児童福祉総務費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																																					
	事業	子ども・子育て支援事業費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する																																					
担当部課	保健福祉部子育て支援課	実施計画掲載ページ		P43																																						
目的及び事業内容	ファミリーサポートセンター事務局による調整や支援を行いながら、子育てを援助してほしい人(利用会員)と子育てを援助できる人(協会員)が相互の信頼関係のもと、子どもを預けたり、預かったりする地域ぐるみでの子育て支援活動を実施することにより、安心して子育てできる環境づくりを推進する。																																									
取組実績	1 事業委託先 特定非営利活動法人 ベビースマイル石巻 2 事務局開局日及び体制 月曜日から土曜日 午前9時～午後4時 3名のアドバイザー配置 3 会員数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 協会員</td> <td>89人</td> <td>94人</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>(2) 利用会員</td> <td>387人</td> <td>446人</td> <td>480人</td> </tr> <tr> <td>(3) 両方会員</td> <td>72人</td> <td>73人</td> <td>68人</td> </tr> </tbody> </table> 4 利用件数 1,879件 5 協会員の研修の実施 ・新規協会員の初回研修 3回 ・既協会員のステップアップ研修 2回 6 事業PRの推進 ・会報の発行 3回						区分	R2年度	R3年度	R4年度	(1) 協会員	89人	94人	100人	(2) 利用会員	387人	446人	480人	(3) 両方会員	72人	73人	68人																				
区分	R2年度	R3年度	R4年度																																							
(1) 協会員	89人	94人	100人																																							
(2) 利用会員	387人	446人	480人																																							
(3) 両方会員	72人	73人	68人																																							
成果	委託事業者による広報活動の充実や利用しやすい体制の強化により、会員登録数が増加した。新型コロナウイルス感染症の影響により、利用件数が一時減少したものの、回復傾向にある。																																									
	利用件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仕事(仕事復帰準備含む)</td> <td>410件</td> <td>472件</td> <td>687件</td> </tr> <tr> <td>保育所・幼稚園の送り</td> <td>340件</td> <td>1件</td> <td>50件</td> </tr> <tr> <td>保育所・幼稚園の迎え</td> <td>216件</td> <td>61件</td> <td>64件</td> </tr> <tr> <td>小学校への送迎</td> <td>155件</td> <td>3件</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>保護者の外出の際の援助</td> <td>170件</td> <td>196件</td> <td>80件</td> </tr> <tr> <td>放課後児童クラブの迎え</td> <td>509件</td> <td>440件</td> <td>448件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>611件</td> <td>418件</td> <td>545件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,411件</td> <td>1,591件</td> <td>1,879件</td> </tr> </tbody> </table>						項目	R2年度	R3年度	R4年度	仕事(仕事復帰準備含む)	410件	472件	687件	保育所・幼稚園の送り	340件	1件	50件	保育所・幼稚園の迎え	216件	61件	64件	小学校への送迎	155件	3件	5件	保護者の外出の際の援助	170件	196件	80件	放課後児童クラブの迎え	509件	440件	448件	その他	611件	418件	545件	合計	2,411件	1,591件	1,879件
項目	R2年度	R3年度	R4年度																																							
仕事(仕事復帰準備含む)	410件	472件	687件																																							
保育所・幼稚園の送り	340件	1件	50件																																							
保育所・幼稚園の迎え	216件	61件	64件																																							
小学校への送迎	155件	3件	5件																																							
保護者の外出の際の援助	170件	196件	80件																																							
放課後児童クラブの迎え	509件	440件	448件																																							
その他	611件	418件	545件																																							
合計	2,411件	1,591件	1,879件																																							
成果に係る評価	仕事と家庭の両立や保護者の急用等による預かりなどのニーズは高いが、新型コロナウイルス感染症の影響により、特に学校等への送迎について利用控えが続いている。委託事業者による広報活動の強化により協会員のなり手不足解消に努め、利用しやすい体制が図られた。利用者の中には、複雑な問題を抱えている場合もあるため、協会員の研修の強化、利用会員と協会員の丁寧なマッチングなどにより、本事業の推進を図っていく。																																									
予算の執行状況	(単位：円)																																									
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																				
	5,462,290	5,418,488	3,611,000			1,807,488																																				

予算科目	3 款	民生費	事業名		子育て世代包括支援センター事業（地域子ども・子育て利用者支援）																											
	3 項	児童福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																											
	1 目	児童福祉総務費		第 1 節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																											
	事業	子ども・子育て支援事業費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する																											
担当部課	保健福祉部子育て支援課	実施計画掲載ページ		P43																												
目的及び事業内容		<p>妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制を確保するため、子育て世代包括支援センターを拠点として子育て支援に関する情報提供や相談、助言等を行い、必要に応じた保育、保健、教育等関係機関への連携調整等を行う。</p>																														
取組実績		<p>妊娠期から出産・子育て期までの各ステージを包括的に網羅する仕組みとして、地域子ども・子育て利用者支援事業を子育て世代包括支援センター事業と位置づけ、平成28年11月より実施。基本型を子育て支援課、特定型を子ども保育課、母子保健型を健康推進課に置き、各総合支所市民福祉課も一体化した体制としている。</p> <p>利用者にとって、より身近で相談しやすい体制とするため、子育て支援課の他に、民間子育て支援団体に業務委託し、基本型の機能を有した子育て相談窓口（いっしょいっしょへびた、いっしょいっしょえきまえ）を設置している。</p> <p>※民間子育て支援団体：特定非営利活動法人ベビースマイル石巻、特定非営利活動法人やっぺす</p> <p>基本型…「利用者支援」と「地域連携」を担い、妊産婦、生活、発育（発達）、医学的問題、家庭環境等に関する相談及び情報提供を行う。</p> <p>助産師が、市内の子育て支援センターを巡回し子どもの成長測定等を実施する際に、子育てに関する専門的な相談及び講話を行う。さらに、市ホームページに「教えて助産師さん」のコーナーを設け、妊娠・子育てに関する助産師のアドバイス等を掲載し、情報発信している。</p> <p>特定型…市の窓口において、保育所入所に関する相談を行う。</p> <p>母子保健型…保健師等の専門職が関係機関と協力しながら、妊産婦及び乳幼児に関する専門的な相談を行う。</p>																														
成果		<p>各委託事業所において、出張型の子育て相談の実施や産前産後マイプラン作成事業の展開などにより、出産や子育てに関する相談や支援体制の充実が図られ、妊娠期から出産・子育て期にわたる切れ目のない支援につながった。</p> <p>相談件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">基本型</th> <th rowspan="2">特定型</th> <th rowspan="2">母子保健型</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>直営</th> <th>委託</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2年度</td> <td>201件</td> <td>378件</td> <td>695件</td> <td>814件</td> <td>2,088件</td> </tr> <tr> <td>R3年度</td> <td>241件</td> <td>2,023件</td> <td>784件</td> <td>733件</td> <td>3,781件</td> </tr> <tr> <td>R4年度</td> <td>378件</td> <td>2,467件</td> <td>777件</td> <td>630件</td> <td>4,252件</td> </tr> </tbody> </table>					年度	基本型		特定型	母子保健型	計	直営	委託	R2年度	201件	378件	695件	814件	2,088件	R3年度	241件	2,023件	784件	733件	3,781件	R4年度	378件	2,467件	777件	630件	4,252件
年度	基本型		特定型	母子保健型	計																											
	直営	委託																														
R2年度	201件	378件	695件	814件	2,088件																											
R3年度	241件	2,023件	784件	733件	3,781件																											
R4年度	378件	2,467件	777件	630件	4,252件																											
成果に係る評価		<p>地域の子育て支援相談窓口として認知されてきており、相談件数が増加傾向にある。</p> <p>複合的な問題や複雑化しているケース相談が増えており、継続しての相談も多くなっているため、関係機関と連携しながら利用者の不安や困りに寄り添った伴走型の支援を行えるように、委託事業者に対し各種相談に関する必要な情報提供や助言を行うとともに、専門家からアドバイスをいただく機会を設けた。</p> <p>今後も、基本型、母子保健型、特定型が一体的に機能するために、関係機関との連携の強化や支援体制の充実を図りたい。</p>																														
（単位：円）																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																										
	20,879,132	20,715,558	17,261,000			3,454,558																										

予算科目	3 款	民生費	事業名		助産師による産前産後「心とからだトータルケア」推進事業																																			
	3 項	児童福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																			
	1 目	児童福祉総務費		第 1 節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																																			
	事業	子ども・子育て支援事業費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する																																			
担当部課	保健福祉部子育て支援課	実施計画掲載ページ		P44																																				
目的及び事業内容		<p>妊娠期から子育て期にわたり、妊産婦が相談や講座等で専門職である助産師と関わることにより、妊娠・出産・育児に関する正しい知識を習得し、安心して産前産後を過ごし、子育てできるように支援する。</p>																																						
取組実績		<p>妊産婦が相談や講座等で専門職である助産師と関わることにより、妊娠・出産・育児に関する正しい知識を習得し、安心して産前産後を過ごせるよう支援を行った。ささえあいセンターを会場として特定非営利活動法人やっぺすに事業を委託して実施している。</p> <p>1 心とからだのトータルケア推進事業 会場：ささえあいセンターいっしょいっしょえきまえ内 内容：妊婦向け講座 出産準備の講話や、沐浴体験・妊婦体験等を通して子育てについて学ぶ。</p> <p>2 妊産婦相談（対面相談・オンライン相談） 会場：ささえあいセンターいっしょいっしょえきまえ内 内容：母乳育児等の個別相談</p>																																						
成果		<p>参加者アンケートから、講座の受講や相談を通じて安心して出産や育児に向き合うことができるようになったという感想が多く聞かれ、出産等の不安解消の一助となっている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業名</th> <th colspan="2">R2</th> <th colspan="2">R3</th> <th colspan="2">R4</th> </tr> <tr> <th>実施回数</th> <th>参加者数</th> <th>実施回数</th> <th>参加者数</th> <th>実施回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 妊娠・出産・子育てに関する講座</td> <td>7回</td> <td>48人</td> <td>13回</td> <td>63人</td> <td>31回</td> <td>160人</td> </tr> <tr> <td>2 妊産婦相談</td> <td>44回</td> <td>69人</td> <td>62回</td> <td>62人</td> <td>45回</td> <td>122人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>51回</td> <td>117人</td> <td>75回</td> <td>125人</td> <td>76回</td> <td>282人</td> </tr> </tbody> </table>					事業名	R2		R3		R4		実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	1 妊娠・出産・子育てに関する講座	7回	48人	13回	63人	31回	160人	2 妊産婦相談	44回	69人	62回	62人	45回	122人	合計	51回	117人	75回	125人	76回	282人
事業名	R2		R3		R4																																			
	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数																																		
1 妊娠・出産・子育てに関する講座	7回	48人	13回	63人	31回	160人																																		
2 妊産婦相談	44回	69人	62回	62人	45回	122人																																		
合計	51回	117人	75回	125人	76回	282人																																		
成果に係る評価		<p>新型コロナウイルス感染防止のため人数制限を設けていたが、制限枠の緩和と市内産院等の連携・協力を図りながら周知を強化したことにより参加者の増加につながった。市内では一部産院においても産院独自の妊娠・出産についての講座等が行われているものの、妊娠、出産、子育てに関する知識を得るための体制が十分でないことから、安心して産前産後を過ごせる環境づくりの推進を図っていく。</p>																																						
（単位：円）																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																		
	1,254,000	1,254,000	627,000			627,000																																		

予算科目	3 款	民生費	事業名	こんにちは赤ちゃん事業（妊娠・出産祝い品贈呈事業）																					
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																				
	1 目	児童福祉総務費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てのできる環境の充実																				
	事業	子ども・子育て支援事業費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する																				
担当部課	保健福祉部子育て支援課	実施計画掲載ページ		P44																					
目的及び事業内容		次代を担う子どもの妊娠・出産を祝い、健やかな成長を願うとともに、少子化対策及び子育てにやさしいまちづくりを推進するため、祝い品を贈呈する。																							
取組実績		<p>1 祝い品</p> <p>(1) 妊娠祝い品：マタニティマークキーホルダー</p> <p>(2) 出産祝い品：今治タオルを使用したベビー用品セット（市長のお祝いメッセージカード付き）</p> <p>2 対象者</p> <p>(1) 妊娠祝い品：本市に住所を有する母子健康手帳交付者。</p> <p>(2) 出産祝い品：本市に住所を有する生後4ヶ月を迎えるまでの乳児がいる家庭。</p> <p>3 贈呈方法</p> <p>(1) 妊娠祝い品：健康推進課又は各総合支所市民福祉課で母子健康手帳交付時に贈呈する。</p> <p>(2) 出産祝い品：健康推進課又は各総合支所の乳児家庭全戸訪問時に贈呈する。</p>																							
成果		<p>祝い品を贈呈することで、妊産婦との良好な信頼関係を築く一助となった。</p> <p>贈呈数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>妊娠祝い品</th> <th>出産祝い品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>695個</td> <td>730個</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>667個</td> <td>713個</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>596個</td> <td>641個</td> </tr> </tbody> </table> <p>【参考】出生数推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R2年</th> <th>R3年</th> <th>R4年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>743人</td> <td>714人</td> <td>682人</td> </tr> </tbody> </table>						年度	妊娠祝い品	出産祝い品	R2	695個	730個	R3	667個	713個	R4	596個	641個	R2年	R3年	R4年	743人	714人	682人
年度	妊娠祝い品	出産祝い品																							
R2	695個	730個																							
R3	667個	713個																							
R4	596個	641個																							
R2年	R3年	R4年																							
743人	714人	682人																							
成果に係る評価		出生数、妊娠届出数の減少により贈呈数は減少したものの、保健師から直接贈呈することで妊産婦との信頼関係が構築されるなど、子育てにやさしいまちづくりの推進に繋がったものとする。現行の贈答品について、贈答品を受け取った産婦に対しアンケート調査を行い検討した結果、「満足・おおむね満足」との回答が全体の87.9%と好評であったことから、今後も、赤ちゃんが安心して安全に使用できる実用性の高い「今治タオルを使用したベビー用品セット」を用いて本事業を継続していく。																							
（単位：円）																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																			
	4,186,000	3,719,800			3,700,000	19,800																			

予算科目	3 款	民生費	事業名	小学校入学祝い金支給事業																							
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																						
	1 目	児童福祉総務費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てのできる環境の充実																						
	事業	子ども・子育て支援事業費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する																						
担当部課	保健福祉部子育て支援課	実施計画掲載ページ		P44																							
目的及び事業内容		少子化対策の推進及び子育て家庭等における経済的負担を軽減するため、小学校に入学する第2子以降の子を監護する保護者等に対して小学校入学祝い金を支給する。																									
取組実績		<p>石巻市内に住所を有する小学1年生のいる家庭に申請書を配付したほか、市報及び市ホームページを活用して対象者へ周知を図り、確実な支給に努めた。</p> <p>1 支給対象</p> <p>(1) 第2子以降の子が小学校に入学する年の5月1日に石巻市内に住所を有する保護者</p> <p>(2) 小規模住居型児童養育事業を行う者のうち、被措置児童が小学校に入学する年の5月1日に石巻市内に住居が所在するもの</p> <p>(3) 里親のうち、被措置児童が小学校に入学する年の5月1日に石巻市内に住所を有するもの</p> <p>(4) 乳児院、児童養護施設、障害児入所施設、児童心理治療施設又は児童自立支援施設の設置者のうち、児童が小学校に入学する年の5月1日に石巻市内に当該施設等が所在するもの</p> <p>2 支給額</p> <p>子ひとりにつき、3万円を支給する。</p>																									
成果		<p>小学校に入学する第2子以降の児童を監護する保護者等に対して、小学校入学祝い金として1人につき3万円を支給することによって、少子化対策の推進及び子育て家庭等における経済的負担の軽減が図られた。</p> <p>【支給状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>第3子以降</th> <th>第2子</th> <th>支給者合計</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>203人</td> <td>405人</td> <td>608人</td> <td>18,240,000円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>169人</td> <td>355人</td> <td>524人</td> <td>15,720,000円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>182人</td> <td>337人</td> <td>519人</td> <td>15,570,000円</td> </tr> </tbody> </table>						年度	第3子以降	第2子	支給者合計	支給額	R2	203人	405人	608人	18,240,000円	R3	169人	355人	524人	15,720,000円	R4	182人	337人	519人	15,570,000円
年度	第3子以降	第2子	支給者合計	支給額																							
R2	203人	405人	608人	18,240,000円																							
R3	169人	355人	524人	15,720,000円																							
R4	182人	337人	519人	15,570,000円																							
成果に係る評価		小学校に入学する第2子以降の子を監護する保護者等に対して、祝金を支給することにより安定した子育てしやすい環境を整えることに寄与している。第2子以降の子が減少傾向にあるが、本事業を継続的に実施することにより少子化対策の一助となるよう、確実な周知・支給に努める。																									
（単位：円）																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																					
	17,159,000	15,682,608	2,730,000		12,840,000	112,608																					

予算科目	3 款	民生費	事業名	育児ヘルパー事業											
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち										
	1 目	児童福祉総務費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実										
	事業	子ども・子育て支援事業費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する										
担当部課	保健福祉部子育て支援課	実施計画掲載ページ		P44											
目的及び事業内容	核家族化や共働き夫婦の増加により、家事、育児等に手伝いを必要とする子育て家庭が増えていることから、育児ヘルパーを派遣し、家事支援や育児支援を行うことにより、安心して子どもを生み育てられる環境を整備する。														
取組実績	<p>妊娠期（母子健康手帳交付後）から生後6か月以内の子を養育する者に対し、ヘルパーの訪問による家事支援や育児支援を行った。</p> <p>1 育児ヘルパー事業</p> <p>(1) 家事支援 調理、洗濯、住居内の清掃、生活必需品の買い物等</p> <p>(2) 育児支援 おむつ交換、衣服の着脱、授乳・沐浴の介助等</p> <p>(3) 提供時間 1回につき2時間以内 (午前9時から午後5時まで。土日祝日、年末年始を除く。)</p> <p>(4) 提供回数 20回以内（多胎の場合は、30回以内）</p> <p>※ヘルパー事業所は、社会福祉法人石巻市社会福祉協議会他3事業所に委託している。</p>														
成果	<p>家事や育児等の支援を実施することにより、孤立感や不安を抱える子育て家庭の負担や不安の軽減に繋がった。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>申請件数</th> <th>利用回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3年度 (9月から開始)</td> <td>34件</td> <td>264回</td> </tr> <tr> <td>R4年度</td> <td>53件</td> <td>480回</td> </tr> </tbody> </table>						区分	申請件数	利用回数	R3年度 (9月から開始)	34件	264回	R4年度	53件	480回
区分	申請件数	利用回数													
R3年度 (9月から開始)	34件	264回													
R4年度	53件	480回													
成果に係る評価	<p>事業開始（令和3年9月）から、周知や口コミにより徐々に浸透してきている。ヘルパーを住居に迎え入れることへの抵抗はあるものの、利用者からのアンケートでは大変好評を得ており、安心して子どもを産み育てられる環境の整備が図られた。</p> <p>また、産後うつや家族間の問題等により、当事業の対象期間終了後も支援を必要とする方に対しては、関係課と連携し継続的な支援につなげることににより、安定した養育体制がとられた。</p> <p>引き続き、子育て関連申請時、伴走支援などの機会を捉えて情報を発信するとともに、より効果的な周知に努め、利用向上に繋げる。</p>														
予算の執行状況	（単位：円）														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳												
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源									
	9,050,000	2,096,186	1,390,000			706,186									

予算科目	3 款	民生費	事業名	子どもの居場所づくり推進事業																																				
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																			
	1 目	児童福祉総務費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																																			
	事業	子ども・子育て支援事業費		(3)	子どもが安心して過ごせる環境を整備する																																			
担当部課	保健福祉部子育て支援課	実施計画掲載ページ		P45																																				
目的及び事業内容	<p>就労形態の多様化や核家族化により子どもの「孤食」や「孤立」が課題となっており、子どもが地域とつながり、見守られながら安心安全に健やかに育つ環境整備を促進するため、市内において地域団体、NPO等が実施する子どもの居場所づくりの取組（地域子ども食堂・移動型プレーパーク）に対し、新規開設経費又は運営経費の一部を補助する。</p>																																							
取組実績	<p>子どもの居場所づくり推進事業として、次の3件の事業を実施した。</p> <p>1 石巻市地域子ども食堂支援事業補助金 市内において、地域団体、NPO等が年4回以上、1回あたり概ね5名以上の子どもの参加を見込んで無料又は低額で食事を提供する「地域子ども食堂」を実施する場合に、新規開設及び運営経費の一部を補助する。（新規開設補助上限：5万円、運営補助上限：20万円）</p> <p>2 石巻市移動型プレーパーク支援事業補助金 市内において、地域団体、NPO等が子どもを見守るプレイワーカーを2名以上配置して、年4回以上、1回あたり概ね5名以上の子どもの参加を見込んで「移動型プレーパーク」を実施する場合には、運営経費の一部を補助する。（補助上限：20万円）</p> <p>3 子どもの居場所づくり懇談会の開催 子どもの貧困や虐待、孤立など複雑化、複合化する課題を解決するため、市関係部署（福祉・教育）と子どもの居場所に関する団体が集まり、懇談会を2回開催し、包括的な支援体制の構築及び更なる連携の強化を図った。</p> <p>【関係機関との連携・協力】 ・石巻圏域のこども食堂実施団体で構成される「石巻圏域こども食堂連絡会議」に毎月オブザーバーとして参加し、情報共有を行った。また、当連絡会議から依頼を受け、困難な状況にある子どもたちを支援するため、市職員から不要となった学生服等を収集し、当連絡会議が運営する制服バンクに提供する取組を実施した。 ・「石巻のプレーパークと子どもの遊びを考える会」が主催する「いしのまき遊び場座談会」に出席し、意見交換を行った。</p>																																							
成果	<p>地域子ども食堂については、新型コロナウイルス感染症の影響により、食堂形式での活動を自粛又は縮小している団体も多く、申請団体及び実施回数が増減した。</p> <p>移動型プレーパークについては、公園等での活動を対象としているため、新型コロナウイルス感染症の影響が比較的少なく、申請団体数は前年度と同数となった。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="3">地域子ども食堂</th> <th colspan="3">移動型プレーパーク</th> </tr> <tr> <th>団体数</th> <th>実施回数</th> <th>補助額(円)</th> <th>団体数</th> <th>実施回数</th> <th>補助額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>24</td> <td>184,000</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>3</td> <td>22</td> <td>103,000</td> <td>3</td> <td>46</td> <td>326,000</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>1</td> <td>12</td> <td>100,000</td> <td>3</td> <td>70</td> <td>344,000</td> </tr> </tbody> </table>						年度	地域子ども食堂			移動型プレーパーク			団体数	実施回数	補助額(円)	団体数	実施回数	補助額(円)	R2	0	0	0	2	24	184,000	R3	3	22	103,000	3	46	326,000	R4	1	12	100,000	3	70	344,000
年度	地域子ども食堂			移動型プレーパーク																																				
	団体数	実施回数	補助額(円)	団体数	実施回数	補助額(円)																																		
R2	0	0	0	2	24	184,000																																		
R3	3	22	103,000	3	46	326,000																																		
R4	1	12	100,000	3	70	344,000																																		
成果に係る評価	<p>地域子ども食堂支援事業補助金について、より活用しやすい制度とするため、令和3年度に補助制度の見直しを行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、申請団体は減少した。</p> <p>子ども食堂やプレーパークの活動は子どもへの食や遊び場の提供などによる居場所づくりにとどまらず、地域コミュニティの醸成や世代間交流などの役割も有しており、本市では、様々な団体、NPO等が各団体の特色を活かして各地域で取組を実施していることから、今後も関係団体との情報共有を図りながら、制度の周知及び補助内容の説明を丁寧に行い、子どもの居場所づくりの支援を継続していく必要がある。</p>																																							
予算の執行状況	（単位：円）																																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																					
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																		
	1,100,000	444,000	333,000			111,000																																		

予算科目	3 款	民生費	事業名	病後児等保育事業															
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち														
	1 目	児童福祉総務費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実														
	事業	子ども・子育て支援事業費		(3)	子どもが安心して過ごせる環境を整備する														
担当部課	保健福祉部子ども保育課	実施計画掲載ページ		P45															
目的及び事業内容		<p>児童の保護者が就労等により病気の児童を保育することが困難である場合において、保育需要に対応するため、市が業務を委託した保育所において病気の回復期にある児童を一時的に保育するほか、保育中に体調不良となった児童へ緊急対応することにより、保護者が安心して子育てができる環境を整備し、もって児童の福祉の向上を図ることを目的とする。</p>																	
取組実績	<p>1 病後児保育対応型 児童が病気の「回復期」にあり、かつ、集団保育が困難な期間において、保育所等の専用スペースで一時的に保育を実施。市内に住所を有する児童で概ね生後6か月から就学前の児童を対象に、1日当たりの定員は3名として実施。看護師、保育士を1名ずつ配置。 また、市内保育所等に対し感染症流行状況、予防策等の情報提供や巡回支援等を適宜実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間利用者数</td> <td>72人</td> <td>119人</td> <td>147人</td> </tr> <tr> <td>情報提供等実施回数</td> <td>165回</td> <td>66回</td> <td>54回</td> </tr> </tbody> </table> <p>※業務委託先：特定非営利活動法人乳幼児保育園ミルク</p>							区分	R2年度	R3年度	R4年度	年間利用者数	72人	119人	147人	情報提供等実施回数	165回	66回	54回
	区分	R2年度	R3年度	R4年度															
	年間利用者数	72人	119人	147人															
情報提供等実施回数	165回	66回	54回																
<p>2 体調不良児対応型 業務委託先保育所に在籍中の児童が保育中に微熱を出すなど「体調不良」となった場合に保護者が迎えに来れない場合、保健的な対応を取りながら保育を継続する事業。看護師を1名配置し、1日当たりの対応可能な児童は2名まで。 担当看護師は、実施保育所における児童全体の健康管理、衛生管理等の保健的な対応を日常的に行うとともに、地域の子育て支援センターを会場に子育て家庭や妊産婦等に対する相談支援を、地域のニーズに応じて定期的に実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間利用者数</td> <td>224人</td> <td>309人</td> <td>287人</td> </tr> <tr> <td>相談支援等実施人数</td> <td>230人</td> <td>184人</td> <td>148人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※業務委託先：特定非営利活動法人乳幼児保育園ミルク</p>							区分	R2年度	R3年度	R4年度	年間利用者数	224人	309人	287人	相談支援等実施人数	230人	184人	148人	
区分	R2年度	R3年度	R4年度																
年間利用者数	224人	309人	287人																
相談支援等実施人数	230人	184人	148人																
<p>成果 病後児対応型の年間利用者数は令和2年度において新型コロナウイルス感染症の影響もあり、減少したが、令和3年度から令和4年にかけて増加した一方で、情報提供等の実施回数については、新型コロナウイルスの感染予防のために巡回支援等の回数が減少した。 また、体調不良児対応型の利用者数は横ばい傾向にあり、相談支援等の実施人数に関しては病後児対応型同様に、新型コロナウイルス感染症予防策として、人数制限を設けながらの相談支援等となったことから、相談人数が減少した。</p>																			
成果に係る評価		<p>病後児対応型、体調不良児対応型ともに年間の利用者数は令和3年度から大きく変動はないものの、一定の成果を残しており、保護者が安心して子育てができる環境として必要な事業である。 新型コロナウイルス感染症の影響により、情報提供や相談支援等の実施に制限があったが、令和5年5月に5類に移行したことから、コロナ禍以前の対応ができるよう、広く情報発信して本事業の推進を図っていく。</p>																	
(単位：円)																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源													
	9,429,000	9,428,750	6,284,000	3,144,750															

予算科目	3 款	民生費	事業名	児童手当支給事業															
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち														
	2 目	児童手当費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実														
	事業	児童手当費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する														
担当部課	保健福祉部子育て支援課	実施計画掲載ページ		P42															
目的及び事業内容		<p>中学校修了前の児童を養育している保護者に、児童手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的とする。 3歳未満及び小学生までの第3子以降 15,000円 小学生までの第1子、第2子及び中学生まで 10,000円 所得制限以上の所得がある者は中学生まで一律 5,000円</p>																	
取組実績	<p>【令和4年度支給状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>支給対象延べ人数</th> <th>支給総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>随時払</td> <td>1,860人</td> <td>19,510,000円</td> </tr> <tr> <td>定例払</td> <td>155,123人</td> <td>1,715,550,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>156,983人</td> <td>1,735,060,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※定例払・・・2月、6月、10月（前月までの4か月分を支給） 随時払・・・定例払の月を除く各月（資格喪失者等）</p>								支給対象延べ人数	支給総額	随時払	1,860人	19,510,000円	定例払	155,123人	1,715,550,000円	計	156,983人	1,735,060,000円
		支給対象延べ人数	支給総額																
	随時払	1,860人	19,510,000円																
定例払	155,123人	1,715,550,000円																	
計	156,983人	1,735,060,000円																	
成果		<p>児童を養育している保護者に手当を支給することにより、生活の安定と次代の社会を担う児童の健全育成が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>支給対象延べ児童数</th> <th>支給総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>169,827人</td> <td>1,867,325,000円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>164,871人</td> <td>1,811,635,000円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>156,983人</td> <td>1,735,060,000円</td> </tr> </tbody> </table>					年度	支給対象延べ児童数	支給総額	R2	169,827人	1,867,325,000円	R3	164,871人	1,811,635,000円	R4	156,983人	1,735,060,000円	
年度	支給対象延べ児童数	支給総額																	
R2	169,827人	1,867,325,000円																	
R3	164,871人	1,811,635,000円																	
R4	156,983人	1,735,060,000円																	
成果に係る評価		<p>対象児童数の減少により支給額は減少傾向にあるが、今後も国の動向を踏まえて情報の発信と適正な給付に努め、子育て世帯の生活の安定を図る。</p>																	
(単位：円)																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源													
	1,771,110,000	1,735,060,000	1,467,157,331	267,902,669															

予算科目	3 款	民生費	事業名	児童扶養手当支給事業																	
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																
	3 目	児童扶養手当費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																
	事業	児童扶養手当費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する																
担当部課	保健福祉部子育て支援課	実施計画掲載ページ		P43																	
目的及び事業内容		父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立の促進に寄与するため、当該児童について児童扶養手当を支給し、児童の福祉の向上を図る。																			
取組実績		<p>1 支給要件 下記に該当する児童を養育している者（父、母又は養育者）に支給される。 ・ 父母が婚姻を解消、又は死亡した児童 ・ 婚姻によらず未婚で出生した児童 ・ 父又は母が政令で定める程度の障害にある児童 など</p> <p>2 手当額 R4.4月～ 全部支給 43,070円 一部支給 43,060円～10,160円 2人目 全部支給 10,170円 一部支給 10,160円～5,090円 3人目以降 全部支給 6,100円 一部支給 6,090円～3,050円</p> <p>3 児童扶養手当支給の実施 父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭に支給した。 支給対象者 1,171人、支給額 638,078,410円</p> <p>4 現況届の実施 児童扶養手当受給者の前年所得、認定後の資格要件及び生活状況の確認を行った。</p>																			
成果		<p>父又は母と生計を同じくしていない児童について児童扶養手当を支給することにより、家庭生活の安定と自立の促進に寄与し、児童福祉の増進が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>支給対象者数</th> <th>支給対象児童数</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>1,273人</td> <td>1,943人</td> <td>707,283,970円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>1,224人</td> <td>1,871人</td> <td>674,633,910円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>1,171人</td> <td>1,766人</td> <td>638,078,410円</td> </tr> </tbody> </table>				年度	支給対象者数	支給対象児童数	支給額	R2	1,273人	1,943人	707,283,970円	R3	1,224人	1,871人	674,633,910円	R4	1,171人	1,766人	638,078,410円
年度	支給対象者数	支給対象児童数	支給額																		
R2	1,273人	1,943人	707,283,970円																		
R3	1,224人	1,871人	674,633,910円																		
R4	1,171人	1,766人	638,078,410円																		
成果に係る評価		支給対象者数は人口減少等の影響により減少傾向にあるが、経済的に厳しい状況にあるひとり親家庭等の生活安定と自立の促進を図るため、適正な給付に努める。																			
(単位：円)																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																		
			国(県)支出金	地方債	その他 一般財源																
	662,977,000	638,078,410	212,117,793		425,960,617																

予算科目	3 款	民生費	事業名	母子・父子家庭医療対策事業																					
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																				
	4 目	母子福祉費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																				
	事業	母子・父子家庭医療助成費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する																				
担当部課	保健福祉部子育て支援課	実施計画掲載ページ		P42																					
目的及び事業内容		母子・父子家庭等に対し、医療費の助成を行い生活の安定と福祉の増進を図る。健康保険等により、本人の負担する自己負担額から次の金額を控除し助成する。 入院の場合 1レセプト 2,000円（食事療養費は除く。） 外来の場合 1レセプト 1,000円 ※所得制限あり																							
取組実績		<p>1 助成対象者 ・ 母子・父子家庭の母、父及び児童 ・ 父母のいずれかが重度障害により就労困難な家庭の母、父及び児童 ・ 父母のいない児童など</p> <p>2 助成件数 8,271件</p> <p>3 助成金額 23,222,477円</p>																							
成果		<p>母子・父子家庭等にかかる医療費の一部を助成することにより、当該家庭における適正な医療機関受診の機会を確保した。このことにより、当該家庭の経済的負担を軽減し、生活の安定と福祉の増進が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>所得制限内受給世帯数</th> <th>所得制限内受給者数</th> <th>助成件数</th> <th>助成金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>1,367世帯</td> <td>3,251人</td> <td>10,177件</td> <td>28,596,517円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>1,251世帯</td> <td>2,997人</td> <td>9,930件</td> <td>27,790,438円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>1,432世帯</td> <td>3,132人</td> <td>8,271件</td> <td>23,222,477円</td> </tr> </tbody> </table>				年度	所得制限内受給世帯数	所得制限内受給者数	助成件数	助成金額	R2	1,367世帯	3,251人	10,177件	28,596,517円	R3	1,251世帯	2,997人	9,930件	27,790,438円	R4	1,432世帯	3,132人	8,271件	23,222,477円
年度	所得制限内受給世帯数	所得制限内受給者数	助成件数	助成金額																					
R2	1,367世帯	3,251人	10,177件	28,596,517円																					
R3	1,251世帯	2,997人	9,930件	27,790,438円																					
R4	1,432世帯	3,132人	8,271件	23,222,477円																					
成果に係る評価		令和4年度から子ども医療費の対象年齢を18歳到達年度末日まで拡大したため、本事業の令和4年度における助成件数と助成額が減少している。今後も医療費助成を実施することにより母子・父子家庭等の経済的負担の軽減に寄与し、生活の安定と福祉の増進を図りたい。																							
(単位：円)																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国(県)支出金	地方債	その他 一般財源																				
	26,543,000	25,101,816	11,611,000		13,490,816																				

予算科目	3 款	民生費	事業名	ひとり親家庭等自立支援給付金事業																																										
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																									
	4 目	母子福祉費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																																									
	事業	母子家庭等自立支援給付金事業費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する																																									
担当部課	保健福祉部子育て支援課	実施計画掲載ページ		P44																																										
目的及び事業内容	ひとり親家庭等の親（母子家庭の母又は父子家庭の父）の経済的な自立を促進するため、就職の際に有利となり、生活の安定に資する資格を取得するための教育訓練受講等に係る経費について支援する。 1 自立支援教育訓練給付金 2 高等職業訓練促進給付金 3 高等職業訓練修了支援給付金 4 高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金																																													
取組実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>支給件数</th> <th>支給額</th> <th colspan="2">指定講座等の主な内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自立支援教育訓練給付金</td> <td>1件</td> <td>95,040円</td> <td colspan="2">設計士</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練促進給付金</td> <td>12件</td> <td>10,721,500円</td> <td colspan="2">社会福祉士・幼稚園教諭 看護師・美容師</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練修了支援給付金</td> <td>3件</td> <td>100,000円</td> <td colspan="2">社会福祉士・准看護師</td> </tr> <tr> <td>高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金</td> <td>0件</td> <td>0円</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>					事業名	支給件数	支給額	指定講座等の主な内訳		自立支援教育訓練給付金	1件	95,040円	設計士		高等職業訓練促進給付金	12件	10,721,500円	社会福祉士・幼稚園教諭 看護師・美容師		高等職業訓練修了支援給付金	3件	100,000円	社会福祉士・准看護師		高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金	0件	0円																		
事業名	支給件数	支給額	指定講座等の主な内訳																																											
自立支援教育訓練給付金	1件	95,040円	設計士																																											
高等職業訓練促進給付金	12件	10,721,500円	社会福祉士・幼稚園教諭 看護師・美容師																																											
高等職業訓練修了支援給付金	3件	100,000円	社会福祉士・准看護師																																											
高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金	0件	0円																																												
成果	<p>支給件数、支給額が増加しており、制度の周知に加え、ひとり親自身の自立への意識の高まりが大きく影響している。これら受講者に対し、経済的負担の軽減を図ることができ、ひとり親家庭の自立支援と福祉の向上が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業名</th> <th>支給件数</th> <th>支給額</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">R2</td> <td>自立支援教育訓練給付金</td> <td>3件</td> <td>139,813円</td> <td rowspan="4">8,006,813円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練促進給付金</td> <td>7件</td> <td>7,667,000円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練修了支援給付金</td> <td>2件</td> <td>50,000円</td> </tr> <tr> <td>高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金</td> <td>1件</td> <td>150,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R3</td> <td>自立支援教育訓練給付金</td> <td>5件</td> <td>149,268円</td> <td rowspan="3">10,178,268円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練促進給付金</td> <td>8件</td> <td>9,954,000円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練修了支援給付金</td> <td>2件</td> <td>75,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R4</td> <td>自立支援教育訓練給付金</td> <td>1件</td> <td>95,040円</td> <td rowspan="3">10,916,540円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練促進給付金</td> <td>12件</td> <td>10,721,500円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練修了支援給付金</td> <td>3件</td> <td>100,000円</td> </tr> </tbody> </table>					年度	事業名	支給件数	支給額	合計	R2	自立支援教育訓練給付金	3件	139,813円	8,006,813円	高等職業訓練促進給付金	7件	7,667,000円	高等職業訓練修了支援給付金	2件	50,000円	高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金	1件	150,000円	R3	自立支援教育訓練給付金	5件	149,268円	10,178,268円	高等職業訓練促進給付金	8件	9,954,000円	高等職業訓練修了支援給付金	2件	75,000円	R4	自立支援教育訓練給付金	1件	95,040円	10,916,540円	高等職業訓練促進給付金	12件	10,721,500円	高等職業訓練修了支援給付金	3件	100,000円
年度	事業名	支給件数	支給額	合計																																										
R2	自立支援教育訓練給付金	3件	139,813円	8,006,813円																																										
	高等職業訓練促進給付金	7件	7,667,000円																																											
	高等職業訓練修了支援給付金	2件	50,000円																																											
	高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金	1件	150,000円																																											
R3	自立支援教育訓練給付金	5件	149,268円	10,178,268円																																										
	高等職業訓練促進給付金	8件	9,954,000円																																											
	高等職業訓練修了支援給付金	2件	75,000円																																											
R4	自立支援教育訓練給付金	1件	95,040円	10,916,540円																																										
	高等職業訓練促進給付金	12件	10,721,500円																																											
	高等職業訓練修了支援給付金	3件	100,000円																																											
成果に係る評価	高等職業訓練促進給付金の給付状況については、増加傾向にある。より多くのひとり親の経済的自立と福祉の増進が図られるよう、事業の周知に努め、今後も本事業の一層の利用拡大を図っていく。																																													
予算の執行状況	(単位：円)																																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																								
	12,973,000	10,916,540	8,187,000			2,729,540																																								

予算科目	3 款	民生費	事業名	延長保育事業																																			
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																		
	5 目	保育所費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																																		
	事業	保育所管理費		(3)	子どもが安心して過ごせる環境を整備する																																		
担当部課	保健福祉部子ども保育課	実施計画掲載ページ		P46																																			
目的及び事業内容	保護者の就労形態の多様化等により、保育時間延長の需要に対応するため、保育所及び子ども園で保育時間の延長を実施することにより、安心して子育てができる環境を整備し、家庭及び児童の福祉の向上を図る。																																						
取組実績	<p>平成27年度から子ども・子育て支援新制度により、保育の時間が、保育短時間（8時間、午前8時30分から午後4時30分まで）と保育標準時間（11時間、午前7時30分から午後6時30分まで）の2区分が設けられた。これにより、午前7時30分から午前8時30分までの1時間と午後4時30分から午後6時30分までの2時間が時間外保育となり、午後6時30分から午後7時までを延長保育という取り扱いになった。令和4年度は、公立保育施設25施設で時間外保育を実施し、そのうち蛇田保育所において延長保育を実施した。 ※延長保育については蛇田保育所、鹿又保育所、須江保育所を実施保育所としているが、鹿又保育所、須江保育所については保育士不足のため事業を休止している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R4年度</th> <th>施設数</th> <th>時間外保育</th> <th>延長保育</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公立保育施設</td> <td>25</td> <td>349人</td> <td>11人</td> <td>360人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※過去5年間の推移（実利用人数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30年度</th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>時間外保育</td> <td>603人</td> <td>455人</td> <td>401人</td> <td>353人</td> <td>349人</td> </tr> <tr> <td>延長保育</td> <td>15人</td> <td>13人</td> <td>12人</td> <td>15人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>618人</td> <td>468人</td> <td>413人</td> <td>368人</td> <td>360人</td> </tr> </tbody> </table>					R4年度	施設数	時間外保育	延長保育	合計	公立保育施設	25	349人	11人	360人	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	時間外保育	603人	455人	401人	353人	349人	延長保育	15人	13人	12人	15人	11人	合計	618人	468人	413人	368人	360人
R4年度	施設数	時間外保育	延長保育	合計																																			
公立保育施設	25	349人	11人	360人																																			
区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度																																		
時間外保育	603人	455人	401人	353人	349人																																		
延長保育	15人	13人	12人	15人	11人																																		
合計	618人	468人	413人	368人	360人																																		
成果	保育の無償化に伴い、保育時間を保育短時間から保育標準時間に変更する世帯が増えたことにより、時間外保育を利用する世帯が減少傾向にある状況であるが、保育時間の延長を実施することで、多様化する就労形態に対し、保護者が安心して就労するための環境を整え、保護者及び児童の福祉の向上を図ることができた。																																						
成果に係る評価	保護者の就労形態の多様化に伴い、認定を受けた保育時間を超えての受け入れに対する需要があることから、事業は引き続き継続する必要がある。現在は公立施設としては蛇田保育所1施設でのみ事業を実施していることから、今後は、保護者のニーズも把握し、事業の拡充について検討していく。																																						
予算の執行状況	(単位：円)																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																	
	5,434,931	5,434,931			2,139,750	3,295,181																																	

予算科目	3 款	民生費	事業名	公立幼稚園・保育所・こども園再編計画事業															
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち														
	5 目	保育所費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実														
	事業	(仮称)河北統合保育所施設整備事業費		(3)	子どもが安心して過ごせる環境を整備する														
担当部課	保健福祉部子ども保育課	実施計画掲載ページ		P47															
目的及び事業内容		公共施設の老朽化対策や建て替え・更新時期に伴う施設の更新や統合及び廃止、民間誘致による保育所及びこども園の整備を目的とする。 また、公立幼稚園、保育所及びこども園の更新、統合及び廃止、そして、民間誘致による保育所及びこども園の整備を計画的、効果的に進め、必要な保育供給量の確保と人的資源の有効活用に取り組むもの。																	
取組実績		<p>河北地区の大谷地保育所、二俣保育所、大川保育所の3保育所を廃止し、公立保育所1施設（河北保育所）に統合する。</p> <p>(平成30年3月策定 「石巻市公立幼稚園・保育所・こども園再編計画」に基づく)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年4月開所 施設規模 70人定員（0歳から5歳児までを受け入れるほか、障害児保育も実施） 場 所 石巻市小船越字後223番2 土地面積 6,153.66㎡ 建物面積 991.77㎡ <p>施設整備事業費 令和4年度決算 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予算 節名称</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費 消耗品費</td> <td>2,799,824</td> </tr> <tr> <td>役務費 手数料</td> <td>620,000</td> </tr> <tr> <td>委託料 工事施工を伴う委託料</td> <td>7,920,000</td> </tr> <tr> <td>工事請負費 補助・単独工事</td> <td>556,528,500</td> </tr> <tr> <td>備品購入費 備品購入費</td> <td>15,366,952</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>583,235,276</td> </tr> </tbody> </table>				予算 節名称	事業費	需用費 消耗品費	2,799,824	役務費 手数料	620,000	委託料 工事施工を伴う委託料	7,920,000	工事請負費 補助・単独工事	556,528,500	備品購入費 備品購入費	15,366,952	合計	583,235,276
予算 節名称	事業費																		
需用費 消耗品費	2,799,824																		
役務費 手数料	620,000																		
委託料 工事施工を伴う委託料	7,920,000																		
工事請負費 補助・単独工事	556,528,500																		
備品購入費 備品購入費	15,366,952																		
合計	583,235,276																		
成 果		河北地区の建物耐用年数を越えた大谷地、二俣、大川保育所を統合することにより、物理的な危険を回避することができた。また、特別保育事業として、乳児保育、一時預かり、障害児保育を実施。																	
成果に係る評価		河北保育所については、保育所再編計画のとおり令和5年4月1日に開所した。																	
(単位：円)																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源													
	617,420,000	583,235,276		564,400,000	15,366,952	3,468,324													

予算科目	3 款	民生費	事業名	一時預かり事業																																																																	
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																
	6 目	一時保育事業管理費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																																																																
	事業	一時預かり事業関係費		(3)	子どもが安心して過ごせる環境を整備する																																																																
担当部課	保健福祉部子ども保育課	実施計画掲載ページ		P46																																																																	
目的及び事業内容		保育所等を利用していない家庭において、保護者の仕事や入院、通院等突発的な事情により家庭保育が困難な場合や育児に伴う心理的・肉体的負担を解消したい場合等に、保育施設において一時的に預かることにより、安心して子育てができる環境を整備し、児童福祉の向上を図る。																																																																			
取組実績		<p>令和4年度は、公立保育所3施設及び私立認可保育所1施設（業務委託）の合計4施設において、一時預かり事業を実施した。（前年度比2施設増）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施保育所</th> <th>1日当たりの実施時間</th> <th>1日当たりの定員</th> <th>R4年度 延利用者数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公立 鹿妻保育所</td> <td>8時間</td> <td>おおむね5人</td> <td>287人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>二俣保育所(※)</td> <td>8時間</td> <td>おおむね5人</td> <td>73人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>北村保育所</td> <td>8時間</td> <td>おおむね5人</td> <td>58人</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">小計(公立分)</td> <td>3施設</td> <td>418人</td> </tr> <tr> <td>私立 なかよし保育園</td> <td>8時間</td> <td>おおむね10人</td> <td>901人</td> <td>委託事業</td> </tr> <tr> <td colspan="3">小計(私立分)</td> <td>1施設</td> <td>901人</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合 計</td> <td>1,319人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※二俣保育所は、令和4年度末で施設廃止（令和5年度から河北保育所へ事業移行）</p> <p>※過去5年間の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>延利用人数</th> <th>実施施設数</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30年度</td> <td>2,466人</td> <td>4施設</td> <td>鹿妻、二俣、北村、なかよし</td> </tr> <tr> <td>R1年度</td> <td>2,565人</td> <td>4施設</td> <td>鹿妻、二俣、北村、なかよし</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>2,556人</td> <td>4施設</td> <td>鹿妻、二俣、北村、なかよし</td> </tr> <tr> <td>R3年度</td> <td>1,938人</td> <td>2施設</td> <td>鹿妻、なかよし</td> </tr> <tr> <td>R4年度</td> <td>1,319人</td> <td>4施設</td> <td>鹿妻、二俣、北村、なかよし</td> </tr> </tbody> </table>				実施保育所	1日当たりの実施時間	1日当たりの定員	R4年度 延利用者数	備考	公立 鹿妻保育所	8時間	おおむね5人	287人		二俣保育所(※)	8時間	おおむね5人	73人		北村保育所	8時間	おおむね5人	58人		小計(公立分)			3施設	418人	私立 なかよし保育園	8時間	おおむね10人	901人	委託事業	小計(私立分)			1施設	901人	合 計			1,319人		年 度	延利用人数	実施施設数	摘要	H30年度	2,466人	4施設	鹿妻、二俣、北村、なかよし	R1年度	2,565人	4施設	鹿妻、二俣、北村、なかよし	R2年度	2,556人	4施設	鹿妻、二俣、北村、なかよし	R3年度	1,938人	2施設	鹿妻、なかよし	R4年度	1,319人	4施設	鹿妻、二俣、北村、なかよし
実施保育所	1日当たりの実施時間	1日当たりの定員	R4年度 延利用者数	備考																																																																	
公立 鹿妻保育所	8時間	おおむね5人	287人																																																																		
二俣保育所(※)	8時間	おおむね5人	73人																																																																		
北村保育所	8時間	おおむね5人	58人																																																																		
小計(公立分)			3施設	418人																																																																	
私立 なかよし保育園	8時間	おおむね10人	901人	委託事業																																																																	
小計(私立分)			1施設	901人																																																																	
合 計			1,319人																																																																		
年 度	延利用人数	実施施設数	摘要																																																																		
H30年度	2,466人	4施設	鹿妻、二俣、北村、なかよし																																																																		
R1年度	2,565人	4施設	鹿妻、二俣、北村、なかよし																																																																		
R2年度	2,556人	4施設	鹿妻、二俣、北村、なかよし																																																																		
R3年度	1,938人	2施設	鹿妻、なかよし																																																																		
R4年度	1,319人	4施設	鹿妻、二俣、北村、なかよし																																																																		
成 果		事業の実施により、就労や疾病等による入院等により保育が必要な家庭や、子育てに伴う保護者の身体的・精神的負担感の緩和に寄与することができ、就労等の社会的活動や子育て等の家庭生活との両立につながり、安心して子育てができるような環境を提供し、児童福祉の向上を図ることができた。																																																																			
成果に係る評価		年間での延利用人数に減少傾向が見られるが、保育所等に在籍していない家庭や定員等により保育所に預けることのできない家庭における突発的な保育の必要性や、子育てに伴う保護者の身体的・精神的負担の緩和が必要となった際の受け皿として、一時預かり事業の実施は必要であることから、保護者のニーズ等を把握し、引き続き事業を継続していく。																																																																			
(単位：円)																																																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																															
	19,300,212	18,018,690		7,518,000	626,390	9,874,300																																																															

予算科目	3 款	民生費	事業名	障害児通所給付事業				
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち			
	7 目	障害児福祉費		第3節	共に安心して暮らせる障害福祉の充実			
	事業	障害児通所給付費		(1)	障害者の自立と社会参加への支援を行う			
担当部課	保健福祉部障害福祉課	実施計画掲載ページ		P53				
目的及び事業内容	<p>児童福祉法に基づき、障害児がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活が営むことができるよう、必要な障害児通所支援（サービス）の利用に係る給付費を、サービス提供事業者へ支給することにより、障害児の福祉の増進を図るとともに、障害の有無にかかわらず地域住民相互に人格と個性を尊重して暮らすことができる地域社会の実現に寄与することを目的とする。</p> <p>事業費としては、国1/2、県1/4、市1/4の負担金によるものとなっている。</p>							
取組実績	1 児童発達支援：R4年度給付費 82,672,890円 ※事業所数は実利用事業所ベース							
			年度	事業所数	実利用数	延利用数		
			R3	10か所	66人	672件		
			R4	9か所	65人	559件		
	2 放課後等デイサービス：R4年度給付費 320,744,906円 ※事業所数は実利用事業所ベース							
		年度	事業所数	実利用数	延利用数			
		R3	27か所	201人	2,749件			
		R4	29か所	216人	2,959件			
3 保育所等訪問支援：R4年度給付費 226,820円 ※事業所数は実利用事業所ベース								
		年度	事業所数	実利用数	延利用数			
		R3	0か所	0人	0件			
		R4	1か所	2人	8件			
4 障害児相談支援：R4年度給付費 10,351,990円 ※事業所数は実利用事業所ベース								
		年度	事業所数	実利用数	延利用数			
		R3	10か所	243人	569件			
		R4	8か所	269人	595件			
5 障害児通所措置：R4年度給付費 1,229,430円 ※事業所数は実利用事業所ベース								
		年度	事業所数	実利用数	延利用数			
		R3	1か所	1人	12件			
		R4	1か所	1人	8件			
成果	<p>障害児一人ひとりの成長、発達、障害特性等に合わせたサービス利用の促進に繋げ、障害児が日常生活や社会生活を円滑に営むための一助となり、また、障害児の保護者等に対する負担軽減も図ることができた。</p>							
成果に係る評価	<p>児童福祉法、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律等の規定に基づく公的給付費のため、一概に給付額（量）が多ければ良いというものではないが、概ね適正な支給決定に基づき実施されたと考えられる。</p> <p>引き続き、障害児が地域で安心して暮らすことができるよう、関係機関との連携を強化するとともに、障害児相談支援及び障害児通所支援等の充実を図り、適切な時期に療育が受けられる体制づくりに努める。</p>							
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源		
	449,869,951	415,226,036	308,983,835			106,242,201		

予算科目	3 款	民生費	事業名	心身障害児通所対策事業				
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち			
	7 目	障害児福祉費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実			
	事業	心身障害児通所支援費		(3)	子どもが安心して過ごせる環境を整備する			
担当部課	保健福祉部子ども保育課	実施計画掲載ページ		P46				
目的及び事業内容	<p>障害児保育を実施している保育所・こども園及びひかもめ学園（13施設）に通園する児童の保護者に対し、交通費の一部を助成し、保護者の経済的支援を図る。</p> <p>1 助成内容 ・鉄道又はバス定期券運賃代 ・自家用車ガソリン代</p>							
取組実績	<p>障害児保育を実施している保育所・こども園及びひかもめ学園（13施設）に通園する児童の保護者に対し、通園に要する交通費の一部を助成することで、保護者の経済的支援や心身障害児の健全育成の推進を図った。</p> <p>1 助成実績（R4） ・鉄道又はバス定期券運賃代 ・自家用車ガソリン代</p> <p>実績なし 助成対象者：28人、助成額：1,023,392円</p>							
成果	<p>障害児保育を実施している保育所・こども園及びひかもめ学園に通園する児童の健全育成と、保護者の経済的負担の軽減など、障害児の福祉増進が図られた。</p>							
	区分	R2年度		R3年度		R4年度		
		対象者	事業費	対象者	事業費	対象者	事業費	
	かもめ学園	8人	95,442円	8人	87,230円	5人	96,944円	
	石巻保育所	2人	49,113円	3人	47,427円	1人	46,158円	
	渡波保育所	—	—	1人	38,280円	5人	141,548円	
	若草保育所	3人	91,338円	3人	98,492円	2人	66,705円	
	ふたば保育所	4人	93,064円	3人	66,848円	1人	29,702円	
	鹿妻保育所	2人	61,615円	2人	76,549円	2人	60,967円	
	水押保育所	2人	44,039円	3人	116,667円	3人	104,687円	
飯野川保育所	1人	82,539円	1人	91,659円	1人	89,588円		
雄勝保育所	1人	51,721円	—	—	—	—		
和洲保育所	3人	150,825円	2人	106,767円	3人	157,392円		
桃生新田保育所	2人	80,405円	2人	37,620円	2人	34,674円		
北上こども園	2人	45,188円	2人	66,329円	2人	68,224円		
社麩保育所	1人	35,800円	2人	96,508円	1人	126,803円		
合計	31人	881,089円	32人	930,376円	28人	1,023,392円		
成果に係る評価	<p>心身障害児の受入れ施設が限られているため、居住地から離れている施設を利用している児童保護者の経済的負担を軽減することで通園しやすい環境を整え、個々に応じた障害児の成長発達支援に繋げ、障害児福祉の充実を図るためにも、事業の継続が必要である。</p>							
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源		
	1,023,392	1,023,392				1,023,392		

予算科目	3 款	民生費	事業名	放課後児童クラブ事業																																																																	
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																
	8 目	児童厚生施設費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																																																																
	事業	放課後児童クラブ関係費		(3)	子どもが安心して過ごせる環境を整備する																																																																
担当部課	保健福祉部子育て支援課	実施計画掲載ページ		P46																																																																	
目的及び事業内容		保護者の就労等により、日中保育ができない小学生を対象に、放課後等における遊びと生活の場として放課後児童クラブを開設し、児童の安全確保と健全育成を図る。また、利用者からの幅広いニーズへの対応や業務の効率化を図るため、事業運営の民間委託を推進する。																																																																			
取組実績		<p>1 市内52か所の児童クラブで、放課後家庭において保育ができない小学生の受け入れを行った。 利用児童数（R4年度末）</p> <table border="1"> <tr> <td>利用児童数</td> <td>石巻地区</td> <td>河北地区</td> <td>雄勝地区</td> <td>河南地区</td> <td>桃生地区</td> <td>北上地区</td> <td>牡鹿地区</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1,325人</td> <td>127人</td> <td>6人</td> <td>298人</td> <td>70人</td> <td>27人</td> <td>4人</td> <td>1,857人</td> </tr> </table> <p>2 放課後児童クラブ支援員等の質の向上対策 作業療法士と連携し、日常生活や集団生活で配慮を必要とする児童への対応方法について学ぶ機会を設けた。その他、防犯意識の向上や危機対応習得のため、防犯研修会を実施した。</p> <p>3 民間事業者への支援及び民間委託の推進 放課後児童健全育成事業を実施する民間事業者への支援（補助金）及び4地区（石巻・中里・渡波・須江）の民間委託の受託候補者を公募型プロポーザルにより決定した。</p>						利用児童数	石巻地区	河北地区	雄勝地区	河南地区	桃生地区	北上地区	牡鹿地区	合計		1,325人	127人	6人	298人	70人	27人	4人	1,857人																																												
利用児童数	石巻地区	河北地区	雄勝地区	河南地区	桃生地区	北上地区	牡鹿地区	合計																																																													
	1,325人	127人	6人	298人	70人	27人	4人	1,857人																																																													
成果		<p>1 利用希望児童を受け入れたことで、日中保育ができない家庭の児童の健全育成が図られた。 児童クラブ設置数・利用児童数・待機児童数一覧（各年度4月1日現在）</p> <table border="1"> <tr> <td>児童クラブ</td> <td>R2年度</td> <td>R3年度</td> <td>R4年度</td> <td>R4年度末</td> </tr> <tr> <td>設置数</td> <td>48施設</td> <td>48施設</td> <td>52施設</td> <td>52施設</td> </tr> <tr> <td>定員</td> <td>2,365人</td> <td>2,365人</td> <td>2,465人</td> <td>2,465人</td> </tr> <tr> <td>利用児童数</td> <td>2,127人</td> <td>1,985人</td> <td>2,020人</td> <td>1,857人</td> </tr> <tr> <td>待機児童数</td> <td>171人</td> <td>36人</td> <td>21人</td> <td>0人</td> </tr> </table> <p>2 作業療法士連携事業（作業療法士によるコンサルテーション）実施状況</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">クラブ・回数</td> <td colspan="2">R2年度</td> <td colspan="2">R3年度</td> <td colspan="2">R4年度</td> </tr> <tr> <td colspan="2">鹿妻三1回、桃生二7回</td> <td colspan="2">鹿妻一・二、開北一、湊、万一、北村 各3回</td> <td colspan="2">蛇三・四・六、山下一・二、前谷地、二保 各3回</td> </tr> </table> <p>3 ①民間事業者への補助金交付状況</p> <table border="1"> <tr> <td>事業者</td> <td>R2年度</td> <td>R3年度</td> <td>R4年度</td> </tr> <tr> <td>(特非) 放課後子どもクラブBremen</td> <td>4,553,000円</td> <td>5,885,000円</td> <td>11,278,000円</td> </tr> <tr> <td>(特非) 乳幼児保育園ミルク</td> <td>3,076,000円</td> <td>6,046,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(株) アトムズ</td> <td></td> <td>2,258,000円</td> <td>7,237,000円</td> </tr> </table> <p>②民間委託の実績</p> <table border="1"> <tr> <td>地区</td> <td>石巻(2)、中里(2)、須江(2)</td> <td>受託候補者</td> <td>シダックス大新東ヒューマンサービス(株)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>渡波(2)</td> <td></td> <td>(特非) こどもむげん感ばにー</td> </tr> </table>						児童クラブ	R2年度	R3年度	R4年度	R4年度末	設置数	48施設	48施設	52施設	52施設	定員	2,365人	2,365人	2,465人	2,465人	利用児童数	2,127人	1,985人	2,020人	1,857人	待機児童数	171人	36人	21人	0人	クラブ・回数	R2年度		R3年度		R4年度		鹿妻三1回、桃生二7回		鹿妻一・二、開北一、湊、万一、北村 各3回		蛇三・四・六、山下一・二、前谷地、二保 各3回		事業者	R2年度	R3年度	R4年度	(特非) 放課後子どもクラブBremen	4,553,000円	5,885,000円	11,278,000円	(特非) 乳幼児保育園ミルク	3,076,000円	6,046,000円		(株) アトムズ		2,258,000円	7,237,000円	地区	石巻(2)、中里(2)、須江(2)	受託候補者	シダックス大新東ヒューマンサービス(株)		渡波(2)		(特非) こどもむげん感ばにー
児童クラブ	R2年度	R3年度	R4年度	R4年度末																																																																	
設置数	48施設	48施設	52施設	52施設																																																																	
定員	2,365人	2,365人	2,465人	2,465人																																																																	
利用児童数	2,127人	1,985人	2,020人	1,857人																																																																	
待機児童数	171人	36人	21人	0人																																																																	
クラブ・回数	R2年度		R3年度		R4年度																																																																
	鹿妻三1回、桃生二7回		鹿妻一・二、開北一、湊、万一、北村 各3回		蛇三・四・六、山下一・二、前谷地、二保 各3回																																																																
事業者	R2年度	R3年度	R4年度																																																																		
(特非) 放課後子どもクラブBremen	4,553,000円	5,885,000円	11,278,000円																																																																		
(特非) 乳幼児保育園ミルク	3,076,000円	6,046,000円																																																																			
(株) アトムズ		2,258,000円	7,237,000円																																																																		
地区	石巻(2)、中里(2)、須江(2)	受託候補者	シダックス大新東ヒューマンサービス(株)																																																																		
	渡波(2)		(特非) こどもむげん感ばにー																																																																		
成果に係る評価		令和4年度は石巻・渡波・中里・須江の4地区8支援において、民間委託を進め、人材の確保及び支援員等の資質向上を図ることで、安定的な保育の受け皿を確保した。 また、利用基準の審査段階における厳格化や、民間事業者が行う放課後児童健全育成事業に対する補助事業内容（保育士等処遇改善臨時特別事業費補助金等）の拡充により民間委託同様に安定的な保育の提供に寄与し、待機児童の減少が図られた。 その他、令和2年度から開始した作業療法士との連携事業についても、実施クラブ数を増やすことで、配慮を必要とする児童への対応方法の習得や援助の仕方を学び、支援員等の質の向上が図られた。																																																																			
予算の執行状況		(単位：円)																																																																			
予算額	決算額	決算額の財源内訳				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																												
		425,128,000	382,305,013	119,570,000	63,725,750					199,009,263																																																											

予算科目	3 款	民生費	事業名	石巻市子どもセンター事業																												
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																											
	8 目	児童厚生施設費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																											
	事業	子どもセンター管理費		(3)	子どもが安心して過ごせる環境を整備する																											
担当部課	保健福祉部子育て支援課	実施計画掲載ページ		P45																												
目的及び事業内容		児童に健全な遊びと安心して過ごせる居場所を提供し、その心身の健康を増進する。 また、「石巻市子どもセンター条例」や「石巻市子どもの権利に関する条例」に基づいて、子どもの権利を柱として施設を運営し、子どもの声を取り入れて、地域と連携しながら各種事業を展開することにより、子どもの権利の啓発や社会参加の推進を図る。 併せて、子育て支援施設としての機能も有しており、子育て中の親子を対象とした講座や運動あそびを通じて保護者間の交流の推進や地域とのつながりの充実に寄与する。																														
取組実績		<p>1 開設時間：午前9時30分～午後7時（小学生以下で保護者等の同伴がない場合は午後5時まで） 2 休館日：年末年始、祝日、毎月第1、3木曜日 3 事業内容 (1) 遊び場・居場所の提供・・・開設日数 323日 (2) 定期開催事業・イベント・・・開催回数 296回（定期開催、行事、子ども企画） (3) 子育て支援関係者の団体利用・・・利用団体数 76団体 4 指定管理制度の導入 指定管理者：いしのまき子どもセンターコンソーシアム 指定の期間：平成30年度～令和4年度 5 主な実施事業 (1) 子ども参加事業「子ども企画」（カード大会、写真コンテスト等を子ども自らが企画） 「まきトーーク」（意見やアイデアを出し合い、後日、直接市長に提言） 「子どもセンター運営会議」、「子どもまちづくりクラブ」、「らいつ会議」 (2) 子ども実行委員企画イベント「ハロウィン祭り」（商店街と連携しながら仮装してまち歩き） 「夏祭り」（射的、お化け屋敷、段ボール迷路、盆踊り） (3) 移動児童館事業 毎月1回開催（蛇田地区10回、牡鹿地区1回、鹿又地区1回） (4) 地域や企業との連携事業「お茶っこらいつ」、「ボランティア受け入れ」 (5) 子育て支援事業「ベビーマッサージ」、「運動遊び」、「休日子育て相談」</p>																														
成果		<p>指定管理者において、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら、「コロナ禍でもできること」を子どもたちと一緒に考えて各種事業等を企画、実施した。 概ねコロナ禍前の水準まで利用実績が回復している。 乳幼児から高校生までの世代が幅広く利用しており、異年齢での遊びや交流、コミュニケーションの場にもなっている。 令和4年度の「まきトーーク（子どもまちづくり意見交換会）」ではSDGsの目標の一つ「住み続けられるまちづくりを」をテーマとして子どもたちが意見やアイデアを出し合い、後日、伝えたいことを「子どもまちづくり提言書」にまとめて、直接市長に提言した。</p> <table border="1"> <tr> <td>利用実績（延べ利用者数）</td> <td>区 分</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> </tr> <tr> <td>一般来館</td> <td>11,719人</td> <td>13,821人</td> <td>18,039人</td> </tr> <tr> <td>定期事業・イベント</td> <td>3,059人</td> <td>3,093人</td> <td>5,228人</td> </tr> <tr> <td>団体利用</td> <td>193人</td> <td>282人</td> <td>1,029人</td> </tr> <tr> <td>見学</td> <td>192人</td> <td>219人</td> <td>352人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>15,163人</td> <td>17,415人</td> <td>24,648人</td> </tr> </table>						利用実績（延べ利用者数）	区 分	R2	R3	R4	一般来館	11,719人	13,821人	18,039人	定期事業・イベント	3,059人	3,093人	5,228人	団体利用	193人	282人	1,029人	見学	192人	219人	352人	合計	15,163人	17,415人	24,648人
利用実績（延べ利用者数）	区 分	R2	R3	R4																												
一般来館	11,719人	13,821人	18,039人																													
定期事業・イベント	3,059人	3,093人	5,228人																													
団体利用	193人	282人	1,029人																													
見学	192人	219人	352人																													
合計	15,163人	17,415人	24,648人																													
成果に係る評価		石巻市内で活動する2団体で構成されたコンソーシアムによる指定管理の最終年度となり、子どもの意見を取り入れ、活かしながら地域や学校等と連携した取組がなされている。 前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、感染防止対策を講じながら利用者のニーズに応じて乳幼児を対象としたイベントの充実を図るなど、柔軟な事業展開により利用者数の順調な回復につながった。 子どもの声を社会に発信する取組は重要性を増していることから、引き続き、子どもが自由に声や意見を発信できる環境を整えながら、子どもの声を活かした事業及び運営を行い、子どもが安心して過ごせる居場所を提供する。																														
予算の執行状況		(単位：円)																														
予算額	決算額	決算額の財源内訳				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																							
		31,074,000	30,552,597	10,118,000						20,434,597																						

予算科目	3 款	民生費	事業名	生活保護事業																																																	
	4 項	生活保護費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																																
	2 目	扶助費		第5節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																																																
	事業	各種扶助費		(1)	地域での孤立防止を推進する																																																
担当部課	保健福祉部保護課	実施計画掲載ページ		P 60																																																	
目的及び事業内容		生活に困窮する市民に対し、困窮の程度に応じて必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長することを目的として生活保護事業を実施する。																																																			
取組実績		<p>本事業の目的を達成するため、下記のとおり取り組んだ。</p> <p>1 生活保護事業</p> <p>(1) 実施体制：所長1名、査察指導員2名、現業員13名、医療・介護扶助担当者1名、経理担当1名、就労支援員2名、レセプト点検員2名、嘱託医1名</p> <p>(2) 取組内容</p> <p>ア 新規相談の受理 433世帯（延べ567回）</p> <p>イ 新規申請の受理 232世帯</p> <p>ウ 保護の新規開始 193世帯（270名）</p> <p>エ 就労支援の実施 44名（うち22名が就労に至った）</p> <p>オ 後発医薬品の利用促進 後発医薬品利用率 90.1%</p>																																																			
成果		<p>保護が必要な世帯に対し、国が定める保護基準による最低限度の生活を保障するとともに、その自立の助長を図ることができた。</p> <p>1 年度ごとの被保護世帯数等（年度平均数値）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>被保護世帯数</td> <td>1,176 世帯</td> <td>1,222 世帯</td> <td>1,253 世帯</td> <td>1,313 世帯</td> <td>1,372 世帯</td> </tr> <tr> <td>被保護人員</td> <td>1,516 人</td> <td>1,561 人</td> <td>1,587 人</td> <td>1,656 人</td> <td>1,740 人</td> </tr> <tr> <td>保護率</td> <td>10.48 %</td> <td>10.92 %</td> <td>11.24 %</td> <td>11.91 %</td> <td>12.69 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>※保護率＝被保護人員÷人口×1,000（単位：％＝パーミル、千分率）</p> <p>2 就労支援対象者の就業率等（総合計画実施計画の活動指標・成果指標）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就労支援対象者</td> <td>63 人</td> <td>54 人</td> <td>55 人</td> </tr> <tr> <td>就労支援実施者</td> <td>48 人</td> <td>48 人</td> <td>44 人</td> </tr> <tr> <td>就労支援実施率（活動指標、目標50.0%）</td> <td>76.2 %</td> <td>88.9 %</td> <td>80.0 %</td> </tr> <tr> <td>就業者数</td> <td>29 人</td> <td>23 人</td> <td>22 人</td> </tr> <tr> <td>就労支援対象者の就業率（成果指標、目標20.0%）</td> <td>46.0 %</td> <td>42.6 %</td> <td>40.0 %</td> </tr> </tbody> </table>				年度	H30	R1	R2	R3	R4	被保護世帯数	1,176 世帯	1,222 世帯	1,253 世帯	1,313 世帯	1,372 世帯	被保護人員	1,516 人	1,561 人	1,587 人	1,656 人	1,740 人	保護率	10.48 %	10.92 %	11.24 %	11.91 %	12.69 %	年度	R2	R3	R4	就労支援対象者	63 人	54 人	55 人	就労支援実施者	48 人	48 人	44 人	就労支援実施率（活動指標、目標50.0%）	76.2 %	88.9 %	80.0 %	就業者数	29 人	23 人	22 人	就労支援対象者の就業率（成果指標、目標20.0%）	46.0 %	42.6 %	40.0 %
年度	H30	R1	R2	R3	R4																																																
被保護世帯数	1,176 世帯	1,222 世帯	1,253 世帯	1,313 世帯	1,372 世帯																																																
被保護人員	1,516 人	1,561 人	1,587 人	1,656 人	1,740 人																																																
保護率	10.48 %	10.92 %	11.24 %	11.91 %	12.69 %																																																
年度	R2	R3	R4																																																		
就労支援対象者	63 人	54 人	55 人																																																		
就労支援実施者	48 人	48 人	44 人																																																		
就労支援実施率（活動指標、目標50.0%）	76.2 %	88.9 %	80.0 %																																																		
就業者数	29 人	23 人	22 人																																																		
就労支援対象者の就業率（成果指標、目標20.0%）	46.0 %	42.6 %	40.0 %																																																		
成果に係る評価		<p>生活保護制度は、国民が健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を保障した憲法第25条の理念に基づく、社会保障制度における最後のセーフティネットとしての役割を果たしている。</p> <p>本市の生活保護の動向は、平成23年の東日本大震災の影響により一時的に保護世帯数・人員ともに減少したが、平成24年度中には再び増加に転じ、以降、引き続き増加傾向で推移している。</p> <p>今後、各種震災支援策の終了や新型コロナウイルスの感染拡大等、経済情勢や社会情勢の変化により新たに保護を必要とする市民が急激に増加することも見込まれることから、引き続き実施体制の整備を図り、また、生活困窮者自立支援事業等との連携により多層的なセーフティネットを構築し、生活に困窮している市民の最低限度の生活を確実に保障していく必要がある。</p>																																																			
（単位：円）																																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																		
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																															
	2,533,412,000	2,489,822,854	1,873,233,076			616,589,778																																															

予算科目	3 款	民生費	事業名	災害援護資金等債権回収事業																																																													
	5 項	災害救助費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																																												
	1 目	災害救助費		第5節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																																																												
	事業	災害援護費（東日本大震災関係分）		(3)	各種相談事業を充実させる																																																												
担当部課	保健福祉部生活再建支援室	実施計画掲載ページ		P 62																																																													
目的及び事業内容		自然災害により被災を受けた地域における被災世帯の生活の早期立て直しを図るため、被害を受けた世帯を対象として貸付を実施した災害援護資金について、適切に債権を管理するとともに、適正に債権の回収を図る。																																																															
取組実績		<p>1 貸付の対象</p> <p>(1) 被災日（平成23年3月11日）に、石巻市内に居住していた世帯</p> <p>(2) 世帯主が震災で1か月以上の療養期間が必要な負傷を負った世帯又は住居・家財に著しい損害を受けた世帯</p> <p>2 貸付限度額 150万円～350万円（負傷の程度、損害の種類・程度で貸付限度額に上限あり）</p> <p>3 貸付条件 利率 連帯保証人あり 無利子 連帯保証人なし 据置期間経過後 年1.5% 償還期間 13年（据置期間を含む） 据置期間 6年（世帯主の死亡や住居が全壊など特別の事情がある場合は8年） 償還方法 月賦・半年賦・年賦（元利均等償還・繰上償還可）</p> <p>4 申請期間 平成23年5月11日から令和6年3月31日まで</p> <p>5 災害援護資金貸付件数及び金額等（令和4年度）</p> <p>(1) 貸付件数 1件</p> <p>(2) 貸付金総額 1,500,000円</p>																																																															
成果		<p>災害援護資金貸付により、被災者の生活の安定や早期の再建に寄与することができた。</p> <p>（令和5年3月31日現在の状況）</p> <p>災害援護資金貸付状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th colspan="3">繰上償還状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23～R3</td> <td>3,063 件</td> <td>6,424,017,000 円</td> <td>年度</td> <td>件数</td> <td>金額</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>1 件</td> <td>1,500,000 円</td> <td>H23～R3</td> <td>1,734 件</td> <td>1,525,124,940 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,064 件</td> <td>6,425,517,000 円</td> <td>R4</td> <td>103 件</td> <td>40,488,117 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>計</td> <td>1,837 件</td> <td>1,565,613,057 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>償還実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>貸付総額 (A)</th> <th>償還 (B)</th> <th>免除 (C)</th> <th>残債権 (D)</th> <th>残割合 (E)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>6,424,017,000 円</td> <td>3,156,247,642 円</td> <td>179,419,649 円</td> <td>3,088,349,709 円</td> <td>48.08%</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>6,425,517,000 円</td> <td>3,637,689,980 円</td> <td>217,568,867 円</td> <td>2,570,258,153 円</td> <td>40.00%</td> </tr> </tbody> </table> <p>サービス委託実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>委託債権総額</th> <th>回収見込額</th> <th>回収済額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>167 件</td> <td>62 件</td> <td>39 件</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>286,240,000 円</td> <td>114,400,000 円</td> <td>7,224,980 円</td> </tr> </tbody> </table>				年度	件数	金額	繰上償還状況			H23～R3	3,063 件	6,424,017,000 円	年度	件数	金額	R4	1 件	1,500,000 円	H23～R3	1,734 件	1,525,124,940 円	計	3,064 件	6,425,517,000 円	R4	103 件	40,488,117 円				計	1,837 件	1,565,613,057 円	年度	貸付総額 (A)	償還 (B)	免除 (C)	残債権 (D)	残割合 (E)	R3	6,424,017,000 円	3,156,247,642 円	179,419,649 円	3,088,349,709 円	48.08%	R4	6,425,517,000 円	3,637,689,980 円	217,568,867 円	2,570,258,153 円	40.00%	区分	委託債権総額	回収見込額	回収済額	件数	167 件	62 件	39 件	金額	286,240,000 円	114,400,000 円	7,224,980 円
年度	件数	金額	繰上償還状況																																																														
H23～R3	3,063 件	6,424,017,000 円	年度	件数	金額																																																												
R4	1 件	1,500,000 円	H23～R3	1,734 件	1,525,124,940 円																																																												
計	3,064 件	6,425,517,000 円	R4	103 件	40,488,117 円																																																												
			計	1,837 件	1,565,613,057 円																																																												
年度	貸付総額 (A)	償還 (B)	免除 (C)	残債権 (D)	残割合 (E)																																																												
R3	6,424,017,000 円	3,156,247,642 円	179,419,649 円	3,088,349,709 円	48.08%																																																												
R4	6,425,517,000 円	3,637,689,980 円	217,568,867 円	2,570,258,153 円	40.00%																																																												
区分	委託債権総額	回収見込額	回収済額																																																														
件数	167 件	62 件	39 件																																																														
金額	286,240,000 円	114,400,000 円	7,224,980 円																																																														
成果に係る評価		<p>東日本大震災の被災者に対し、生活の再建に資する目的で貸付けを行った災害援護資金については、原資が国と県からの借入金であることから、償還期限までに全額返済する必要がある。</p> <p>令和4年度は市外在住の「無反応者等」167名に対しサービスによる訪問調査を行った結果、回収困難として調査委託した総額286,240,000円の内、7,224,980円の債権回収を行ったほか、債権総額114,400,000円に対する納付相談に繋がっている。</p> <p>なお、令和5年度は支払の相談に応じない「無反応者」に対し支払督促を実施することで、不作為による債権放棄の回避及び差押え等による債権を回収する等、今後も適切に債権を管理していく。</p> <p>※支払督促とは：強制執行を行うための手続きの一つで、裁判所に申立てを行う簡易手続</p>																																																															
（単位：円）																																																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																														
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																											
	21,439,000	18,629,883		1,500,000		17,129,883																																																											

予算科目	3 款	民生費	事業名	共助型復興公営住宅支援員配置事業																	
	5 項	災害救助費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																
	1 目	災害救助費		第 5 節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																
	事業	被災者支援事業費（東日本大震災関係分）		(1)	地域での孤立防止を推進する																
担当部課	保健福祉部生活再建支援室	実施計画掲載ページ		P 60																	
目的及び事業内容		入居者が互いに見守り、助け合いながら、安心して暮らすことを目的として建設された「共助型住宅」である新西前沼第三復興公営住宅に支援員を配置し、入居者の見守りや健康・介護相談、緊急時対応等を行い、入居者の生活支援を図る。																			
取組実績		<p>1 事業委託</p> <p>(1) 委託先 特定非営利活動法人 ばんぶきんふれあい会</p> <p>(2) 委託内容 入居者の見守りや安否確認及び相談対応、緊急時の対応等</p> <p>(3) 委託料 6,533,761円</p> <p>2 支援実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">見守り、相談、情報提供</th> <th colspan="2">イベント</th> </tr> <tr> <th>対象人数</th> <th>実施回数</th> <th>実施回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>40人</td> <td>4,027回</td> <td>84回</td> <td>726人</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 支援員配置に関するアンケート</p> <p>入居者に対し、事業に対する満足度を測るアンケートを実施した。</p> <p>(1) 回答率 81.8%</p> <p>(2) 平均満足度 76.8%</p>						区分	見守り、相談、情報提供		イベント		対象人数	実施回数	実施回数	参加者数	R4	40人	4,027回	84回	726人
区分	見守り、相談、情報提供		イベント																		
	対象人数	実施回数	実施回数	参加者数																	
R4	40人	4,027回	84回	726人																	
成果		<p>入居者における高齢化の進行やコロナ禍による活動制限も加わり、入居者間での共助による生活が困難となる中、支援員を配置し、見守りや相談対応等の側面支援を行うことで、入居者の生活支援が図られた。</p> <p>また、軽運動やお茶会などのイベント開催により、入居者間の親睦が深まるとともに、生きがいを創出する機会に繋がりを、閉じこもり防止や活動意欲の向上が図られた。</p>																			
成果に係る評価		<p>生活課題を抱える入居者に対しては、他の入居者との情報共有により必要な支援機関等に繋ぐなど、入居者の安定した生活を持続するため、本事業の継続が必要である。</p> <p>また、高齢化の進行に伴い、自助による生活が困難な方の増加が見込まれることや新たな入居者に対する生活支援を行うことにより、すべての入居者が安心して暮らしていることができるよう、支援員の配置を継続する必要がある。</p>																			
(単位：円)																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源															
	6,573,000	6,533,761	6,533,000			761															

予算科目	3 款	民生費	事業名	被災者生活支援事業																																															
	5 項	災害救助費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																														
	1 目	災害救助費		第 5 節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																																														
	事業	被災者支援事業費（東日本大震災関係分）		(1)	地域での孤立防止を推進する																																														
担当部課	保健福祉部生活再建支援室	実施計画掲載ページ		P 60																																															
目的及び事業内容		<p>応急仮設住宅等から復興公営住宅等の恒久住宅へ移転後も、様々な生活の課題を抱える被災者に対する相談・生活支援を推進するとともに、被災者個々の孤立防止のために新しい地域コミュニティの構築を支援するなど、「被災者支援総合交付金実施要綱」等に基づき、被災者生活支援事業を展開することにより、東日本大震災による被災者の生活支援を図るもの。</p>																																																	
取組実績		<p>1 復興公営住宅等生活相談支援事業（被災者見守り・相談支援事業）</p> <p>石巻市内の民生委員・児童委員協議会担当地区（16地区）に地域福祉コーディネーター、地域生活支援員等を配置し、地区内の復興公営住宅等の恒久住宅に移転した被災者への相談支援、見守り事業等を実施するとともに、復興公営住宅等の入居者と周辺住民による茶話会等を通じて交流促進を行った。</p> <p>2 社会福祉士等相談支援事業（被災者支援総合事業）</p> <p>復興公営住宅等生活相談支援事業を実施する中で、医療・健康面や就労・経済面等様々な課題を抱えた被災者に対し、社会福祉士等の専門職による、身体や心のケアをはじめとした傾聴・相談支援、経済的自立に向けた就労支援に繋げるための相談・生活支援等を実施した。</p>																																																	
成果		<p>東日本大震災により被災し、復興公営住宅等に再建した被災者に対する見守りや寄り添い支援、制度へのつなぎ、福祉コミュニティ構築支援等を実施することにより、被災者の生活支援が図られた。</p> <p>1 復興公営住宅等生活相談支援事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>復興住宅訪問件数</th> <th>防集団地訪問件数</th> <th>地域活動市民参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>28,777件</td> <td>4,108件</td> <td>376人</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>38,456件</td> <td>4,203件</td> <td>344人</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>53,131件</td> <td>4,658件</td> <td>237人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 社会福祉士等相談支援事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>支援実世帯数</th> <th>訪問</th> <th>電話</th> <th>調整等</th> <th>関係機関へ案内</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>63世帯</td> <td>1,339件</td> <td>2,005件</td> <td>507件</td> <td>599件</td> <td>4,450件</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>65世帯</td> <td>834件</td> <td>1,163件</td> <td>522件</td> <td>614件</td> <td>3,133件</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>44世帯</td> <td>667件</td> <td>744件</td> <td>292件</td> <td>475件</td> <td>2,178件</td> </tr> </tbody> </table>						年度	復興住宅訪問件数	防集団地訪問件数	地域活動市民参加人数	R2	28,777件	4,108件	376人	R3	38,456件	4,203件	344人	R4	53,131件	4,658件	237人	年度	支援実世帯数	訪問	電話	調整等	関係機関へ案内	合計	R2	63世帯	1,339件	2,005件	507件	599件	4,450件	R3	65世帯	834件	1,163件	522件	614件	3,133件	R4	44世帯	667件	744件	292件	475件	2,178件
年度	復興住宅訪問件数	防集団地訪問件数	地域活動市民参加人数																																																
R2	28,777件	4,108件	376人																																																
R3	38,456件	4,203件	344人																																																
R4	53,131件	4,658件	237人																																																
年度	支援実世帯数	訪問	電話	調整等	関係機関へ案内	合計																																													
R2	63世帯	1,339件	2,005件	507件	599件	4,450件																																													
R3	65世帯	834件	1,163件	522件	614件	3,133件																																													
R4	44世帯	667件	744件	292件	475件	2,178件																																													
成果に係る評価		<p>阪神大震災後の孤独死の実態や復興公営住宅入居者等の高齢化などを踏まえ、訪問・相談等による見守り支援を実施しているほか、令和2年度からは「地域における支え合い」へ支援体制の移行を進めており、ささえあいの意識醸成を図りながら、民生委員や自治会・団地会の他、地域の互助活動団体との連携などにより、地域のつながりを大切にすることで、被災者の孤立化・孤独死などの未然防止につなげていく必要がある。</p>																																																	
(単位：円)																																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																													
	151,563,000	135,303,953	135,303,000			953																																													

予算科目	3 款	民生費	事業名		被災者住宅再建支援事業〔復興基金〕																														
	5 項	災害救助費	総合計画	第 章																															
	1 目	災害救助費		第 節																															
	事業	被災者住宅再建補助事業費（東日本大震災関係分）		()																															
担当部課	保健福祉部生活再建支援室	実施計画掲載ページ																																	
目的及び事業内容		東日本大震災により被災した住宅の早期復興に資するため、被災住宅の再建を行う被災者に対し、住宅再建資金の一部を補助することにより、被災者の負担軽減を図り、本市への定住促進を促す。																																	
取組実績		1 東日本大震災被災者住宅再建事業補助金 (1) 建設・購入 ア 利子補給補助 上限額 444万円 イ 取得費用補助 上限額 250万円 ウ かさ上げ工事等 上限額 100万円 (2) 補修 ア 利子補給補助 上限額 150万円 イ 補修費用補助 上限額 100万円 2 補助金交付件数及び交付金額 (1) 被災者住宅再建事業補助金 交付件数 226件 交付金額 814,811,000円																																	
成果		住宅の建設・購入に係る費用を一部補助することにより、被災者の住宅再建を促進するとともに住宅再建制度における支援格差の解消に寄与した。 補助金支給状況 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">住宅再建事業</th> <th colspan="2">危険住宅移転事業</th> </tr> <tr> <th>実績件数</th> <th>金額</th> <th>実績件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25-R2</td> <td>13,197 件</td> <td>29,156,263,000 円</td> <td>234 件</td> <td>1,034,648,000 円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>489 件</td> <td>1,707,781,000 円</td> <td>－ 件</td> <td>－ 円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>226 件</td> <td>814,811,000 円</td> <td>－ 件</td> <td>－ 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>13,912 件</td> <td>31,678,855,000 円</td> <td>234 件</td> <td>1,034,648,000 円</td> </tr> </tbody> </table>					年度	住宅再建事業		危険住宅移転事業		実績件数	金額	実績件数	金額	H25-R2	13,197 件	29,156,263,000 円	234 件	1,034,648,000 円	R3	489 件	1,707,781,000 円	－ 件	－ 円	R4	226 件	814,811,000 円	－ 件	－ 円	計	13,912 件	31,678,855,000 円	234 件	1,034,648,000 円
年度	住宅再建事業		危険住宅移転事業																																
	実績件数	金額	実績件数	金額																															
H25-R2	13,197 件	29,156,263,000 円	234 件	1,034,648,000 円																															
R3	489 件	1,707,781,000 円	－ 件	－ 円																															
R4	226 件	814,811,000 円	－ 件	－ 円																															
計	13,912 件	31,678,855,000 円	234 件	1,034,648,000 円																															
成果に係る評価		被災者の住宅再建及び国の制度との支援格差の解消に寄与してきた本事業は、当初令和2年度をもって終了としていたが、新型コロナウイルス感染症や木材高騰・原油価格高騰等の影響による再建未了世帯の救済を図るため、財源となる震災復興基金の利用期限の延長要望が承認され、令和4年度が事業最終年度となった。 なお、令和4年度は市報やホームページ、新聞広告への掲載のほか、過去に相談があった方や本補助金利用実績のある事業者等に直接最終案内を行うなど、広く周知することにより被災住宅の再建を行う被災者の負担軽減や本市への定住促進が図られたことから、令和4年度をもって事業終了とした。																																	
(単位：円)																																			
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																															
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																												
		855,077,000	817,615,593			814,811,000	2,804,593																												